日産純正部品

日産オリジナル
ナビゲーションシステム
MC314D-W
MC314D-A

取扱説明書

日産純正部品
ナビゲーション
PART No.
B8260-C994B
B8260-C994C
B8260-C994D

ご使用前は必ずお読みください。

1404

このたびはお買い求めいただき
ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

> 特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくためのご注意を記述しておりますので必ずお読みください。→ P.2

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

●本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
　あらかじめご了承ください。

●本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
　あらかじめご了承ください。

> 本機を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

■ 本書に記載されているマークの意味

⚠ 警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

⚠ 注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

お願い

「警告」や「注意」には該当しませんが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準 備

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

お知らせ

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ハードボタンとタッチキーについて

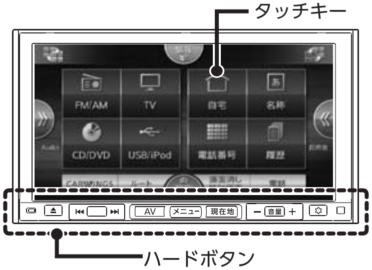
本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。

例：メニュー

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。

例：自宅

MC314D-A



MC314D-W

本書の構成

操作の前に→ P.5

地図画面の見かた→ P.21

目的地を探す→ P.35

地点・ルートを登録する→ P.49

ルートの設定と案内→ P.53

情報を利用する→ P.71

通信（Bluetooth）を利用する→ P.85

カーウイングスを利用する→ P.99

オーディオ・ビジュアルを楽しむ→ P.111

各種設定→ P.151

便利な機能（アクセサリー）を使う→ P.173

ナビゲーションを更新する→ P.191

困ったときに…→ P.197

付録→ P.217

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

⚠ 警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。
⚠ 注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

⚠ 警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

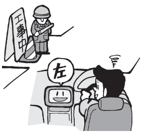
作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

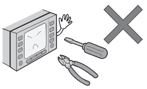
道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。

実際の交通規制にしたがう



ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

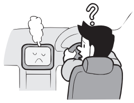


コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない



画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

SDメモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

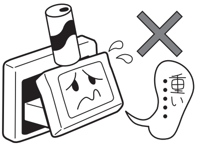
けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

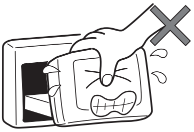
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

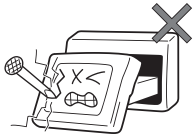
操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。



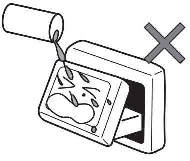
上に物を置かない



手で強く押さない



ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない



水滴やジュースなどの飲みものをかけない

操作パネルの開閉や角度の調整時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

お願いとお知らせ

■ 液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.236

■ 使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- 本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- インテリジェントキーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

■ ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

■ 保証期間内の保証に関するご注意

●保証を受ける際は、お買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
●保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
●本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
●次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
・お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

■ 著作権について

●本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。
取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

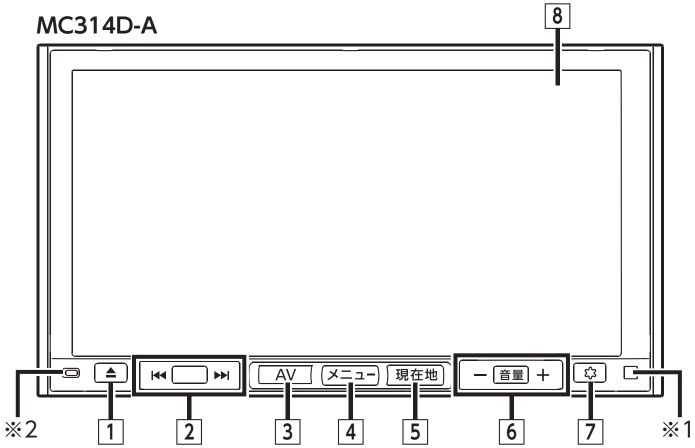
各部の名称とはたらき……6
操作パネル……6
メインメニュー……8
本体……9
本機で利用できるメディアについて……10
本機で使えるディスク……10
再生できるCD……10
再生できないCD……10
再生できるDVD……10
再生できないDVD……10
本機で使えるSDカード／ USBメモリー……11
SDカード取り扱い上のご注意……11
本機で使えるウォークマン……11
基本的な使いかた……12
電源を入れる……12
操作パネルを開閉する……12
操作パネルの角度を調整する……12
画面を非表示にする……13
時計の表示を設定する……13
文字パネルを操作する……13
文字の種類を切り替える……13
文字の入力方式を切り替える……13
文字を入力する……14
文字を変換する……14
文字を消去する……14
文字を挿入する……15
予測候補を表示する……15
リストを1つ移動する……15
リストのページを移動する……15
インデックスを使って選ぶ……16
リストの選択／解除をする……16
リストを並べ替える……16
リストの項目を絞り込む……17
条件を指定して絞り込む……17
近隣県を指定する……17
施設情報を確認する……18
関連する地図を表示する……18
数値を増減する……18
自宅を登録する……18
登録済みの自宅情報を編集する……19

各部の名称とはたらき

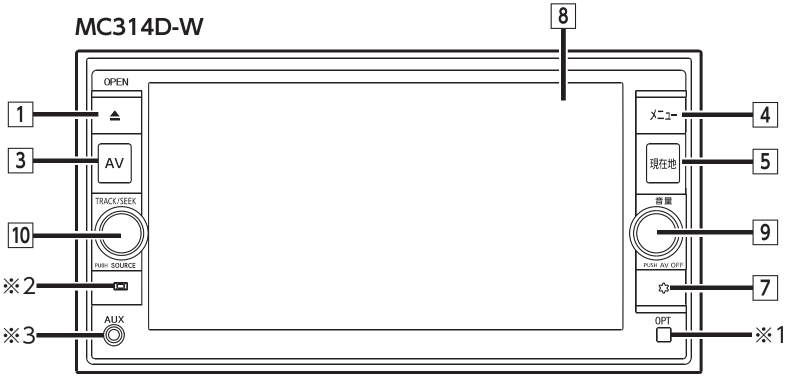
操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。

MC314D-A



MC314D-W



※1 リモコン受光部です。別売のリモコンからの信号を受信します。
※2 盗難防止イルミです。盗難防止設定を「ON」に設定している場合に点滅させて、盗難を抑止します。→ P.164
※3 AUX端子です。オーディオのモードをAUXに切り替えると、接続した外部機器の音声を再生できます。→ P.188

本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明	
1	▲	短押し	操作パネルの開閉や角度調整を行う画面を表示します。→ P.12 同じ画面からディスクも取り出せます。→ P.112
		長押し	本機に挿入されているディスクを排出します。

番号	イラスト	操作の説明	
2	⏮ ⏭	短押し	オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		長押し	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。 またラジオ、テレビを選択中は自動で放送局を選択できます。
3	AV	短押し	現在選択中のオーディオ画面や、ソース選択画面を表示します。→ P.113 ※画面はMC314D-Wのものです。
		長押し	オーディオ･ビジュアルのON/OFFを切り替えます。(MC314D-Aのみ)
4	メニュー	短押し	メインメニュー画面を表示します。 この画面から各メニューを選択します。
		長押し	画面を非表示にします。(MC314D-Aのみ)
5	現在地	短押し	現在地の地図画面を表示します。→ P.22
		長押し	その時点での走行状態に応じた音声ガイドを確認できます。
6	＋ −	短押し	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.113、P.169
		長押し	音量調整の際、連続して音量を変えます。
7	✲	短押し	ボタンに割り付けたお好みの機能を実行します。別売のカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出します。→ P.183
		長押し	ボタンに機能を割り付ける際の選択画面を表示します。→ P.172 ソナー付きアラウンドビューモニター装着車の場合は、ソナー機能のON/OFFを切り替えます。→ P.187
8	—	タッチ	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。
9	—	回す	ロータリボリュームキーです。 オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.113、P.169
		短押し	オーディオ・ビジュアルのON/OFFを切り替えます。
		長押し	画面を非表示にします。

番号	イラスト	操作の説明	
10	—	左右に回す	TRACK/SEEKキーです。 オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		左、または右に回したままにする	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。またラジオ、テレビを選択中は自動で放送局を選択できます。
		短押し	オーディオ・ビジュアルのソースを切り替えます。

メインメニュー

メインメニューに表示させるオーディオソースキーを、お好みで変更できます。→ P.169

タッチして画面を切り替えます。

メインメニューに表示させる目的地検索キーを、お好みで変更できます。→ P.169

タッチして画面を切り替えます。

画面上をタッチしたまま、上下にすばやくスライドしながら指を離すと、情報画面や設定画面に切り替わります。また、左右にすばやくスライドしながら指を離すと、オーディオソース選択画面や目的地メニュー画面に切り替わります。これらを総称してフリック操作といいます。画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドしても、画面を切り替えられます。

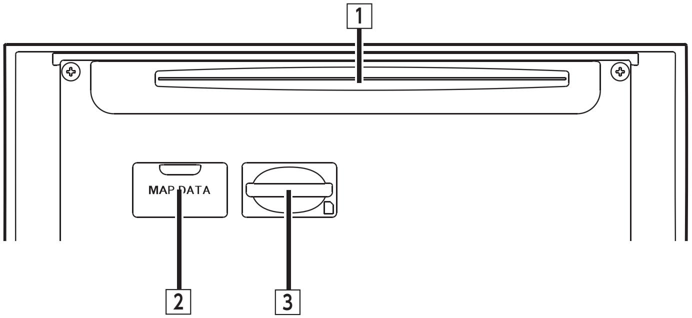
例：目的地メニュー画面に切り替える

本機ではメインメニューのほか、以下の画面でもフリック操作が可能です。

- 目的地検索結果画面
- オーディオのトラックリスト
- 電話帳リスト
- 平面地図のスクロール

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。



番号	名称	機能の説明
1	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMA・AACディスクを挿入する場所です。→ P.112
2	地図SDカード挿入口	地図SDカードが挿入されています。プログラム更新や地図更新を行う際に、フタを開けてカードの抜き差しを行います。 → P.196 その他の操作時は、フタを開けないでください。
3	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。→ P.112

⚠ 警告

- **ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。**
  振動によりディスクが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

お願い

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。
  操作パネルが閉まる際に、ディスクがはさまれ本機やディスクが破損するおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。
- 操作パネルの開閉中や、角度を調整した状態では、SDカードやディスクを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

本機で利用できるメディアについて

本機で使えるディスク

お願い

- 下記のディスクは、傷が付いたり、取り出せなくなるおそれがあるので使用しないでください。
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 暖房の熱が直接当たる場所

再生できるCD

●音楽CD
●CD-TEXTディスク
●CD-Extraディスク（ただし音楽CDとして）
●Super Audio CD（ハイブリッドディスクのCD層のみ）
●パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
●音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
●コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2 正常に再生できない場合があります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3 再生できない場合があります。

再生できないCD

●MIX MODE CD
●CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
●DTS CD
●ビデオCD
●ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

●DVD VIDEO の付いているディスク
●リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
●DVD-VR

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。
DVD-VRを再生するには、あらかじめお持ちのレコーダーでファイナライズしてください。

再生できないDVD

●リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
●パケットライト方式で記録されたディスク
●ご家庭でハイビジョン録画したディスク
●DVD-RAM

以下のディスクは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

・ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

本機で使えるSDカード／USBメモリー

― お願い ―

• 地図SDカード挿入口に格納されている地図SDカードは、プログラム更新や地図更新時のみ、抜き差しを行います。→ P.196
それ以外の操作では、以下に記載された市販のSDカードを使用してください。

●記録メディア
SDカード、SDHCカード（32GB以下）、miniSDカード※、microSDカード※、USBメモリー
※専用のアダプタが必要です。直接入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプタをご使用ください。
●記録フォーマット
FAT16、FAT32
●拡張子が以下のファイル
.MP3/.WMA/.M4A/.MP4/.WMV
該当するファイル以外には、これらの拡張子を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
●ファイルサイズが2GB未満のファイル
※ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。
※AACファイルは約800MBまでのファイルを再生できます。これを超えるサイズのファイルは再生できない場合があります。

詳しくは以下をご覧ください。
●本機で再生可能な音声ファイルについて
→ P.229
●本機で再生可能な動画ファイルについて
→ P.234

― お知らせ ―

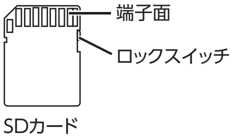
• SDカードと互換のない記録メディアには対応していません。
• SDXCメモリーカードには対応していません。
• miniSDアダプタ、microSDアダプタを本機内に残さないでください。
• 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

― MEMO ―

• SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

SDカード取り扱い上のご注意

●SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
●書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、エンジンを切ったりしないでください。
●SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



本機で使えるウォークマン

本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン（E/F/S/A/Z/M/ZXシリーズ）を接続し、再生できます。
（ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。）
※2011年4月以降、2013年12月以前に発売されたウォークマンに限ります。

基本的な使いかた

— MEMO
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

電源を入れる

1 エンジンを始動する

本機に電源が入ります。
本機はエンジンがかかっている状態で使用できます。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

— MEMO
- エンジンを切ると、本機の電源も切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。→ P.165

操作パネルを開閉する

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードをイジェクトした状態のまま走行しないでください。**
  振動によりディスクやSDカードが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

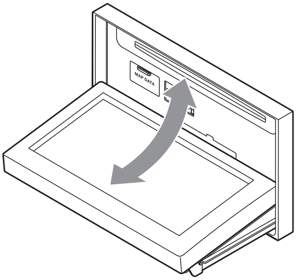
— MEMO
- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。

1 [⏏]

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。



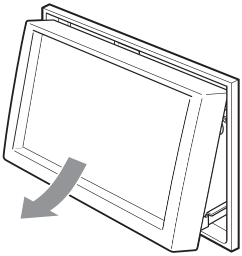
操作パネルを閉じるには、もう一度 [⏏] を押すか、パネル開／閉 をタッチします。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0 ～ 30度（約5度刻みの6段階）の範囲です。

1 [⏏] ▶ 角度の段階を選択

▼



操作パネルが選択した角度に開きます。

— MEMO
- 「パネルをオープンしてください」と表示された場合、パネル開／閉 をタッチして操作パネルを開きます。
- 大きな角度から小さな角度に変更する場合、一度パネルが完全に閉じてから選択した角度に変更されます。

画面を非表示にする

1 メニュー

2 画面消し 時計画面 ▶ 画面消し

時計画面表示：
画面全体に時計を表示する。

— MEMO

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - メニュー、現在地、✿、AV、⏏ のいずれかを押す
- 画面非表示、または時計表示の状態でエンジンを切っても、次に始動すると現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

時計画面表示（画面表示）

時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

1 メニュー

2 設定 ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定

時計表示（地図・メニュー）：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定する。

時計表示（オーディオ映像画面）：
テレビ／DVD／VTR／iPodビデオなどの映像画面で時計を表示させるかどうかを設定する。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示／12時間表示で切り替える。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整する。
調整できる範囲は、−59分〜+59分です。

文字パネルを操作する

— お知らせ

- 登録地の名称変更など、編集時のみの機能です。

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、文字の種類を切り替えます。

1 入力したい文字の種類を選択

文字の種類は以下の順で切り替わります。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字の入力方式を切り替える

文字の入力方式を携帯電話での入力と同じ方式に切り替えられます。

1

文字の入力方式が切り替わります。

携帯電話入力方式画面

文字を入力する

— お知らせ

- 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字を1文字ずつ選択

小文字：
ひらがな、カタカナキーのとき、文字入力後にタッチすると小さい文字を入力できる。
例：「っ」、「ょ」、「ィ」など

2 確定

文字を変換する

— お知らせ

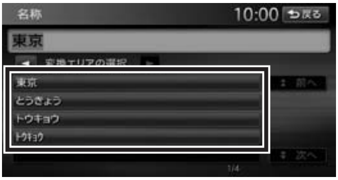
- 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 変換対象を選択



◀、▶：
変換する文字列の範囲を変更する。

前へ、次へ：
変換候補が多い場合、変換対象リストを切り替える。

文字を消去する

1 ◀、▶で、消したい文字にカーソルを移動

2 修正

文字が1字消えます。

カーソルが文字の右端にあるときに 修正 を長押しすると、文字がすべて消えます。カーソルが文字の間にあるときに 修正 を長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

文字を挿入する

1 ◀ 、▶ で挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動

2 挿入する文字を入力

予測候補を表示する

入力した文字に該当する予測候補をリスト表示します。予測候補から文字を選ぶことで、入力をすばやく行えます。
表示される候補の例：

- ●すでに入力した語句
- ●県名・ブランド名などよく入力される語句
- ●有名施設名

お知らせ

- 予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

1 文字を入力 ▶ 予測候補

2 目的の項目を選択

タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

リストを1つ移動する

1 ▲ または ▼

リストのページを移動する

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

1 リストを上下にフリック、または ⏫ 、⏬

連続してページを移動させるには、上下方向にフリックし続けるか、⏫ または ⏬ を長押しします。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 た

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 **リストから該当する項目を選択**

— MEMO

- インデックスがすべて表示されていない場合は、上下方向にフリック、または 、をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

ON/OFFのキーは、タッチするたびに、選択と解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。

すべて選択／解除：
すべての項目の選択／解除を切り替える。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替える

2 **並べ替える方法を選択**

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

— お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

読み順：
50音順にリストを並べ替える。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストを並べ替える。

登録順：
地点登録順にリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストを並べ替える。（TVサーチ情報検索のみ）

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストを並べ替える。（登録地点リストのみ）

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストを並べ替える。（ハイウェイ検索のみ）

リストの項目を絞り込む

— MEMO

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。
  例：地域とジャンルで絞り込んだ結果、地域に「東京都」がなければ、ジャンルに「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除するには、以下の方法があります。
  - 絞り込み指定の画面で すべての指定を解除する
  - 検索結果リスト画面で 戻る

条件を指定して絞り込む

リストの項目数が多い場合、地域や施設ジャンルなどの条件を指定して項目を絞り込めます。

1 **検索結果リスト画面で 候補を絞る**

絞り込み指定の画面が表示されます。

2 **絞り込む方法を選択**

— お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

地域を指定する：
都道府県や市区町村名から項目を指定する。都道府県は5つまで選択できます。（TVサーチの場合は、都道府県をすべて選択できます。）市区町村名が不明の場合は、都道府県を選択した時点で 指定を完了 をタッチします。すると、都道府県で項目を絞り込めます。

ジャンルを指定する：
施設のジャンルから項目を指定する。
選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。

キーワードを指定する：
施設名に含まれる文字から項目を指定する。
1文字でも絞り込めます。

3 **指定を完了 または 候補を表示**

項目が絞り込まれて表示されます。再度 候補を絞る をタッチして、項目を絞り込むこともできます。

指定を解除：
絞り込みを解除する。
キーワード指定による絞り込みを解除するには、文字入力画面で 修正 を長押しして、文字を消してください。

近隣県を指定する

住所から目的地を探すときに、自車位置周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 **近隣県**

地名を入力：
地名を入力して、目的地・地点を探す。

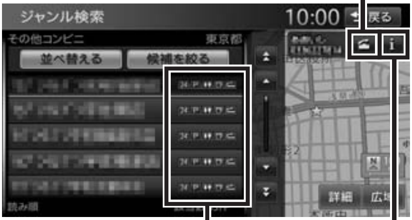
MAP：
選択した県の中心となる場所を地図に表示する。

2 **絞り込みたい県を選択**

施設情報を確認する

検索結果リスト画面に i が表示されている場合は、施設に電話をかけたり、施設情報を表示できます。また、「ガソリンスタンド」などのジャンルから目的地を検索した場合、施設名の横に施設情報アイコンが表示されます。このアイコンから施設のサービスや設備を確認できます。

施設に電話をかけます。



施設情報アイコン

施設情報画面から、QRコードなどの情報を表示できます。

— MEMO

- 施設情報アイコンには以下の種類があります。
  24（24時間営業）／ P（駐車場）／（トイレ）／ セルフ（セルフ給油方式）／ 洗車（洗車場）／（整備場）／（ドライブスルー）／（お酒）／（タバコ）／ 不明（不明）
- 施設情報アイコンは、ジャンル内の詳細ブランド名を選択した場合のみ表示されます。データの整備状態によっては、表示されないブランド項目もあります。

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。

数値を増減する

リストの項目に ＋、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
住所から自宅を登録するには、以下のように操作します。

1 **メニュー ▶ 自宅**

2 **はい ▶ 住所**

3 **都道府県を選択**

4 **市区町村を選択**

5 **地域を選択**

6 **番地、号を選択**

番地を入力：
番地、号を入力する。

— お知らせ
- 号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。

7 **必要に応じて、地図をスクロールして位置を修正 ▶ 決定**

8 **終了**

— MEMO

- イージーセットアップからも自宅を登録できます。→ P.164

登録済みの自宅情報を編集する

1 メニュー

2 設定 ▶ ナビゲーション

3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

自宅（未登録）：
自宅が未登録の場合に、自宅検索画面を表示する。

4 編集

位置を修正：
地図をスクロールして自宅の位置を修正する。

消去：
登録済みの自宅情報を消去する。

終了：
手順3に戻る。

5 **編集する項目を選択**

地図上表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示する。

アイコン：
自宅に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定する。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定する。
方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定する。

電話番号：
電話番号を編集する。

Memo

地図画面の見かた

地図画面の表示内容や操作方法について説明しています。

現在地の地図画面 …… 22
AVコントロールバーを表示する …… 23
マルチインフォメーションキーの使いかた …… 23
現在地メニューを表示する …… 24
地図を拡大／縮小する …… 24
地図の向きを変える …… 25
地図をスクロールする …… 25
平面地図のスクロール …… 26
立体地図のスクロール …… 27
地図の表示方法を変える …… 27
地図を1画面で表示する …… 28
画面を左右に分割して地図を表示する …… 28
地図を立体的に表示する …… 28
立体地図の角度を調整する …… 28
ルート情報モードで表示する（一般道路） …… 29
ルート情報モードで表示する（高速道路） …… 29
SA/PA図 …… 30
ピクチャービューモードで表示する …… 30
エコ運転診断モードで表示する …… 31
一方通行を表示する …… 31
地図画面の設定をする …… 32
地図に表示される色やマーク …… 33
一般地図凡例 …… 34
市街地図凡例 …… 34
SA/PA図 …… 34
VICS情報マーク …… 34

現在地の地図画面

1 現在地

現在地の地図画面が表示されます。

1 **自車位置マーク**
現在いる場所の位置を示しています。
マークの種類は変更できます。→ P.32

2 **簡易エコスコア**
エコスコアを簡易的に表示しています。
→ P.80

以下のキーは、タッチして操作できます。

3 AM **AVコントロールバー表示キー**
AV（オーディオ・ビジュアル）コントロールバーが表示されます。→ P.23

4 **明るさアップキー**
スモールランプを点灯させると、自動的に表示されます。→ P.168

5 **マルチインフォメーションキー**
自車位置周辺の情報が表示されます。キーの下段にお好みの追加情報を表示させることもできます。→ P.23
表示例

6 **ユーザーカスタマイズキー**
ユーザーカスタマイズ画面が表示されます。
→ P.169
選択中のユーザーアイコンがキー上に表示されます。

7 詳細 ／ 広域 **詳細／広域キー**
地図の縮尺を拡大／縮小できます。→ P.24

8 ／ **方位マーク**
現在の地図の向きです。タッチするたびに地図の向きが切り替わります。→ P.25
キーの右側には、現在表示している地図の縮尺が表示されます。

9 **表示変更キー**
地図表示変更メニューが表示されます。
→ P.27
このメニューでは、以下の設定が行えます。
- 地図画面の分割表示
- 地図表示モードの変更
- 地図画面上に表示する情報やアイコンの設定

10 **現在地メニューキー**
現在地メニューが表示されます。→ P.24
このメニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などが行えます。

11 **CARWINGSキー**
カーウイングスメニューが表示されます。
→ P.102

※1 受信済みのVICS情報の提供時間が表示されます。
※2 別売のETCユニット、またはDSRCユニット接続時に表示されます。
※3 Bluetooth対応携帯電話が接続状態のときに表示されます。

AVコントロールバーを表示する

オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せるAVコントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

1 AVコントロールバー表示キー

使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

— MEMO

- 非表示に戻したいときは、再度AVコントロールバー表示キーをタッチします。
- 10秒間コントロールバーの項目をタッチしないと、自動的に非表示になるように設定できます。→ P.161

マルチインフォメーションキーの使いかた

マルチインフォメーションキーの下段にお好みの機能を割り付け、情報を追加表示できます。マルチインフォメーションキーの表示／非表示は切り替えられます。→ P.161

— お願い

- マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。車両速度は、お車の実際のメーター表示で判断してください。

1 マルチインフォメーションキー

2 機能を選択

オーディオ情報：
再生中のトラック名、受信中の放送局名などの情報を表示する。
表示される情報は、ソースによって異なります。

マルチメーター情報：
以下の情報を表示する。
Spd：走行速度
Avg：平均速度
Max：最高速度
Odo：走行距離
目的地を設定したり、ルート案内を取りやめると、表示された情報はリセットされます。

GPS&自車方位情報：
GPS測位状態、GPS捕捉数、自車進行方向などの情報を表示する。
GPS測位状態には、以下の種類があります。
3次元測位：
4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を3次元で測位しています。
2次元測位：
3つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を2次元で測位しています。
非測位：
有効なGPS衛星からの電波を受信できず、測位できない状態です。

追加表示しない：
機能を追加しない。
自車位置周辺情報のみが表示されます。

情報を追加した場合

現在地メニューを表示する

現在地メニューでは、自車位置を登録リストに登録したり、自車位置周辺の検索などを行えます。

1 現在地メニュー

2 **目的の項目を選択**

周辺施設を検索：
自車位置周辺の施設を検索する。
→ P.41

検索アイコンの消去：
地図上の検索アイコンを消去する。
→ P.43

渋滞情報ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話が接続済みの場合、渋滞情報をダウンロードする。
→ P.107

ここを登録：
自車位置を登録リストに登録する。
→ P.50

カメラ地点登録：
フロントサイドビューモニターが接続されている場合、自車位置をカメラ地点として登録する。

周辺駐車場：
自車位置周辺の駐車場を検索する。
→ P.42

地図を拡大／縮小する

1画面地図表示および2画面地図表示の地図を拡大、または縮小して表示します。

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14段階（2D）／13段階（3D））
市街地図：
10m（2Dのみ）、25m、50m
通常地図：
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11段階）
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

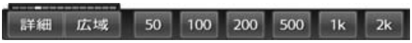
— お知らせ —
- 道路整備や拡張により、実際の道路状況と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示されない場合があります。

1 **地図画面の 詳細 または 広域**
地図が拡大／縮小されます。
詳細 または 広域 を長押しすると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図50mスケールと通常地図256km表示では、細かい調整表示はできません。
2画面地図表示の右地図を拡大または縮小するときは、右地図をタッチしてから右地図側に表示されるキーを操作してください。

通常地図50m画面

市街地図50m画面

スケールコントロールバー



画面下に表示されるスケールコントロールバーの尺度をタッチしても、同様に地図が拡大／縮小されます。50m、100m、200m、500m、1km、2kmからスケールを選択できます。3秒間操作がない場合、スケールコントロールバーは非表示になります。

— MEMO

- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと「市街地図データがありません」と表示されます。その際は、広域 をタッチしてください。自車位置が市街地図の収録エリア外に出た場合は、50mスケールの通常地図に自動的に切り替わります。

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

1 地図画面の [100m] または [N 100m]

進行方向上向き

北方向上向き

タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

— お知らせ

- 立体地図では、地図の向きを変えられません。

地図をスクロールする

— お知らせ

- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- 画面を左右に分割表示しているときの右画面は、スクロールできません。

— MEMO

- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
- 決定 をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。

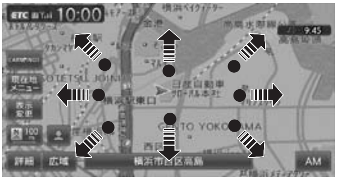
  スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去することができます。

  また、Bluetooth対応携帯電話を接続している場合は、カーウイングスを利用してスクロール先周辺の交通情報をダウンロードできます。→ P.107

  別売のフロントサイドビューモニターを接続している場合は、カメラ地点として登録できます。→ P.186
- スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
- 画面上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離が表示されます。
- 詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠い場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻るには、現在地 を押すか、戻る をタッチします。

平面地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



地図上を移動できます。

2 位置を微調整する場合は、微調整

見たい方向の矢印をタッチすると、スクロール位置を微調整できます。

解除：

通常のスクロール地図画面に戻る。

— お知らせ

- 走行中は、平面地図の微調整はできません。
- 平面地図の場合、市街地図から通常地図へのスクロールはできません。広域 をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
- スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去できます。

— MEMO

- 平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。
- 盗難多発地点アイコン上で、決定 ▶ 情報を見る をタッチすると、盗難多発地点の住所と被害件数情報が表示されます。
→ P.164

■ フリック操作・ドラッグ操作でスクロールする

フリック操作、またはドラッグ操作でも地図をスクロールできます。

1 画面上をタッチしたまま、すばやくスライドしながら指を離す（フリック操作）

▼

画面上をタッチしたまま、指を離さないでゆっくりスライドする（ドラッグ操作）

立体地図のスクロール

— お知らせ —
- 立体地図の場合、フリック操作、ドラッグ操作はできません。

1 **地図画面をタッチ**

2 **見たい方向の矢印をタッチ**

3 、 **で向きを調整**

地図の表示方法を変える

地図をいろいろな表示方法に設定できます。また、地図表示に関する設定を変更できます。

1 **地図画面の 表示変更**

2 **設定したい表示方法を選択**

地図モードを選択します。

— MEMO —
- 現在地 を押すごとに、現在地地図画面と選択した地図モードの画面を切り替えられます。
- イージーセットアップからも設定できます。→ P.164

1画面：
地図を1画面で表示する。→ P.28

2画面：
地図を分割し、2画面で表示する。→ P.28

ルート情報：
ルート情報モードに切り替える。→ P.29

ピクチャービュー：
ピクチャービューモードに切り替える。
→ P.30

エコ運転診断：
エコ運転診断モードに切り替える。→ P.31

3D：
地図を立体的に表示する。→ P.28
※地図描画のため、自車位置表示が遅れる場合があります。

／ **：**
地図の向きを切り替える。→ P.25
立体地図を表示している場合は、平面地図に切り替わります。

上がる／下がる：
立体地図の角度を調整する。
地図表示を「3D」に設定しているときに表示されます。→ P.28

ハイウェイモード：
ルート情報モードの自動表示の設定を切り替える。
自動表示をONに設定している場合は、高速道路・有料道路走行中、自動的にルート情報モードに切り替わります。→ P.29

一方通行：
一方通行情報の表示/非表示を切り替える。
→ P.31

施設アイコン：
地図上に表示する施設アイコンを選択する。

VICS表示：
地図上に表示するVICS情報を選択する。

その他：
地図表示に関するいろいろな設定を行う。
→ P.32

地図を1画面で表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 1画面 ▶ 戻る

画面を左右に分割して地図を表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 2画面 ▶ 戻る

— MEMO

- 右画面を拡大、または縮小するときは、右画面をタッチしてから操作します。その後、右画面の をタッチすると、もとの2画面表示に戻ります。
- 2画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます。→ P.24、P.25
    ただし、右地図ではスケールの細かい調整はできません。
  - 交差点拡大図などは右地図に、VICS情報などは左地図に割り込み表示されます。
  - スクロール操作は左地図で行います。

  2画面表示から1画面に切り替えた場合、左地図の表示設定が1画面に反映されます。

地図を立体的に表示する

1 **地図画面の** 表示変更

2 3D ▶ 戻る

— MEMO

- 2画面表示の場合、立体地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。このとき1画面に切り替えると、左地図の表示設定が1画面に反映されます。
- 立体地図では、視点の角度を調整できます。
  → P.28
- 平面地図に戻すには、地図表示変更メニューの または をタッチします。

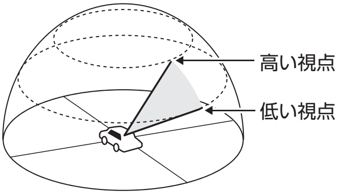
立体地図の角度を調整する

1 **地図画面の** 表示変更

2 **上がる** または **下がる**

上がる をタッチして視点を高くした場合

下がる をタッチして視点を低くした場合



ルート情報モードで表示する（一般道路）

一般道路走行中に1 ～ 3つ先の交差点情報や目的地、経由地情報を表示できます。

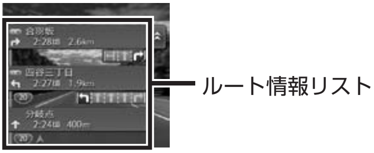
準 備

●目的地を設定します。→ P.35

1 **地図画面の** **表示変更**

2 **ルート情報** ▶ **戻る**

ルート情報リストが表示されます。



— MEMO

- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.24、P.25、P.28
- **現在地** を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ルート情報モードで表示する（高速道路）

高速道路および一部の有料道路を走行中に、以下の情報を表示できます。

●インターチェンジ／ジャンクション／サービスエリア（SA）／パーキングエリア（PA）／ランプ／目的地までの合計料金など

準 備

●目的地を設定します。→ P.35

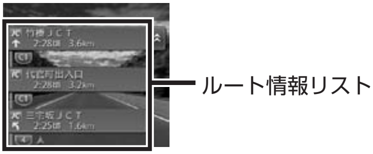
— MEMO

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にルート情報モードに切り替わります。
  - 地図表示変更メニューの「ハイウェイモード」が「ON」に設定されている。→ P.28
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している。

1 **地図画面の** **表示変更**

2 **ルート情報** ▶ **戻る**

ルート情報リストが表示されます。



— お知らせ

- すべてのVICS規制アイコンが表示されるわけではありません。必ず現地の交通規制にしたがって走行してください。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行いません。
- オートリルートすると、ルート情報モードが一時的に解除される場合があります。→ P.156

— MEMO —

- 渋滞状況が色で表示されます。（赤：渋滞、オレンジ：混雑、水色：順調）
- 渋滞状況が灰色で表示されるのは、以下の場合です。
  - VICS渋滞情報が配信されていない
  - 本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない
- SA/PAをタッチするとSA/PA情報が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジをタッチすると、目的地や経由地に設定できます。同様にジャンクションをタッチすると、分岐道路名称などの情報が表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチできません。
- 料金所では、料金所のゲート情報をデフォルメして表示します。時間帯、規制等により実際の状況と一致しない場合がありますので、必ず現地の指示にしたがって走行してください。
- 左地図のスケールや向きを変えたり、平面や立体で表示できます。
  → P.24、P.25、P.28
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引や期間限定の料金体系などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2013年12月現在のものであり、2014年4月の消費税率変更後の料金には対応しておりません。また、道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。
- ハイウェイモードONの場合は、現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  → P.28
  ルート情報モード→現在地地図→拡大図→ルート情報モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

SA/PA図

SA/PAの施設情報です。ルート情報リストでSA/PAの名前をタッチすると表示されます。

地図を表示：
施設の地図を表示する。

ピクチャービューモードで表示する

自車位置周辺のグルメスポット、観光スポットを写真で表示します。表示中の施設は、目的地や経由地として設定できます。
ピクチャービューモードは、1画面の平面地図で表示されます。

1 **地図画面の** 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 **写真を選択**

«、»：
写真リストをスクロールする。

|«：
写真リストの先頭に戻る。

ルート沿い：
ルート沿いの施設の写真を優先して表示する。
ルートが設定されていない、またはルートを外れて走行している場合はタッチできません。

：
スクロール地図画面を表示する。
「カーソル表示」がOFFのとき、アイコンは表示されません。→ P.162

：
表示される施設の種類をレジャーに切り替える。

：
表示される施設の種類をグルメに切り替える。

4 目的の項目を選択

ここに行く：
施設へのルート探索を行い、案内を開始する。

ここをルートに追加：
施設を経由地として追加する。（ルート設定時のみ表示）

ここを登録：
施設を登録リストに登録する。

詳細情報を見る：
施設の詳細情報を表示する。

位置を修正：
地図をスクロールして、表示している位置を修正する。

— お知らせ —

- 走行中、写真はアイコンで表示されます。
- ピクチャービューモードを解除するには、他のモードに変更してください。

— MEMO —

- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の上に または が表示されます。
- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  ピクチャービューモード→現在地地図→拡大図→ピクチャービューモード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

エコ運転診断モードで表示する

1 地図画面の 表示変更

2 エコ運転診断 ▶ 戻る

— お知らせ —

- エコ運転診断モードを解除するには、他のモードに変更してください。

— MEMO —

- 現在地 を押すと、以下の順で画面が切り替わります。
  エコ運転診断モード→現在地地図→拡大図→エコ運転診断モード
  拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

一方通行を表示する

⚠ 警告

- **一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が双方通行の場合があります。**

1 地図画面の 表示変更

2 一方通行 ▶ 戻る

— お知らせ —

- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m以下のスケールで表示されます。
- 立体地図では表示されません。
- 一方通行情報はスクロール地図で走行中は表示されません。

地図画面の設定をする

1 **地図画面の** 表示変更

2 その他

3 **設定したい項目を選択**

昼画面／夜画面の地図色：
昼画面、夜画面の表示色を選択する。（初期値：昼画面地図色1、夜画面地図色4）

早朝・夕方の地図色：
早朝、夕方の表示色を選択する。（初期値：地図色2）

地図色切替条件：
地図色を自動的に切り替える条件を設定する。（初期値：時刻連動）

・昼画面固定
昼画面の表示色で固定表示する。

・夜画面固定
夜画面の表示色で固定表示する。

・イルミ連動
スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替える。

・時刻連動
時刻に連動して、自動的に早朝、昼、夕方、夜画面に切り替える。

地図文字サイズ：
地図画面に表示する文字の大きさを選択する。（初期値：中）

自車位置マーク：
地図画面に表示する自車位置のマークを選択する。（初期値：自車位置マーク2）

目的地方向表示：
地図画面に目的地の方向を直線で表示するかどうかを選択する。（初期値：ON）

地図に表示される色やマーク

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

- 山岳
- ゴルフ場・ゴルフ練習場
- 海水浴場・湖水浴場
- 空港・飛行場
- 公園・緑地
- 支庁・都道府県庁
- 区役所・市役所
- 町村役場・東京以外の区役所
- 警察本部・警察署
- 建設公共事業事務所・その他地方自治体の機関・その他国の機関
- 裁判所
- 税務署
- 森林管理署
- 交番・駐在所
- 消防庁・消防本部・消防署
- 保健所・健康相談施設・社会福祉事務所
- 郵便局
- 地方銀行
- 自衛隊関連施設
- 工場
- 発電所・変電所
- 大学院・大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 高等学校
- 中学校
- 小学校
- 幼稚園
- 養護学校・ろう・盲学校
- 病院・医院
- 神社
- 仏閣
- 展望台・タワー
- 灯台
- 城跡
- 名所・観光地・墓・古墳
- 温泉地
- 重要港
- 老人ホーム
- 交差点
- インターチェンジ・出入口(IC)
- サービスエリア（SA）
- パーキングエリア（PA）
- インターチェンジ･出入口（出入口）
- インターチェンジ･出入口（出口）
- 料金所
- 冬季通行止め
- 冠水路地点
- 事故多発地点
- 盗難多発地点（危険度・小）(黄)
- 盗難多発地点（危険度･中）（オレンジ）
- 盗難多発地点（危険度・大）(赤)
- カメラ登録地
- 遊覧船発着場・フェリーターミナル
- ホテル・旅館
- 駐車場
- 道の駅
- 各種資料館・博物館・美術館
- 卸売り市場
- カー用品店
- 教会
- スキー場
- キャンプ場
- 動物園
- 植物園
- スタジアム・野球場
- 水族館
- 図書館
- 霊園・墓地
- 遊園地（テーマパーク）
- 遊園地（テーマパーク）ゲート
- テニス場・その他総合運動施設
- 文化施設
- その他

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

一般地図凡例

	高速道・有料道（青）		モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ（濃いグレー）
	国道（赤）		
	主要地方道（緑）		国境線、都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	都道府県道（茶）		
	一般道・細街路（グレー）		JR・私鉄・地下鉄（地上）路線

市街地図凡例

	都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界		歩道（濃いグレー）
			有料道路（紫）
			一方通行

SA/PA図

- ATM
- 授乳室
- コイン洗車機
- その他施設
- FAX
- 飲食店
- ガソリンスタンド
- 宿泊施設
- ハイウェイ情報ターミナル
- インフォメーション
- コインランドリー
- 駐車場
- 郵便ポスト
- レストラン
- 休憩所
- ショッピングコーナー
- コインシャワー
- スナックコーナー
- 温泉、お風呂
- ショップ
- 公衆電話
- トイレ
- 自動販売機
- 情報元のクレジットカード情報
- 情報元の営業時間
- 情報元の電話番号
- 特徴情報
- イベント情報

VICS情報マーク

■ 交通障害情報

事故	障害物・路上障害	工事
故障車	作業	凍結

■ 交通規制情報

通行止・閉鎖	速度規制	車線規制	入口制限
徐行	進入禁止	片側交互通行	対面通行
入口閉鎖	大型通行止め	チェーン規制	

■ 駐車場情報、SA/PA情報

満車（赤）	混雑（黄）	空車（青）	閉鎖	不明（黒）
90%以上	70%～90%	70%以下	―	情報なし

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

ルートガイド開始までの流れ…………………… 36
目的地検索画面を表示する……………………… 38
基本的な使いかた………………………………… 38
地図で探す………………………………………… 38
地点メニュー画面について……………………… 38
施設の名称で探す………………………………… 39
住所で探す………………………………………… 39
地名で探す………………………………………… 39
登録した地点から探す（登録リスト）………… 39
電話番号で探す…………………………………… 39
施設のジャンルから探す………………………… 40
ジャンル名を入力して探す……………………… 40
自宅に戻る………………………………………… 41
設定した目的地を消去する……………………… 41
自車位置周辺／目的地周辺から探す………… 41
自車位置周辺の施設のジャンルから探す……… 41
よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）
……………………………………………………… 42
よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する
……………………………………………………… 42
自車位置周辺の駐車場を探す…………………… 42
目的地周辺の施設のジャンルから探す………… 42
目的地周辺の駐車場を探す……………………… 43
ルート沿いの施設を探す………………………… 43
検索アイコンを消去する………………………… 43
TVの情報から探す ……………………………… 44
TV番組の名前で探す …………………………… 44
ジャンルから探す………………………………… 44
自車位置・目的地周辺から探す………………… 44
こんな探しかたもあります…………………… 45
これまでに設定した目的地から探す…………… 45
目的地の履歴を消去する………………………… 45
地図表示位置周辺から探す……………………… 45
地図表示位置周辺の駐車場を探す……………… 46
マップコードで探す……………………………… 46
SDカード内の登録地から探す ………………… 46
緯度・経度で探す………………………………… 46
郵便番号で探す…………………………………… 46
登録ルートから探す……………………………… 47
ピクチャービューから探す……………………… 47
目的地を設定したら…………………………… 47
施設情報を見る…………………………………… 48
施設情報画面の表示……………………………… 48

ルートガイド開始までの流れ

① 目的地の検索

いろいろな方法で目的地を探すことができます。

メニュー を押す

お好みの検索方法で目的地を検索します。

- 自宅へ戻る → P.41
- 施設の名称で探す → P.39
- 電話番号で探す → P.39
- 目的地の履歴から探す → P.45

目的地 から左にフリック

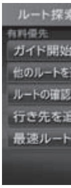
- 施設のジャンルから探す → P.40
- 自車位置周辺／目的地周辺から探す → P.41
- 住所で探す → P.39
- マップコードで探す → P.46
- 本機に登録した地点から探す → P.39
- 緯度・経度で探す → P.46
- 本機に登録したルートから探す → P.47
- 郵便番号で探す → P.46
- TVの情報から探す → P.44
- SDカードに保存した登録地点から探す → P.46

② ルートの確

目的地を設定したら…

ルートを確認してから
ガイドを開始したい

他のルートを探してから
ガイドを開始したい



認と編集

③ ルートガイド開始

ルートガイドが開始されます。

すぐにルートガイドを
開始したい

ガイド開始 をタッチ

現在のルートで案内が開始されます。

この画面からこんな操作もできます。

- 位置を修正 → P.55
- ここを登録 → P.55
- ルートに追加 → P.55
- 周辺駐車場 → P.55

ルートを表示 ▶▶ ルートを確認して ガイド開始 をタッチ

この画面からこんな操作もできます。

- ルートの確認・登録 → P.57
- 行き先を追加 → P.57
- 最速ルート探索 → P.58

ルートを表示 ▶▶ 他のルートを選ぶ ▶▶ ガイド開始 をタッチ

異なる条件で探索された複数のルートが表示されます。
お好みのルートを選択してください。

目的地検索画面を表示する

目的地メニュー画面では、本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探せます。また、現在地メニュー画面からも目的地を探せます。

メニュー ▶▶ 目的地 ▶▶

目的地メニュー画面

▶▶ << ▶▶

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在地 ▶▶ 現在地メニュー ▶▶

現在地メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お願い —

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

基本的な使いかた

地図で探す

1 **地図をスクロールさせて目的地を表示**
→ P.25

2 決定

3 ここに行く

目的地までのルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.56

4 ガイド開始

地点メニュー画面について

地図をスクロールした先で 決定 をタッチすると、地点メニューが表示されます。→ P.38
この地点メニューから、スクロール先の地点を目的地に設定する以外にも、以下の操作を行えます。

ここをルートに追加：
ルート設定時にスクロール先の地点を目的地、または経由地に追加する。→ P.61

周辺施設を検索：
スクロール先周辺の施設を検索する。→ P.45

渋滞情報ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話が接続済みの場合、渋滞情報をダウンロードする。→ P.60

消去：
スクロール先の地点が、登録地、自宅、目的地、経由地のいずれかである場合、その地点を消去する。

ここを登録：
スクロール先の地点を登録する。

施設の名称で探す

— お知らせ
- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 検索の結果、対象となる施設が膨大な数になった場合、入力した文字列と完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

1 メニュー ▶ 名称
2 **施設の名称を入力** ▶ 候補を表示
入力した施設名の候補が5件以下→手順3
3 **施設を選択**
4 ガイド開始 → P.47

住所で探す

— お知らせ
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

1 メニュー ▶ 目的地
2 住所
3 **目的地の都道府県を選択**
近隣県：
自車位置周辺の都道府県を指定する。
→ P.17
4 **市区町村を選択**
5 **地域名を選択**
6 **番地、号を選択**
番地を入力：
番地、号を入力する。
— お知らせ
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると検索結果画面が表示されます。

7 ガイド開始 → P.47

地名で探す

都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

1 メニュー ▶ 目的地
2 住所
3 地名を入力
4 **地名を入力** ▶ 候補を表示
地名の途中まででも検索できます。
5 **目的の地名を選択**
6 **番地、号を選択**
7 ガイド開始 → P.47

登録した地点から探す（登録リスト）

本機に登録したよく行く場所の一覧から目的地を探せます。

— MEMO
- 本機の登録リストには、400件まで地点を登録できます。→ P.50

1 メニュー ▶ 目的地
2 登録地
3 **登録地を選択**
4 ガイド開始 → P.47

電話番号で探す

— お知らせ
- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- タウンページに掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。

1 メニュー ▶ 電話番号
2 **電話番号を市外局番から入力（9 ～ 11桁）** ▶ 決定
— MEMO
- 複数の施設がリストに表示された場合は、リストから目的の施設を選択してください。

3 ガイド開始 → P.47

施設のジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

— お願い —

- ハイウェイの施設を検索した場合、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

1 メニュー ▶ 目的地

2 ジャンル

3 **ジャンルを選択**

4 **施設のジャンルを選択**

詳細：

詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

— お知らせ —

- 選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。→手順5

5 **目的の施設を選択**

— MEMO —

- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

6 ガイド開始 → P.47

ジャンル名を入力して探す

施設のジャンルに関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

1 メニュー ▶ 目的地

2 ジャンル

3 ジャンル名入力

4 **キーワードを入力** ▶ 候補を表示

予測候補：

予測変換候補リストからジャンルや施設を選択する。

— お知らせ —

- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

5 **目的のジャンルを選択**

6 **目的の施設を選択**

— MEMO —

- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探すことをおすすめします。
- 対象となる施設数が1万件を超えている間は、都道府県や市区町村を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県、市区町村をタッチしてください。

7 ガイド開始 → P.47

自宅に戻る

自宅を登録しておくと、自宅をすぐに探し出せます。→ P.18

1 メニュー ▶ 自宅

2 ガイド開始

自宅までのルートが探索され、ルート案内を開始します。

設定した目的地を消去する

— お知らせ —

• 目的地を消去すると、経由地も同時に消去されます。

1 メニュー ▶ 目的地

2 目的地を消去 ▶ はい

目的地が消去され、ルート案内が中止されます。

自車位置周辺／目的地周辺から探す

— お知らせ —

• 目的地までのルートが設定されていないと、目的地周辺の検索はできません。

自車位置周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 自車周辺

3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.40

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を自車位置周辺から探す。→ P.42

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO —

• 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.47

よく使うジャンルから探す（お好みアイコンキー）

お好みアイコンキーに登録したジャンルから、自車位置周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索

3 **お好みアイコンキーを選択**

— MEMO

- 走行中は施設リストは表示されず、現在地地図画面に切り替わります。「検索アイコンの表示」がONの場合は、検索アイコンが地図上に表示されます。→ P.153

4 **施設を選択**

5 ガイド開始 → P.47

よく使うジャンルをお好みアイコンキーに登録する

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せます。コンビニやガソリンスタンドなどは、ブランド名まで指定して登録できます。

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ お好み変更

3 **登録したいお好み番号を選択**

お好み消去：
お好みアイコンキーに登録したジャンルを消去する。

— MEMO

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。

4 **ジャンルを選択**

5 **さらにジャンルを選択**

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。ブランド名を指定できます。

— MEMO

- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

自車位置周辺の駐車場を探す

表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 周辺駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.47

目的地周辺の施設のジャンルから探す

周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺

3 **施設のジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.40

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探す。→ P.42

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.47

目的地周辺の駐車場を探す

目的地の半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺の駐車場

3 **駐車場を選択**

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.47

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
ルート上から80m以内、ルートの距離で30km以内にある施設を探します。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地

2 周辺検索 ▶ ルートサイド

3 **ジャンルを選択**

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.40

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探す。→ P.42

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

- ルートサイド検索は自車位置がルート上にあると認識された場合のみ可能です。
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。
- 施設名の左側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

— お知らせ

- エンジンを切ってから再度始動したり、ルートを再計算すると、立寄地は消去されます。

検索アイコンを消去する

周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンを消去するには､以下のようにします。

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 検索アイコンの消去 ▶ はい

TVの情報から探す

TV番組で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TVの情報は更新できます。→ P.171

— MEMO

- TVで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組は継続的に施設を紹介している特定のものです。今後は予告なく変更されることがあります。

TV番組の名前で探す

TV番組で紹介された施設を番組名から探せます。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 TVサーチ ▶ 番組名

3 **目的の番組を選択**

4 **目的の施設を選択**

— MEMO

- 画面上部に、紹介された番組と放送日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。

：食べる・飲む　：遊ぶ・見る
：泊まる　：買う

5 ガイド開始 → P.47

ジャンルから探す

ジャンルは、「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 TVサーチ ▶ ジャンル

3 **目的のジャンルを選択**

4 **目的の詳細ジャンルを選択**

5 **目的の施設を選択**

6 ガイド開始 → P.47

自車位置・目的地周辺から探す

自車位置、または目的地周辺の施設をジャンルで検索できます。周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 TVサーチ ▶ 周辺検索

3 自車周辺 **または** 目的地周辺

4 **目的のジャンルを選択**

詳細：
詳細なジャンルのリストを表示する。
ブランド名を指定できます。

5 **目的の施設を選択**

6 ガイド開始 → P.47

こんな探しかたもあります

これまでに設定した目的地から探す

1 メニュー ▶ 履歴
2 目的の地点を選択
3 ガイド開始 → P.47

— MEMO —
- 履歴は最新のものから順に自動で保存されます。（最大100件）
- 目的地は★で表示されます。

目的地の履歴を消去する

1 メニュー ▶ 設定
2 ナビゲーション
3 登録データの編集・消去
4 登録の消去
5 目的地履歴の消去
6 目的の項目を選択

最近の行き先の全件消去：
すべての目的地履歴を消去する。

最近の行き先の1件消去：
目的地履歴から1件ずつ選択して消去する。

前回出発地の消去：
前回ルート案内した際の出発地点履歴を消去する。

地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。周辺100km以内にある施設を探せます。（最大100件）

1 地図をスクロール ▶ 決定
2 周辺施設を検索
3 施設のジャンルを選択

ジャンル名入力：
キーワードを入力してジャンル名から探す。→ P.40

お好みアイコンキー：
選択したアイコンのジャンルの施設を表示先周辺から探す。→ P.42

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

— MEMO —
- 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

5 ガイド開始 → P.47

— MEMO —
- 周辺検索で検索すると、矢印付きのアイコンが表示されます。これを検索アイコンと呼びます。検索アイコンは消去できます。→ P.43

目的地を探す

地図表示位置周辺の駐車場を探す

地図をスクロールした先の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 地図をスクロール ▶ 決定

2 周辺駐車場

3 駐車場を選択

— MEMO

- 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

4 ガイド開始 → P.47

マップコードで探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ マップコード

2 マップコードを入力 ▶ 決定

3 ガイド開始 → P.47

— MEMO

- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  Webサイト：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  （株式会社デンソーコミュニケーションズ）

SDカード内の登録地から探す

準 備

●SDカードに登録地を保存します。→ P.170

— MEMO

- SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件です。

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 SD保存登録地

3 グループを選択

4 地点を選択

5 ガイド開始 → P.47

緯度・経度で探す

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 緯度・経度

3 北緯と東経を入力 ▶ 決定

4 ガイド開始 → P.47

郵便番号で探す

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 郵便番号

3 郵便番号を入力 ▶ 決定

— MEMO

- 該当するデータが見つからない場合は、メッセージ表示後、郵便番号の入力画面に戻ります。

4 ガイド開始 → P.47

登録ルートから探す

本機に登録してあるルートから、目的地を設定します。

準 備

●ルートを登録します。→ P.52

1 メニュー ▶ 目的地 ▶ <<

2 登録ルート

3 **目的の登録ルートを選択**

現在のルートを登録：
目的地が設定されている場合に、そのルートを本機のルートリストに登録する。

4 ガイド開始 → P.47

ピクチャービューから探す

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示して目的地に設定します。→ P.30

1 **地図画面の** 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 **写真を選択**

4 ここに行く

目的地までのルートが探索され、案内が開始されます。

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。目的地を設定した後は、この画面からルートを設定します。→ P.54

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 ガイド開始

現在の条件でルート計算がはじまります。ルートに沿って走行すると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。
ルート探索結果画面を表示したまま30 秒経過すると、現在の探索条件で自動的にルート案内が開始されます。

— お知らせ —
- 走行中は、表示できる項目が限定されます。
- 地図をスクロールして地点を設定した場合は、表示される画面が異なります。→ P.38

— MEMO —
- 画面左上にあらかじめ設定された探索条件が表示されます。ルート案内の条件を変更することもできます。→ P.59

検索結果画面では、以下の操作を行えます。

ガイド開始：
現在の条件でルートを探索する。

ルートを表示：
現在の条件でルートを探索し、ルートの確認や他のルートの探索をする。→ P.54

目的地を探す

位置を修正：
地点の位置を調整する。→ P.55

ルートに追加：
現在のルートに経由地、または目的地として追加する。→ P.55
ルート設定時に表示されます。

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録する。→ P.55

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示する。→ P.55

情報：
施設情報を表示する。→ P.55

施設情報を見る

施設情報画面の表示

検索結果画面に 情報 が表示されている施設には、施設情報が登録されています。

情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。

QRコード：
施設情報が含まれたQRコードを表示する。
携帯電話でQRコードを読み取ると、施設の詳細情報が確認できます。

電話をかける：
情報に電話番号データがある場合、表示中の施設に電話をかける。
Bluetooth対応携帯電話の接続が必要です。

QRコード をタッチすると、QRコードが表示されます。

縮小：
QRコードを縮小表示する。

— お知らせ —

- 施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。
  必要に応じて、目的地を「位置を修正」で移動して決定してください。→ P.55
  - 目的地としてピンポイントで表示された位置が、案内すべき道路から離れている場合
    「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
  - 表示されている場所が施設出入口のため、車を駐車するのには適さない場所に誘導される場合（到着地点を示す旗のほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。）
    「施設出入り口の地点を表示します。」
- 複数の出入口を持つ施設、専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に出入口、駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設、または出入口、駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。出入口、駐車場を選択すると到着地点を示す旗のほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。

地点・ルートを登録する

よく行く地点やルートを本機に登録できます。

よく行く地点を登録する………………………… 50
登録リストに登録する……………………………… 50
登録リストを並べ替える…………………………… 50
地点のデータを編集する…………………………… 50
地点の位置を修正する……………………………… 51
リストから地点を消去する………………………… 51
よく使うルートを登録する……………………… 52
現在のルートを登録する…………………………… 52
登録済みのルートを編集する……………………… 52
リストからルートを消去する……………………… 52

よく行く地点を登録する

よく行く地点を400件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。

— MEMO

- 本機の登録リストに登録した地点は、1グループにつき450件、最大10グループ4,500件までSDカードに保存できます。

登録リストに登録する

1 **登録したい地点を探す**→ P.35

2 ここを登録

— MEMO

- 現在地を登録する場合は、現在地メニュー ▶ ここを登録 をタッチします。
- スクロール先の地点を登録する場合は、地図をスクロール ▶ 決定 ▶ ここを登録 をタッチします。

登録リストを並べ替える

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 並べ替える

新規登録：
地点を探して登録する。

4 **並べ替える種類を選択**

登録順：
登録した日付の新しい順に表示する。

読み順：
50音順に表示する。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンの順に表示する。

グループ指定：
グループ選択画面を表示する。
並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

地点のデータを編集する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 **登録地点を選択**

4 編集

5 **項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集**

地図上表示：
地図上のアイコン表示（登録地番号など）をON/OFFする。

名称：
名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチしてください。

ヨミ：
読みを設定する。
読みを入力後、決定 をタッチしてください。

アイコン：
登録地点に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：
車が登録地に近づいたときに鳴るアラーム音を設定する。

アラーム方向：
車が登録地に近づいたときにアラームを鳴らすときの進入方向を設定する。
設定した方向から車が近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定 をタッチしてください。

アラーム距離：
自車位置とアラームを鳴らす登録地までの距離を設定する。
車が設定した距離内まで登録地に近づいたときにアラーム音が鳴ります。

電話番号：
登録地点の電話番号を設定する。
電話番号入力後、決定 をタッチしてください。

グループ：
登録地を所属させるグループを選択する。

登録番号：
登録番号を表示、または変更する。

カメラ切換方向：
カメラ地点への車の進入方向を設定する。

地点の位置を修正する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 **登録地点を選択**

4 位置を修正

5 **地図をスクロールして位置を修正**

微調整：
詳細な位置修正をする。→ P.26

6 決定

リストから地点を消去する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録地の消去

3 1件消去

一括消去：
登録地点をすべて消去する。

4 **地点を選択** ▶ はい
選択した地点が登録リストから消去されます。

よく使うルートを登録する

よく使うルートを本機に登録できます。（最大5件）登録したルートは登録ルートから呼び出せます。

— MEMO

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

現在のルートを登録する

1 **ルートを設定**→ P.53

2 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

3 登録ルート

4 現在のルートを登録 ▶ はい

登録済みのルートを編集する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録ルート

3 **編集するルートを選択**

4 **項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集**

名称変更：
登録ルートの名称を設定する。
名称入力後、決定 をタッチします。

現在ルートに入替：
現在設定しているルートを、登録済みのルートに上書きする。

消去：
登録済みのルートを消去する。

終了：
手順2に戻る。

リストからルートを消去する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録ルートの消去

3 1件消去

一括消去：
登録ルートをすべて消去する。

4 **登録ルートを選択** ▶ はい

選択したルートが、登録ルートリストから消去されます。

ルートの設定と案内

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内がはじまりますので、ルート案内にしたがって走行してください。

検索した地点を確認・設定する……………… 54
現在の条件でルートを探索する……………… 54
ルートの確認や設定をする…………………… 54
検索した地点の位置を修正する……………… 55
検索した地点をルート上に追加する………… 55
検索した地点を本機に登録する……………… 55
検索した地点周辺の駐車場を探す…………… 55
検索した地点の施設情報を表示する………… 55
走行するルートを設定する…………………… 56
現在の条件でルートを探索する……………… 56
異なる条件のルートから選択する…………… 56
ルートの確認・登録をする…………………… 57
行き先を追加する……………………………… 57
有料道路の出入口を選択する………………… 58
カーウイングスを利用して最速ルートを探す……… 58
設定済みのルートを再探索する……………… 59
設定した条件で再探索する…………………… 59
探索条件を変更して再探索する……………… 59
迂回ルートを再探索する……………………… 59
カーウイングスを利用して交通情報を受信する…… 60
最速ルート探索の条件を設定する…………… 60
目的地・経由地を編集する…………………… 60
目的地・経由地設定時のご注意……………… 60
経由地を追加する……………………………… 61
目的地・経由地の位置を修正する…………… 61
目的地・経由地の順番を並べ替える………… 62
目的地・経由地を消去する…………………… 62
区間ごとに探索条件を設定する……………… 62
有料道路の出入口を変更する………………… 63
スマートICとは ……………………………… 63
設定したルートを確認する…………………… 64
ルート上の情報を見る………………………… 64
ルートをシミュレーション走行する………… 64
現在のルートを登録する……………………… 64
ルート上の地図をスクロールする…………… 65
ルート案内の音量を確認・設定する………… 65
ルート案内時の音声出力を切り替える……… 65
ルート案内を中止する………………………… 65
ルートを消去する……………………………… 65
ルート案内中の地図画面……………………… 66
ルート案内中の案内表示……………………… 67
交差点手前で出る案内表示…………………… 67
高速道路での案内表示………………………… 67
ETCレーンガイドでの案内表示 …………… 68
細街路での表示………………………………… 69
ルート案内中の音声案内……………………… 70
運転中の音声案内例…………………………… 70
進行方向の案内について……………………… 70

検索した地点を確認・設定する

地点検索で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録できます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。
この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索→ P.35 ▶▶

検索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

ルート探索の条件は変更できます。
→ P.56、P.59

1 **地点を検索→ P.35 ▶ ガイド開始**
そのままの条件でルートが探索されます。

— MEMO

- 以下の場合、一般道と有料道路(または高速道路)のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。 有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
  - 有料道路、または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置から約100m以内に有料道路や高速道路がある場合
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 緊急施設（病院など）を目的地にした場合、確認画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては緊急施設を目的地に設定できないときがあります。
- 目的地を盗難多発地点付近にした場合、警告案内を行います。(「盗難多発地点の音声警告」がONの場合のみ→ P.164)
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路、または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。
- 「誘導開始時に取得」が「ON」のときは、自動的にカーウイングス情報センターから交通情報を取得し、渋滞を考慮したルートが探索されます。→ P.157

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、ほかのルートを探索して選択できます。

1 **地点を検索→ P.35**
▶ ルートを表示

2 **目的の項目を選択**

ガイド開始：
選択したルートにしたがってルート案内を開始する。→ P.56

他のルートを選ぶ：
異なる条件の5つのルートから、お好みのルートを選択する。→ P.56

ルートの確認・登録：
ルートの各種情報の確認やルートを登録する。→ P.57

行き先を追加：
ルートに行き先を追加する。→ P.57

最速ルート探索：
Bluetooth対応携帯電話が接続済みの場合、カーウイングスを利用して渋滞・道路規制などの交通情報を取得し、最速ルートを再検索する。→ P.58

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 **地点を検索→ P.35** ▶ 位置を修正

2 **地図をスクロールして位置を修正** ▶ 決定

検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。

微調整：
詳細な位置修正をする。→ P.26

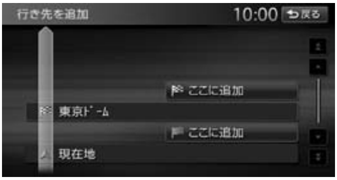
検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点をルート上の経由地として追加したり、目的地に再設定できます。

1 **地点を検索→ P.35** ▶ ルートに追加

行き先追加画面が表示されます。

2 ここに追加



選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます。→ P.56

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機の登録リストに登録できます。（最大400件）

— お知らせ —

- 地点の検索方法が「登録地」の場合は、この操作は行えません。

1 **地点を検索→ P.35** ▶ ここを登録

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索結果地点から半径800m以内にある駐車場を探します。（最大10件）

1 **地点を検索→ P.35** ▶ 周辺駐車場

2 **駐車場を選択**

駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の施設情報を表示する

— お知らせ —

- 検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。
- 施設に情報がない場合、情報 はタッチできません。

1 **地点を検索→ P.35** ▶ 情報

施設情報画面が表示されます。→ P.48

SA/PAの場合

SA/PA以外の場合

ルートの設定と案内

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。

地点を検索→ P.35 ▶▶
ルートを表示 ▶▶

ルート探索結果画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

現在の条件でルートを探索する

現在設定されている条件のまま、ルートを探索して案内を開始します。

1 **地点を検索**→ P.35
▶ ルートを表示

2 ガイド開始
現在の条件でルートが探索されます。

— MEMO —
- ルート探索結果画面を表示したまましばらくすると、現在の条件で自動的にルート案内を開始します。
- 探索したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に最大5つのルートが表示されます。
異なる条件で探索された複数のルートから、お好みのルートを選択できます。

— お知らせ —
- 探索されるルートの種類は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。
→ P.160
- 経由地、または高速道路出入口の指定がある場合は、この操作は行えません。
- 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。→ P.160

1 **地点を検索**→ P.35
▶ ルートを表示

2 他のルートを選ぶ
ルート選択画面が表示されます。

3 **お好みのルートを選択**

「省エネルートを考慮」ONの場合

「省エネルートを考慮」OFFの場合

有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料（省エネ）※1**：**
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

有料優先（別ルート）※2**：**
「有料優先」とは異なる有料道路を優先的に使用する。
「有料優先」のルートと同じになる場合もあります。

一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般（省エネ）※1：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

一般優先（別ルート）※2：
「一般優先」とは異なる一般道路を優先的に使用する。
「一般優先」のルートと同じになる場合もあります。

距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

※1「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。
※2「省エネルートを考慮」OFFの場合のみ表示されます。

4 ガイド開始

— MEMO

- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、「統計交通情報を考慮」の設定に関係なく、統計交通情報を考慮して探索します。→ P.160
- 省エネルートを選択した場合、以下の設定内容を使用します。
  - 乗車人数／車両重量／排気量／モード燃費／ボディタイプ

  この設定は「車両設定」から行えます。
  → P.163

  数値を設定していない場合は、本機の初期値を使用してルートの探索を行います。

ルートの確認・登録をする

1 **地点を検索→ P.35**
▶ ルートを表示

2 ルートの確認・登録

3 **目的の項目を選択**

ルート情報：
ルート上の情報を表示する。→ P.64

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録する。
→ P.64

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認する。→ P.65

行き先を追加する

追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

— お知らせ

- 経由地が5つ設定されている場合は追加できません。

1 **地点を検索→ P.35**
▶ ルートを表示

2 行き先を追加

3 **行き先を検索→ P.35**

4 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.48
ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

5 ここに追加

選択した位置に地点が追加されます。

有料道路の出入口を選択する

使用する有料道路の出入口をリストから選択できます。

1 **地点を検索**→ P.35
▶ ルートを表示

2 **入口施設名称、または出口施設名称を選択**

入口施設名称　　出口施設名称

選択した出入口の前後3つまでの出入口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

— お知らせ —
•「有料道入口」、または「有料道出口」と表示されている入口施設名称、出口施設名称はタッチできません。

3 **変更する出入口の名称を選択**

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが探索されます。

カーウイングスを利用して最速ルートを探す

本機にBluetooth対応携帯電話を登録すると、カーウイングスを利用して渋滞・道路規制などの交通情報をリアルタイムに取得できます。
→ P.107
この受信した交通情報をもとに、渋滞を考慮したルートを設定できます。

準 備

●カーウイングスを利用するための設定が必要です。→ P.102

1 **地点を検索**→ P.35
▶ ルートを表示

2 最速ルート探索

最新の交通情報を考慮したルートが探索され、ルート探索結果画面が表示されます。
→ P.56

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索できます。また、渋滞を迂回してルートを探索することもできます。

メニュー ▶▶ ルート ▶▶

ルートメニュー画面

※画面は「省エネルートを考慮」OFF設定時のものです。
※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— お知らせ —

- ルートが未設定の状態では、ルートメニュー画面の探索条件キーをタッチできません。探索条件を変更したい場合は、ルートメニュー画面の ガイド音声・探索設定 ▶ 探索条件 をタッチして選択してください。設定された探索条件は、次回のルート探索に引き継がれます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された5つのルートをすべて再探索します。→ P.56

1 メニュー ▶ ルート

2 再探索

— お知らせ —

- 立寄地設定時にこの操作をすると、立寄地は消去されます。→ P.43
- 経由地、または有料道路の出入口が設定されている場合は、1ルートのみ探索します。

— MEMO —

- 有料道路の出入口設定時は、設定を継続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

探索条件を変更して再探索する

高速道路を走行中に一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 メニュー ▶ ルート

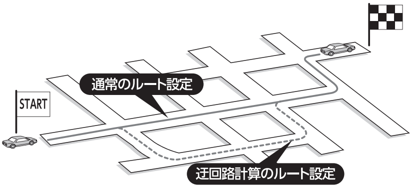
2 **希望の探索条件を選択**→ P.158

※画面は「省エネルートを考慮」OFF設定時のものです。

選択した探索条件で、ルートを再探索します。

迂回ルートを再探索する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 メニュー ▶ ルート

2 迂回路探索

3 **迂回ルートを探索する、自車位置からの距離を選択**

迂回するルートが再探索されます。

— お知らせ —

- 迂回ルートが見つからない場合もあります。

カーウイングスを利用して交通情報を受信する

本機にBluetooth対応携帯電話を登録すると、カーウイングスを利用して渋滞・道路規制などの交通情報をリアルタイムに取得できます。
→ P.107
この受信した交通情報をもとに、渋滞を考慮したルートを設定できます。

準 備

●カーウイングスを利用するための設定が必要です。→ P.102

1 メニュー ▶ ルート

2 最速ルート探索

交通情報が受信されます。走行中のルートよりも早く到着するルートが探索された場合は、新ルートで案内を開始します。

— MEMO

• 交通情報を受信しても新しいルートが見つからない場合は、そのままのルートで案内を継続します。

最速ルート探索の条件を設定する

カーウイングスを利用した情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

1 メニュー ▶ ルート

2 ガイド音声・探索設定

ルート探索条件の設定画面が表示されます。

3 最速ルート探索の自動取得設定

この後の操作は、「交通情報のダウンロード設定をする」と同様です。→ P.157

目的地・経由地を編集する

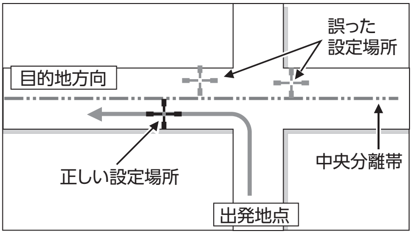
目的地・経由地設定時のご注意

ルートの途中で寄り道をしたいときなどに、ルートに経由地を設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。
ルートを変える際には、以下のことを考慮して目的地・経由地を設定してください。

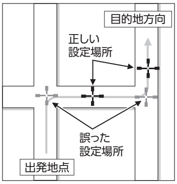
— お知らせ

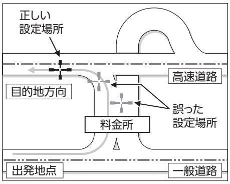
• 高速道路の本線上に目的地・経由地を設定した場合、ルートが見つからないことがあります。その場合は、目的地・経由地を本線以外へ設定し直してください。

1 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。

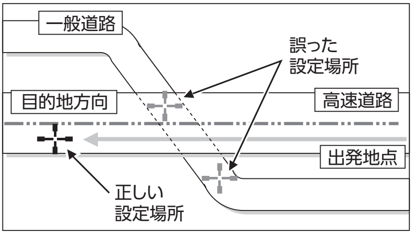


2 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。





3 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経由地を設定しないでください。

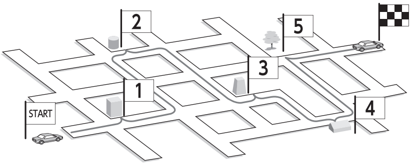


— お知らせ —

• 設定した目的地・経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

経由地は最大5つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **経由地を追加する位置の** ここに追加

4 **地点を検索→ P.35**

5 ここに決定する

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行う。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示する。
→ P.48

ここを登録：
検索した地点を本機に登録する。

6 探索開始

経由地が追加され、新しいルートが探索されます。

目的地・経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **位置を調整したい地点を選択**

4 位置を修正

5 **位置を修正して** 決定

6 探索開始

目的地、または経由地の位置が調整され、ルートが探索されます。

目的地・経由地の順番を並べ替える

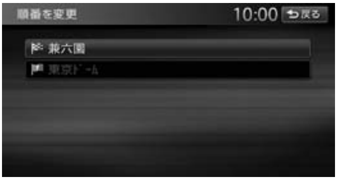
1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **順番を変えたい地点を選択**

4 順番を変更

5 **移動する位置を選択**



6 探索開始

目的地、または経由地の順番が入れ替わり、新しいルートが探索されます。

— お知らせ

- 地点の順番を並べ替えると、指定ICは解除されます。

目的地・経由地を消去する

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **消去したい地点を選択**

4 消去 ▶ はい

5 探索開始

選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが探索されます。

— お知らせ

- 目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに探索条件を設定する

現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **探索条件を設定したい区間の探索条件キー選択**

探索条件キー

4 **希望の探索条件を選択**→ P.158

— MEMO

- 選択した区間の前後に指定ICがある場合は、探索条件を選択後に はい または いいえ をタッチします。
- 省エネルートを選択して案内を開始した場合、全区間において統計交通情報を考慮して探索します。「統計交通情報を考慮」の設定は自動的にONになります。
→ P.160

5 探索開始

選択した探索条件で、ルートが探索されます。

— お知らせ

- 探索条件を変更して再探索を行うと、区間ごとに設定した探索条件は解除されます。

有料道路の出入口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入口を、リストから選択して変更できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正

3 入口を変更 または 出口を変更

入口ICを元に戻す／出口ICを元に戻す：
指定したICを解除する。

4 **変更する出入口の名称を選択**

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、高速出入口リストが表示されます。同様に、変更する出入口を選択してください。

ルート探索結果画面に戻り、入口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

5 ガイド開始

— MEMO

- 選択した出入口がスマートICの場合は、確認画面が表示されます。 はい をタッチすると、スマートICを考慮したルートが設定され、いいえ をタッチすると、選択が取り消されます。

スマートICとは

スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマートICを考慮してルート探索を行います。

— お知らせ

- スマートICは、ETCユニット、またはDSRCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマートICでは、対象車種に制約がありますが、それを考慮したルート探索は行いません。実際の道路状況にしたがって走行してください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

⚠ 注意

- **走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。**

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認できます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。

— お知らせ

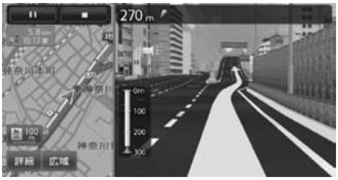
- 現在走行中の道路の情報は表示されません。そのため、各道路の走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認できます。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。



シミュレーション中は、以下のキーを操作できます。

▶：
ルートシミュレーションを再生する。

II：
ルートシミュレーションを一時停止する。

■：
ルートシミュレーションを中止する。

詳細／広域：
地図の縮尺を変更する。

— お知らせ

- ルートシミュレーション中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - ハードボタンの操作
  - 電話を着信
  - カメラ画面を表示
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。

現在のルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。（最大5件）

— お知らせ

- 本機能は、探索されたルート自体を登録するものではなく、経由地・目的地・区間探索条件の組み合わせをセットで登録します。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録したときのルートとは異なる場合があります。

1 メニュー ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 現在のルートを登録 ▶ はい

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 地図スクロール

カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力のON/OFFを切り替えられます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ガイド音声・探索設定

3 ガイド音量

4 ＋ － **で音量を調整**

通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

— MEMO

- この設定は、「ガイド音量」と連動しています。→ P.153

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択できます。

1 メニュー ▶ ルート

2 ガイド音声・探索設定

3 ガイド・メッセージ音声

— MEMO

- この設定は、「ガイド・メッセージ音声」と連動しています。→ P.153

ルート案内を中止する

1 メニュー ▶ ルート

2 ガイド中断

— お知らせ

- ルート案内中止中に、「省エネルートを考慮」の設定を切り替えると、ルート案内を再開できません。→ P.160

  再開したい場合は、目的地メニュー画面から目的地を再設定してください。

— MEMO

- ルート案内を再開したい場合は、メニュー ▶ ルート ▶ ガイド再開 をタッチしてください。

ルートを消去する

1 メニュー ▶ ルート

2 ルート消去 ▶ はい

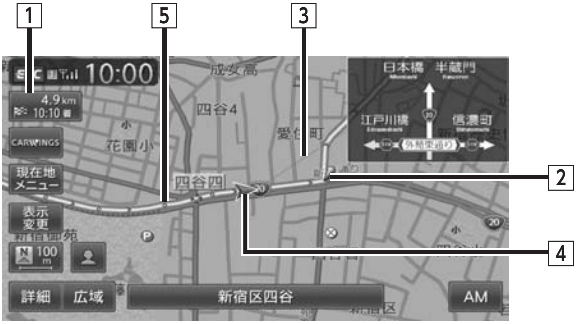
ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなどの情報が表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。



1 **目的地情報キー**
自車位置から目的地までのルート距離と到着予想時間※1が表示されます。
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。
タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。目的地の位置が正確でない場合は微調整ができます。

2 **音声案内地点**
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

3 **目的地方向表示**
目的地までの方向を直線で示しています。目的地方向表示は「目的地方向表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.32

4 **誘導ルート**
目的地までの走行道路です。
経路色：黄色（一般道路）、水色（有料道路）、暗いピンク色（細街路）

5 **軌跡**
車が走行した軌跡を軌跡マークで表示します。軌跡マークは「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます。→ P.153

※1「自動計算」が「OFF」の場合、到着予想時刻は「到着予想時刻の速度設定」で定めた平均速度で計算されます。→ P.155
渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

交差点手前で出る案内表示

交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

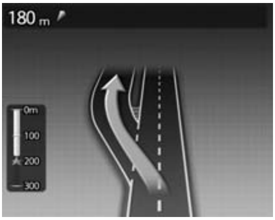
— MEMO

- 一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

都市高速道路の手前※1

複雑交差点の手前※2

側道分岐点の手前※3



交差点の手前

レーン表示※4

※1 「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.154
※2 イラストが表示される地域は、政令指定都市と東京23区内のみです。
※3 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
※4 交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

高速道路での案内表示

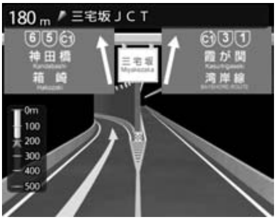
都市高速道路の入口※1

入口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2

出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2



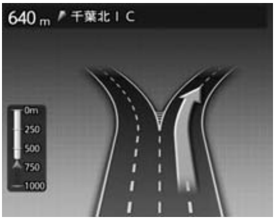
分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1「高速入口の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.154
※2「高速分岐の画像表示」がONの場合に表示されます。→ P.154

■ デフォルメ図



以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。
●側道分岐点
●高速道路・有料道路の3分岐以内の分岐点
●画像がない場合の高速道路の分岐点
デフォルメ図には、通行車線が表示されます。

※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

ETCレーンガイドでの案内表示

本機と連動する別売のETCユニットが接続状態であり、さらにETCカードが挿入されているとき「黄色矢印」がETCレーン側に表示されます。それ以外の場合は、矢印が一般側に表示されます。

	ETC利用不可時	ETC利用可能時※
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

※ETCユニット接続中で、ETCカードが挿入されているとき

お知らせ

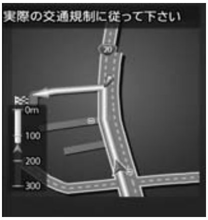
- ETCレーンの整備上実際のレーンと異なる場合があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行･通過してください。

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3 ～ 5.5mの一般道路が暗いピンク色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路が含まれます。必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。**



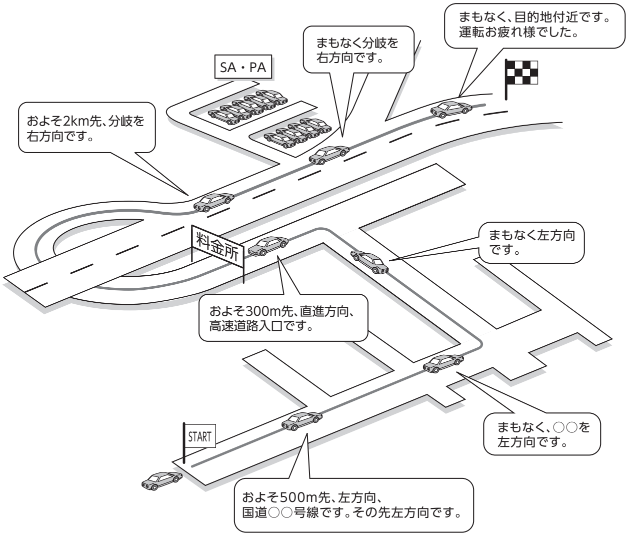
お知らせ

- 200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も細街路が表示されます。走行中に地図をスクロールしているときは、細街路は表示されません。

ルート案内中の音声案内

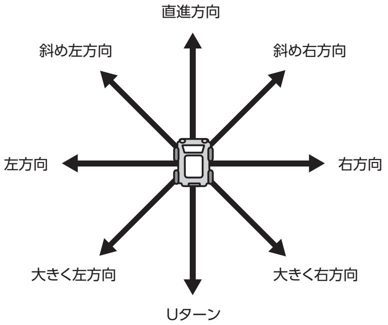
案内地点が近づくと、音声で案内されます。

運転中の音声案内例



進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、8方向で案内されます。



情報を利用する

FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信してドライブに役立てられます。
車のメンテナンス情報や本体情報（Ver.情報）、ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニュー画面を表示する…… 72
VICS情報を利用する …… 72
VICSとは …… 72
交通情報の表示について…… 72
地図上に表示されるVICS情報（レベル3）…… 73
FM多重のVICS情報を利用する…… 74
FM多重 VICS情報を見る …… 74
光・電波ビーコンのVICS情報を利用する …… 74
ビーコン情報受信時のご注意…… 74
ビーコンVICS情報を見る …… 75
DSRC情報を利用する …… 75
DSRC情報を見る …… 75
ETC情報を利用する …… 76
ETC情報とは …… 76
ETC情報の画面表示と案内 …… 76
予告案内…… 76
警告表示…… 76
料金案内…… 76
最新の利用履歴を読み上げる…… 77
ETC情報の履歴を見る …… 77
ETC/DSRCのセットアップ情報を表示する …… 77
ETC料金を割り勘にする …… 77
ETCの設定をする …… 78
エコ運転診断をする…… 78
エコ運転診断の設定をする…… 78
E1Grand Prixとは …… 79
エコ運転診断画面の見かた…… 79
スコアアップのポイント…… 79
簡易エコスコアを表示する…… 80
履歴を確認する…… 80
エコ運転診断のデータをリセットする…… 80
その他の情報を利用する…… 81
ラジオの交通情報を受信する…… 81
GPSから現在地の情報を取得する…… 81
本機の情報(確認コード)を見る …… 81
メンテナンス情報を利用する…… 82
お知らせ設定をする…… 82
お知らせメッセージを確認する…… 83
販売会社情報を登録する…… 83
販売会社を登録したら…… 83

情報メニュー画面を表示する

情報メニュー画面では、FM VICS情報やビーコンVICS情報を受信して、交通情報などを見られます。また、車のメンテナンスに関する情報や本機の情報、ETC履歴などの情報も見られます。

メニュー ▶▶ 情報 ▶▶

情報メニュー画面

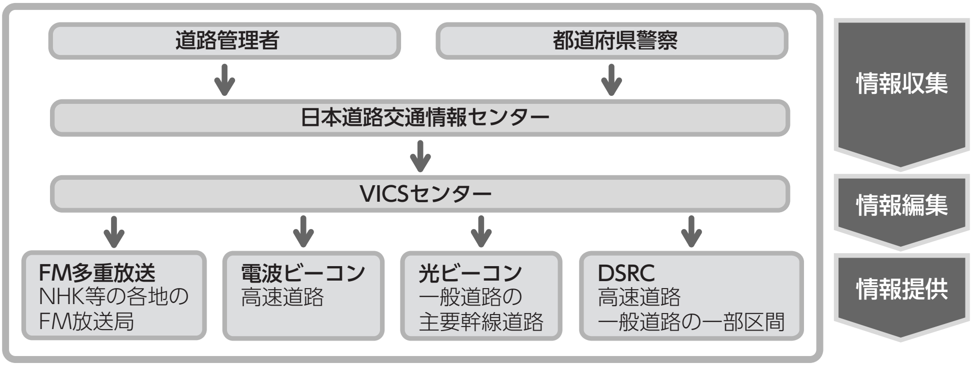
※走行中はタッチできる項目が限定されます。

VICS情報を利用する

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、渋滞や事故などの影響による規制情報や、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

■ VICS情報の流れ



交通情報の表示について

文字表示（レベル1）

簡易図形表示（レベル2）

地図表示（レベル3）

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。
また、ルート情報リストでも、渋滞情報を色で確認できます。→ P.29
ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

受信マーク表示
VICS情報が提供された時刻を表示します。
※受信した時刻ではありません。
※メンテナンス等で休止している時間以外は、24時間VICS情報を提供しています。

VICSアイコン表示（1km以下のスケールで表示）
以下の情報をアイコンで表示します。→ P.34

交通障害情報：
事故、故障車、路上障害物、工事、作業など

交通規制情報：
通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制

駐車場情報：
駐車場、SA/PAの満車・空車情報
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.156

カーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。（2D地図のみ）

VICSアイコン情報は、「スクロール地点情報表示」で表示／非表示を設定できます。→ P.161

渋滞情報を線で表示
（1km以下のスケールで表示）

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。
「地図上のVICS表示設定」で表示／非表示を設定できます。→ P.156

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

FM多重のVICS情報を利用する

本機は、内蔵のFM多重受信機でFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

緊急情報以外のレベル1情報、およびレベル2情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

— お願い —
- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

— お知らせ —
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。

— MEMO —
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- FM多重放送の受信地域は変更できます。
→ P.156

FM多重 VICS情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ FM VICS

2 見たい情報を選択

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急情報：
FM VICS情報から受信した緊急情報を表示する。

3 見たい項目の番号を選択

FM VICS情報が表示されます。

光・電波ビーコンのVICS情報を利用する

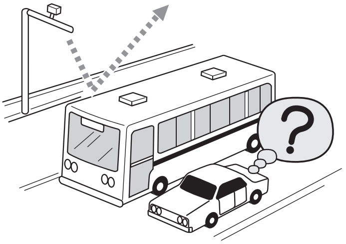
別売のVICS光・電波ビーコンユニット、またはDSRCユニット接続時に受信できる情報です。自車位置周辺の交通情報を表示できます。

緊急／注意警戒情報以外のレベル1情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル2情報を受信すると、自動的にビーコンVICS情報画面に切り替わり、情報が割り込み表示されます。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

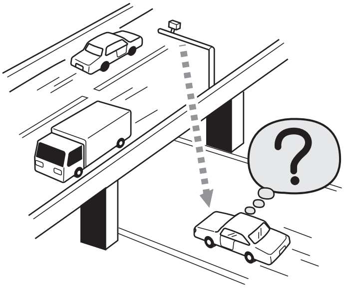
ビーコン情報受信時のご注意

ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信したりすることがあります。

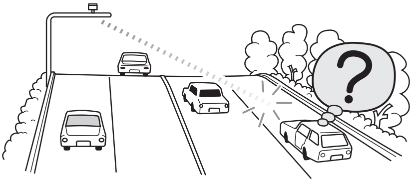
●道路に設置されているVICS光・電波ビーコン、またはDSRC発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できない場合があります。



●高速道路と交差する一般道路や、近くを並行して走る一般道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。



- 一般道路走行中、VICS光・電波ビーコン、またはDSRC受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信したりすることがあります。
- 高速道路走行中、トンネル内や幅の広い道路では、VICS情報を受信できない場合があります。



- 高速道路走行中、豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。
- 別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。

ビーコンVICS情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ビーコン情報

2 **見たい情報を選択**

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認する。

文字情報：
渋滞情報などを表示する。

所要時間：
各地への所要時間を表示する。

緊急、注意警戒情報：
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を表示する。

3 **見たい項目の番号を選択**

ビーコンVICS情報が表示されます。

— MEMO

- 図形情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。→ P.156

DSRC情報を利用する

別売のDSRCユニット接続時に受信できる情報です。
高速道路に設置されたDSRC路側アンテナと、DSRC車載器間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流などの情報を、リアルタイムに画像と音声で案内します。
DSRC情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。
緊急／注意警戒情報以外のレベル1情報は、受信しても自動的に表示されません。手動で情報を選択し、表示させてください。
レベル2情報を受信すると、自動的にDSRC情報画面に切り替わり、情報が割り込み表示されます。
レベル3情報を受信すると、自動的に地図画面上に表示されます。

DSRC情報を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ DSRC情報

2 **見たい情報を選択**

以下の情報を確認できます。
図形情報
文字情報
緊急・注意警戒情報
多目的情報
電子標識情報
安全運転支援情報
長文読み上げ情報

3 **見たい項目を選択**

— MEMO

- 音声データがある場合は、自動的に音声で情報を読み上げます。→ P.157
- 図形情報を受信すると、自動的に割り込み表示されます。→ P.156

ETC情報を利用する

ETC情報とは

ETC情報とは、ETCの料金情報や予告案内、警告情報などです。本機と連動する別売のETCユニットを接続すると表示されます。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

準備

●料金情報の案内や履歴の表示を行うには、ETCユニットにETCカードをセットします。ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

• 別売のDSRCユニットを接続しても、ETC情報を利用できます。
• 走行中は、操作できる項目が限定されます。

MEMO

• 表示料金は目安です。
• ETCの車載器管理番号などを表示させることもできます。→ P.77

ETC情報の画面表示と案内

予告案内

料金所に予告アンテナ／ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。

●「ETCを利用できません」
●「ETCを利用できます」
●「ETCカードの挿入不良です。カードの差し込み状況を確認してください」

警告表示

●「挿入されたカードがETCカードであるか確認できませんでした。カードを確認して再度挿入してください」
ETCカードの挿入方向が正しくないときや、ETCカードでないときに表示されます。

●「ETCカードのデータが読み出せませんでした」
ETCカード内に記録されているデータが読み出せなかったときに表示されます。

●「ETC車載器が故障しています」
●「ETCに異常が検出されました」
ETCユニットの故障や異常検出時に表示されます。

●「ETCを利用できません。係員の指示に従ってください」
●「料金所とのデータ処理にエラーが発生しました。料金所の係員の指示に従ってください」
料金所からの停車指示やデータ処理エラーにより、ゲートを通過できないときに表示されます。

●「ETCカードを挿入してください」
ETCカードの入れ忘れ警告をONに設定した場合、本機起動時に表示されます。→ P.78
またETCカード未挿入で「履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときにも表示されます。

●「ETC車載器がセットアップできていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

●「DSRC車載器がセットアップできていません」
DSRCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

●「ETC車載器のセットアップは正常に終了しました」
ETCユニット本体のセットアップが正常に終了したときに表示されます。

●「ETCカードの有効期限が切れています。ETCカードを確認してください」
ETCカードの有効期限が切れているとき、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

●「ETCカードの有効期限は今月末です。ETCカードを確認してください」
ETCカードの有効期限切れ1ヶ月前から、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

●「ETCカードを認証しました 有効期限：YYYY/MM」
ETCカードの有効期限が1ヶ月以上あるときに、起動時とETCカード挿入時に表示されます。

料金案内

ETCユニット、またはDSRCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。

※表示料金は目安です。

ETCゲート通過時に料金が徴収された場合、または料金の払い戻しがあった場合に案内されます。

●「料金：xxxxxx円」（料金の支払い）
●「料金：-xxxxx円」（料金の払い戻し）

最新の利用履歴を読み上げる

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 最新利用履歴の読上げ

最後に課金されたETCの金額が音声で案内されます。

ETC情報の履歴を見る

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 履歴 または 最新利用日履歴

ETCカードが差し込まれている場合にETC情報が表示されます。

履歴：

最新の履歴より、最大100件のETC情報を表示する。

最新利用日履歴：

最新日に利用したETC情報のみ表示する。

— MEMO

- 履歴読み出し中にカード排出などを行うと、読み出しが正常に行われません。このとき「すべての情報を取得できませんでした。一部の情報が表示できません」と表示されることがあります。
- 一度も使用したことのない新しいカードの場合は、「情報がありません」と表示されます。
- ITSスポット付近では、ETC情報の履歴の読み出しが正常に行えない場合があります。

ETC/DSRCのセットアップ情報を表示する

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 セットアップ情報

ETCの場合は、車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。
DSRCの場合は、車載器管理番号、型式登録番号が表示されます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 精算

3 **精算したい履歴を選択 ▶ 決定**

日+：

精算する履歴を、1日分ずつさかのぼって追加する。

日−：

精算する履歴を、1日分ずつ解除する。

4 **＋ または − で人数を調整**

1人あたりの支払い金額が表示されます。

5 **ETC以外にかかった料金がある場合は、駐車料金などを入力**

6 **金額を入力 ▶ 決定**

1人あたりの支払い金額が表示されます。

— お知らせ

- 計算可能な金額は100万円未満です。100万円以上になると「料金計算の範囲を超えています」と表示されます。

— MEMO

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ETCの設定をする

別売のETCユニット、またはDSRCユニット接続時の設定です。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 ETC設定

音声ガイド：
本機からの音声案内を出力させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード抜き忘れ警告：
ETCカードを抜き忘れたときに警告させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード入れ忘れ警告：
ETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

アイコン表示：
地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

カード有効期限切れ警告：
ETCカードの有効期限が近い場合と期限切れの場合に、カード挿入時に画面表示と音声で通知させるかどうかを選択する。（初期値：ON）

— お知らせ

- ETCユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETCカードの有効期限に関する警告は表示されません。

エコ運転診断をする

エコ運転診断では、車両の走行を「発進」、「巡航」、「減速」に分けて、それぞれの走行シーンごとに、どれだけエコロジー運転ができているかを「エコ運転度」や「エコスコア」などで表示します。

⚠ 注意

- **エコ運転診断を参考にする場合は、モニターを注視せず、安全に十分注意して走行してください。**

— MEMO

- 「エコ運転度」や「エコスコア」は、車の速度や加速度などから計算されます。
- 急な坂道などの走行環境により、「エコ運転度」「エコスコア」が低く計算される場合がありますので、ご了承ください。
- 以下の場合、「エコ運転度」「エコスコア」は表示されません。
  「交差点拡大図」→ P.67 ／「ルート情報モード（一般道路）」→ P.29 ／「ピクチャービューモード」→ P.30

エコ運転診断の設定をする

1 メニュー ▶ 情報 ▶ エコ運転診断

2 エコ表示設定

エコ表示設定が切り替わります。
「エコ運転度」、「エコスコア」および「簡易エコスコア」では、エコ運転診断をもとにどれだけエコロジー運転を実践できているか確認できます。
エコ運転度画面およびエコスコア画面では、E1Grand Prixに参加するためのエコ運転診断情報をSDカードに保存できます。
→ P.80

E1Grand Prixとは

E1Grand Prixとは、燃費やスコアを競いながら、ユーザーのクルマをエコカーにしていくプロジェクトです。ほかのドライバーと競争しながら、楽しくエコロジー運転を続けられます。
以下のWebサイトからドライバー登録すると、E1Grand Prixに参加できます。ドライバー登録は無料です。
E1Grand Prix（http://e1gp.jp）

※E1Grand Prixに関しては、E1Grand Prix運営事務局（http://e1gp.jp/e1gp/cgi/Manage.cgi）へお問い合わせください。

エコ運転診断画面の見かた

1 メニュー ▶ 情報 ▶ エコ運転診断

2 エコ運転度 または エコスコア

エコ運転度画面

現在の「エコ運転度」が表示されます。

タッチすると、エコスコア画面に切り替わります。

エコ運転診断の結果をリセットしてから現在までの平均エコ運転度が表示されます。

エコロジー運転ができているかどうかを、「瞬間」、「平均」別にグラフ上のバーの伸び縮みで表示します。「エコ運転度」を確認しながら運転することで、エコロジー運転の向上に役立ちます。

エコスコア画面

発進・巡航・減速、停止時の各状態に合ったエコロジー運転ができているかがスコアで示されます。

タッチすると、エコ運転度画面に切り替わります。

エコロジー運転ができているかどうかを、「発進」、「巡航」、「減速」の走行状態別に評価したスコアで表示します。エコロジー運転を実践すると、「エコスコア」も向上します。理想的なエコロジー走行を100点として、お客様の走行を得点化して表示します。

スコアアップのポイント

エコスコアは、車の速度や加速度から計算されます。
以下の点に注意して運転をするとスコアがアップします。急な坂道など、走行環境によりエコスコアが低く計算される場合がありますので、ご了承ください。

●発進：
ゆるやかなアクセルの踏み込みを推奨します。発進後の5秒間は、20km/h程度の走行が目安です。

●巡航：
通常走行時は、加減速の少ない一定した速度維持を推奨します。車間距離に余裕を持ち、速度にムラのない走行をしてください。

●減速：
スムーズな減速を伴う停止を推奨します。停止位置がわかったら、早めにアクセルから足を放し、エンジンブレーキを利用して減速してください。

簡易エコスコアを表示する

1 メニュー ▶ 情報 ▶ エコ運転診断

2 簡易エコスコア

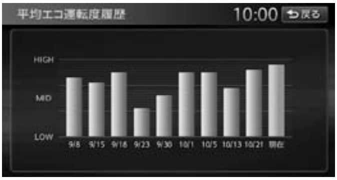
地図画面上にエコスコアが簡易的に表示されます。

履歴を確認する

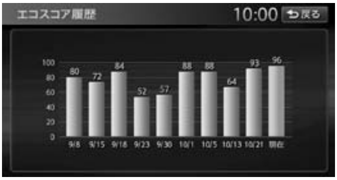
これまでにリセットした平均エコ運転度、またはエコスコアの履歴が表示されます。履歴は、リセットした過去9回分のデータと現在の値が表示されます。

1 **エコ運転度画面 または エコスコア画面で** 履歴

エコ運転度履歴画面



エコスコア履歴画面



エコスコアは100点満点の棒グラフで表示されます。

エコ運転診断のデータをリセットする

1 **エコ運転度画面 または エコスコア画面で** 保存 ▶ はい

お知らせ

- データの保存後、すぐにキーポジションの変更はしないでください。

MEMO

- SDカードにエコ運転診断の結果を保存する場合は、SDカードを本機にセットしてから 保存 ▶ はい をタッチしてください。SDカードに「エコ運転度」と「エコスコア」が保存され、エコ運転診断のデータがリセットされます。
- SDカードがセットされている状態で、データを保存せずリセットのみ行う場合は、保存 ▶ いいえ ▶ はい をタッチしてください。

その他の情報を利用する

ラジオの交通情報を受信する

1 メニュー ▶ Audio ▶ 交通情報

交通情報を受信します。

1620kHz/1629kHz：
周波数を切り替える。

解除：
交通情報を聞く前に視聴していたオーディオソースに戻る。

GPSから現在地の情報を取得する

1 メニュー ▶ 情報

2 GPS現在地情報

GPSの測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星の数が表示されます。

本機の情報(確認コード)を見る

1 メニュー ▶ 情報
▶ 本体情報 地図更新

Ver.情報（メモリー情報）画面が表示されます。

2 情報を選択

Ver.情報：
以下の情報を表示する。
ホリデイ・スポット更新のバージョン情報、ナビゲーションアプリケーションのバージョン情報､スキン（スクリーンデータ）のバージョン情報、オーディオアプリケーションのバージョン情報、TVサーチ情報データの最終更新日、更新データのバージョンなど

製品情報：
地図更新などの際に使用する確認コードなどを表示する。

地図更新：
地図更新の実施日、ホリデイ・スポット更新の実施可能期限日などを表示する。
→ P.193

情報を利用する

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、交換間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連：
エンジンオイル、オイルフィルタ、ミッションオイル、ブレーキオイル

タイヤ関連：
空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換

消耗品：
ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド

点検・車検：
車検、定期点検（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

免許証・保険：
免許証更新、自動車保険更新（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

オリジナル1 ～ 3：
任意の項目を設定できます。（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

— MEMO —
- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明します。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報

2 オイル関連

— MEMO —
- オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチした場合→手順4

3 エンジンオイル

4 各項目を設定

設定できる項目は以下のとおりです。
設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：
メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定する。

お知らせ日：
お知らせする日を設定する。

交換間隔：
1ヶ月単位でお知らせする交換間隔を設定する。
例：「交換間隔」を24ヶ月に設定し 交換完了 をタッチすると、現在の日付から24ヶ月後がお知らせ日に設定されます。お知らせ日に、再度同じ間隔で案内させる場合は、交換完了 をタッチすると、さらに24ヶ月後がお知らせ日に設定されます。

お知らせ距離：
お知らせする走行距離を設定する。
計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

走行距離：
お知らせ表示をONにした後、走行距離がカウント表示される。
お知らせ日を更新するか、またはお知らせ設定をリセットすると0kmに戻ります。

名称：
メンテナンス項目の名前を設定する。
手順2で オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチしたときのみ表示されます。

交換完了：
走行距離を0にリセットする。
設定した交換間隔でお知らせ日が更新されます。

リセット：
選択した項目のお知らせ設定を初期化する。

お知らせメッセージを確認する

メンテナンス項目が設定された年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにお知らせのメッセージが表示されます。

1 確認

今後表示しない：
後からメンテナンス項目を確認する。
「お知らせ設定をする」の手順2、3で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。→ P.82
交換完了 をタッチすると、! は消えます。

2 **お知らせ項目を選択**
次のメンテナンス時期を設定します。

お店へ行く：
登録した日産販売会社（ディーラー）までのルートを探索する。

販売会社情報を登録する

日産販売会社（ディーラー）の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売会社へルート案内できます。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報
2 販売会社情報
3 販売会社登録
4 **販売会社の地点を探す**
5 決定
6 はい
販売会社が登録されます。設定した日産販売会社（ディーラー）の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

販売会社を登録したら

販売会社情報を登録した後の販売会社情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、日産販売会社（ディーラー）までの地図とルート選択メニューが表示されます。
ルート選択メニューの ガイド開始 をタッチすると、日産販売会社（ディーラー）までのルートが探索されます。

— MEMO

- 販売会社情報を編集したい場合は、販売会社情報画面で各項目をタッチしてください。

Memo

通信（Bluetooth）を利用する

本機に携帯電話などのBluetooth対応機器を接続すると、本機から電話をかけたり、交通情報を受信できます。

通信を利用してできること……………………… 86
Bluetooth対応機器を登録する……………… 87
Bluetooth（ブルートゥース）とは………………… 87
Bluetoothハンズフリーの
マルチポイント接続でできること…………………… 87
Bluetooth機器の取り扱いについて………………… 88
Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）…… 88
接続するBluetooth対応機器を切り替える………… 90
登録したBluetooth対応機器を消去する…………… 90
携帯電話を利用する………………………… 91
通話中の画面………………………………………… 91
番号を入力して電話をかける……………………… 92
発着信履歴からかける……………………………… 92
発着信履歴を消去する……………………………… 92
電話帳を登録する…………………………………… 93
電話帳から電話をかける…………………………… 93
電話帳のデータを消去する………………………… 94
施設情報から電話をかける………………………… 94
販売会社へ電話をかける…………………………… 94
短縮ダイヤルを登録する…………………………… 94
短縮ダイヤルから電話をかける…………………… 95
短縮ダイヤルの編集をする………………………… 95
短縮ダイヤルを消去する…………………………… 95
電話を受ける………………………………………… 95
電話の設定をする…………………………………… 96
通話音量と着信音の設定をする…………………… 96
Bluetooth機能のON/OFFを切り替える ………… 96
携帯電話を持ち込み忘れたときに警告する……… 96
パスキー・デバイス名称を変更する……………… 97
電話のメモリをすべて消去する…………………… 97

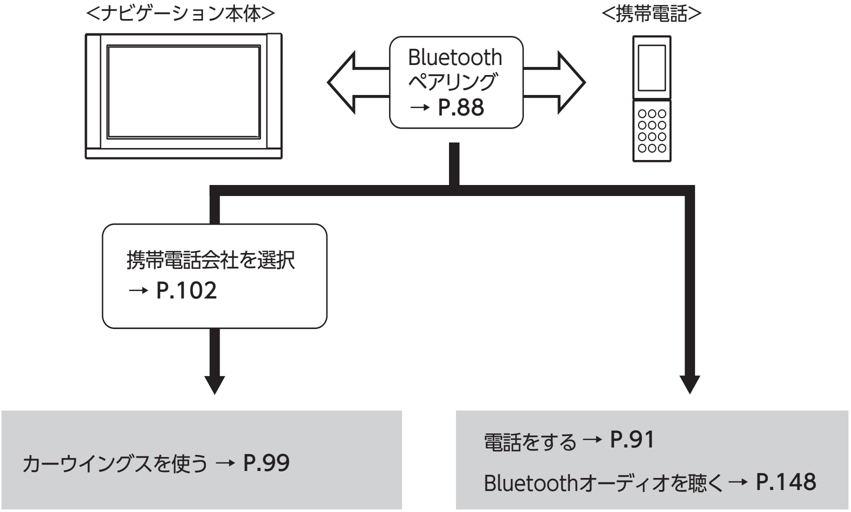
通信を利用してできること

Bluetooth対応携帯電話を利用すると、ハンズフリーで通話したり、カーウイングスを利用できます。

準 備

●以下の設定を行います。

- 携帯電話を本機に登録（ペアリング）→ P.88
- 携帯電話会社の設定→ P.102



Bluetooth対応機器を登録する

準 備

●本機のBluetooth機能をONにします。
→ P.96

携帯電話などのBluetooth対応機器を登録して、本機から電話の発着信やオーディオを再生できます。
Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。
この操作は、電話メニュー画面およびBluetooth設定画面から行います。
接続可能な携帯電話の情報については、日産販売会社（ディーラー）にお問い合わせください。

メニュー ▶▶ 電話 ▶▶

電話メニュー画面

メニュー ▶▶ 設定 ▶▶
Bluetooth ▶▶

Bluetooth設定画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

— MEMO —
• イージーセットアップからもBluetoothの設定ができます。→ P.164

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を接続して利用できます。
Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。→ P.88

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル（HFP）
本機でBluetooth対応機器とハンズフリーで通話する

オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）
Bluetooth対応機器から本機に電話帳などを転送する

オーディオプロファイル（A2DP、AVRCP）
Bluetooth対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールを行う

ダイヤルアップネットワークプロファイル（DUN）
本機でBluetooth対応機器をネットワークに接続し、データ通信を行う

フォンブックアクセスプロファイル（PBAP）
携帯電話のメモリーを読み出す

※Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetoothハンズフリーのマルチポイント接続でできること

従来、1台まで使用可能だったBluetooth接続の携帯電話を以下のように使用できます。
●携帯電話2台を待ち受けとして使用可能
●通話用およびカーウイングスなどのデータ通信用として、2台の携帯電話の使い分けが可能

※携帯電話2台を使用した同時通話は、不可（2台を待ち受けとした場合は、先に発着信した側のみで通話が可能）

MEMO

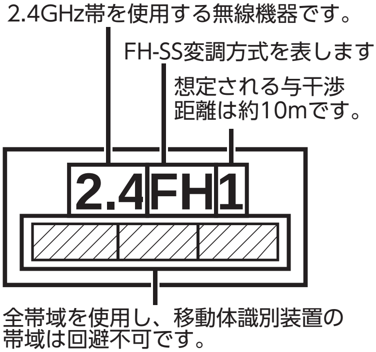
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオ機器を同時に使用できます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth対応機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。本機とBluetooth対応機器との間に障害物がないようにして、ご使用ください。
- Bluetooth対応機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、日産販売会社（ディーラー）までお問い合わせください。



Bluetooth対応機器を登録する（ペアリング）

はじめてBluetooth対応機器を利用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- あらかじめ機器側でもBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器登録

3 **各項目を選択**

登録機器の選択：
ペアリングするBluetooth対応機器が携帯電話か、オーディオ機器かを選択する。
「オーディオ機器」を選択すると、「データ通信（パケット通信）」は選択できません。

登録後の機器使用確認：
ペアリングしたBluetooth対応機器を使用するかどうかを選択する。
「登録のみ」を選択すると、「データ通信（パケット通信）」は選択できません。

データ通信（パケット通信）
※携帯電話の場合のみ：
ペアリングした携帯電話を使って、データ通信を行うかどうかを選択する。
「利用する」を選択すると、ハンズフリー電話およびデータ通信用機器として利用できます。「利用しない」を選択すると、ハンズフリー電話としてのみ利用できます。

4 決定

5 **携帯電話会社を選択**

6 **Bluetooth対応機器から「MC314D」(初期値)を選択し、パスキー「1212」(初期値)を入力**

MEMO

- Bluetooth対応機器の機種によっては、パスキー入力は不要です。また、機種によっては、本機に入力したパスキーが機器側のパスキーと同一か、確認する画面が表示されます。登録を行う場合は、画面にしたがって操作してください。
- 携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を登録する場合は、「オーディオ機器」を選択後、決定 をタッチしてからパスキー「例：1212」を入力してください。

Bluetooth対応機器から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

お知らせ

- ペアリング完了後、Bluetooth設定画面の「Bluetoothで接続」がONに切り替わります。Bluetooth機能を使用する際は、本設定がONであることを確認してください。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続(通話、通信)やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth対応機器は、5台までペアリングできます。6台目をペアリングするには、すでに登録されたBluetooth対応機器の情報を消去してください。→ P.90
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- Bluetooth対応機器が「接続待機中」設定時や待ち受け状態のときは、自動的に接続されます。上記以外の場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

MEMO

- ペアリング完了後、Bluetooth対応機器上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルの選択が必要な場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- Bluetooth対応機器側の操作について詳しくは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機のBluetooth対応機器の受信感度、電池残量の表示は、接続する機器によっては、数値が一致しない場合があります。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。
- Bluetooth対応機器と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- Bluetooth対応機器を再起動した場合、機器の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合はBluetooth設定画面の 接続機器の選択 をタッチしてリストから接続したいBluetooth対応機器を選択してください。→ P.90

接続するBluetooth対応機器を切り替える

本機に複数のBluetooth対応機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

— お知らせ

- Bluetooth対応機器は、5台までペアリング可能ですが、接続できるのは2台までです。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 接続機器の選択

3 接続機器1 または 接続機器2

接続機器1：
メインのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話、データ通信用機器、およびBluetoothオーディオとして利用できます。

接続機器2：
サブのBluetooth対応機器を指定する。ハンズフリー電話のみ、またはBluetoothオーディオとして利用します。メインのBluetooth対応機器でデータ通信をしながら、サブのBluetooth対応機器でハンズフリー電話やBluetoothオーディオが利用できます。

オーディオ再生：
携帯電話以外のBluetoothオーディオ機器を使用する場合にタッチする。
接続機器を選択してください。

— MEMO

- Bluetoothオーディオ機器の接続を解除する場合は、オーディオ接続しない をタッチします。
- オーディオ接続しない を選択した場合は、オーディオ機器から接続操作を行っても接続できません。

4 **切り替える機器を選択**

5 決定

— MEMO

- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録したBluetooth対応機器を消去する

ペアリング済みのBluetooth対応機器の情報を消去します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の消去

3 **消去したい機器を選択**

4 消去する

5 はい

— お知らせ

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- Bluetooth対応機器の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できない場合があります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

携帯電話を利用する

— お願い

• 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— MEMO

• 同時に2台の携帯電話を接続しているときは、電話メニュー画面に表示されている機器名称をタッチして、使用する電話を切り替えられます。→ P.87

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面

通話を終了します。

携帯電話本体での通話に切り替わります。ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

送話音声がミュート状態になります。

番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力できます。

通話中に 現在地 を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面

携帯電話の受信感度が表示されます。

携帯電話本体での通話に切り替わります。

電話を切り現在地が表示されます。

電話コントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

通話時間、相手先の名前、または電話番号が表示されます。

— お知らせ

• 携帯電話の機種によっては、通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
• 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
• ハンズフリーで通話中は、オーディオソースの選択切り替えができません。また、カーウイングスの一部の機能が使用できません。
• 携帯電話が待ち受け状態でないと、発着信できない場合があります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

- **走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。**

— MEMO

- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらくしてから、ダイヤル発信を行ってください。

1 メニュー ▶ 電話

2 ダイヤル入力

3 **電話番号を市外局番から入力**

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。

電話を切る：
呼び出し途中にタッチして、電話を切る。

5 **通話を終了する場合は** 電話を切る

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

発着信履歴からかける

1 メニュー ▶ 電話

2 発着信履歴

3 着信履歴 **または** 発信履歴

4 **ダイヤルしたい相手先を選択**

着信履歴／発信履歴：
リストに表示する履歴を切り替える。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

— お知らせ

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

— MEMO

- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の5件が表示されます。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示します。
- 短縮ダイヤル、または、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

発着信履歴を消去する

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

3 発着信履歴

4 **消去する方法を選択**

一括消去：
すべての発着信履歴を消去する。

履歴ごとに消去：
発信履歴、または着信履歴をすべて消去する。

1件消去：
選択した1件の発着信履歴を消去する。
発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した履歴が消去されます。

電話帳を登録する

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、本機から電話をかけられます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

MEMO
- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

3 携帯メモリ一括ダウンロード または 携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい

電話帳転送の待ち受け画面になります。

携帯メモリ一括ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされるため、利用できなくなります。

携帯メモリ追加ダウンロード：
Bluetooth対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存する。
前回ダウンロードしたデータは上書きされずに利用可能です。

ダウンロード済みリスト：
転送後の電話帳のリスト画面を表示する。
登録された電話番号は短縮ダイヤルへ登録、または消去できます。→ P.94

4 **携帯電話から電話帳転送**

電話機選択画面で現在選択されている携帯電話の電話帳が本機に転送されます。
追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

お知らせ
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。

MEMO
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話1台あたり1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件の電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （携帯電話）／（一般電話）／（自宅）／（会社）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えるので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳から電話をかける

1 メニュー ▶ 電話

2 ハンズフリー電話帳

3 **名前を選択**

4 **電話番号を選択**

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO
- 電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」をご覧ください。→ P.93

電話帳のデータを消去する

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

3 ハンズフリー電話帳

4 消去する方法を選択

一括消去：
電話帳データを一括消去する。

1件消去：
選択した1件の電話帳データを消去する。
電話帳リストから消去したいデータを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した電話帳データが消去されます。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に 電話をかける が表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけられます。

1 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

販売会社へ電話をかける

メンテナンス情報に登録されている日産販売会社（ディーラー）へ電話をかけます。

準 備

●販売会社を登録します。→ P.83

1 メニュー ▶ 電話

2 販売会社に電話する

3 電話をかける

登録されている日産販売会社（ディーラー）に電話がかかります。

短縮ダイヤルを登録する

本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけられます。

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集

3 新規登録

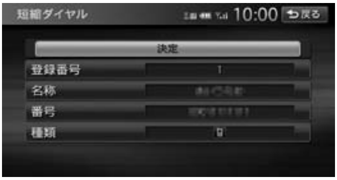
4 登録する方法を選択

発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択する。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択する。

入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力する。
入力後は、決定 をタッチしてください。

5 登録情報を確認



短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集できます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

— MEMO

- 短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話1台につき5件です。

短縮ダイヤルから電話をかける

1 メニュー ▶ 電話

2 短縮ダイヤル

3 ダイヤルしたい相手先を選択

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ 短縮ダイヤル登録・編集

3 編集したい短縮ダイヤルを選択

4 編集する

編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

5 決定

短縮ダイヤルを消去する

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

3 短縮ダイヤル

4 消去する方法を選択

一括消去：
すべての短縮ダイヤルを消去する。

1件消去：
選択した1件の短縮ダイヤルを消去する。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 電話がかかってきたら 電話に出る

着信拒否する：
着信中にタッチして着信を拒否する。

保留する：
応答を保留する。
保留を解除する場合は、電話に出る をタッチします。
通話を終了したい場合は、電話を切る をタッチします。電話を切り、着信直前の画面に戻ります。

着信した電話番号、名称（短縮ダイヤル、電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

電話の設定をする

通話音量と着信音の設定をする

1 メニュー ▶ 設定
2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ 音量調整
3 **各項目を設定**

着信音量：
着信音量をレベル1～16に設定する。（初期値：レベル4）

受話音量：
受話音量をレベル1～16に設定する。（初期値：レベル4）

送話音量：
送話音量をレベル1～5に設定する。（初期値：レベル3）

自動応答保留：
電話着信時の2秒後に電話をつなぎ、保留状態にする。（初期値：OFF）

車載機の着信音使用：
本機からの着信音を使用するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

MEMO

- 着信中、または通話中に、＋ －（MC314D-A）、またはロータリボリュームキー（MC314D-W）を操作しても、音量を調整できます。
- 通話中に音量を調整した場合、ほかのオーディオソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは通話中に調整した音量で通話できます。

Bluetooth機能のON/OFFを切り替える

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されないことがあります。その場合は、Bluetooth機能のOFF→ON切り替えを行ってください。（初期値：OFF）

MEMO

- 携帯電話のBluetooth機能をOFF→ONに切り替える際には、本機のBluetooth機能もOFF→ONに切り替えてください。
- Bluetooth機能をOFFにすると、本機でBluetooth機能を操作できません。また、Bluetooth対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 Bluetoothで接続

携帯電話を持ち込み忘れたときに警告する

ペアリングした携帯電話の接続が確認できない場合、メッセージ表示と音声案内を行うかどうかを設定します。（初期値：ON）この設定は、エンジンを始動したとき動作します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth
2 接続確認案内

パスキー・デバイス名称を変更する

Bluetoothの設定の中で、扱いを別にしたいときなどに、パスキーとデバイス名称を変更できます。（初期値：パスキー「1212」、デバイス名「MC314D」）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 車載器のBluetooth情報・変更

3 パスキー または デバイス名

4 **新しいパスキー、または名称を入力**

5 決定

お知らせ

• デバイスアドレスは変更できません。

電話のメモリをすべて消去する

1 メニュー ▶ 設定

2 電話・通信 ▶ 電話 ▶ メモリ消去

3 メモリ全消去

4 はい

短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータが消去されます。

Memo

カーウイングスを利用する

本機にBluetooth対応携帯電話を接続し、カーウイングス情報センターと通信することで、さまざまなサービスを利用できます。

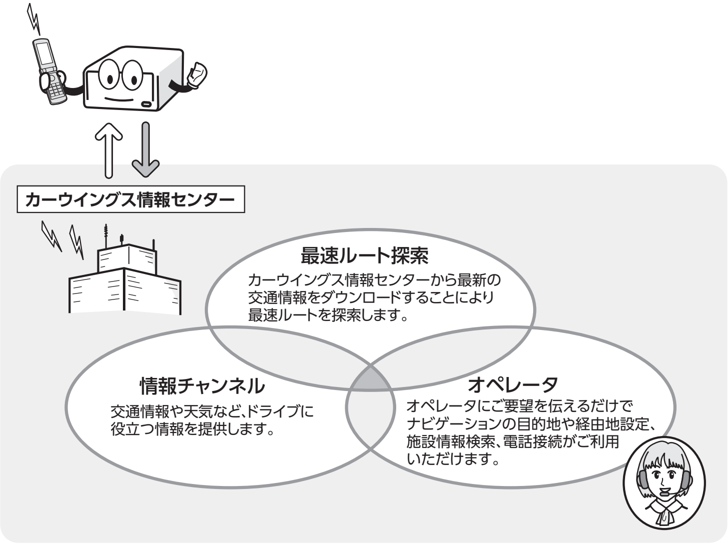
カーウイングスとは…………………………… 100
サービスのお申し込みについて…………………… 101
ご利用上の注意……………………………………… 101
カーウイングスをご利用になる前に……………… 102
携帯電話を接続する………………………………… 102
携帯電話会社を選択する…………………………… 102
情報画面とオートプレイについて………… 102
カーウイングス情報画面を表示する……………… 102
オートプレイ（自動読み上げ）機能とは………… 103
オートプレイ停止中にできる操作………………… 103
読み上げ音量を調整する…………………………… 103
情報チャンネルを利用する………………… 104
情報チャンネルを見る……………………………… 104
お気に入りに登録する……………………………… 104
お気に入りのチャンネルリストからダウンロードする
…………………………………………………………… 104
カーウイングスの履歴から情報を見る…………… 105
オペレータを利用する……………………… 105
オペレータとの通話例……………………………… 106
その他の各種サービスを利用する………… 107
ここです車メールを利用する……………………… 107
自車位置周辺の交通情報をダウンロードする…… 107
MyConnectを利用する …………………………… 107
カーウイングスの各種設定をする………… 108
音声／データ同時機能を設定する………………… 108
情報チャンネルの設定をする……………………… 109
自動接続するチャンネルを設定する……………… 109
お気に入りチャンネルを登録する………………… 109
交通情報のダウンロード設定をする……………… 110

カーウイングスとは

カーウイングスは、Bluetooth対応携帯電話を接続し、カーウイングス情報センターと通信することで、車内で必要なさまざまな情報を提供するサービスです。サービスのご利用にはカーウイングスへのお申し込みが必要です。

— MEMO

- 別売の通信アダプタを使用して、カーウイングス情報センターと通信することもできます。→ P.174
- この場合は、オペレータとの電話接続のみ、Bluetooth対応携帯電話の接続が必要となります。→ P.88



— お知らせ

- データによっては、走行中にチャンネルの詳細内容などが表示できない場合があります。
- サービスを提供するうえで必要となる情報は、ご利用時にカーウイングス情報センターへ自動的に送られます。（車の位置や車載機ID、携帯電話番号など）
- カーウイングス情報センターとの通信には、携帯電話の通信料金がかかります。

— MEMO

- 携帯電話の機種によっては、ダウンロード中の画面が表示される時間よりも、実際の通信時間のほうが長くなる場合があります。
- 情報のデータ量や電波状況によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 情報のダウンロードが終了すると、回線は自動的に切断されます。
- カーウイングス情報センターから提供される情報はあくまでも参考情報です。実際の状況と異なる場合があります。
- サービス内容の中で一部対応できない場合がありますのでご了承ください。
- サービス内容は、予告なく変更、中止になる場合もありますのでご了承ください。
- サービス内容は、順次拡大していく予定です。

サービスのお申し込みについて

サービスのご利用にはカーウイングスへのお申し込みが必要です。詳しくは日産販売会社(ディーラー)、またはカーウイングスお客さまセンターへお問い合わせください。
＜カーウイングスお客さまセンター＞
0120-981-523
受付時間 9:00 ～ 17:00（年末年始を除く）
http://www.nissan-carwings.com

お願い

- カーウイングスをご利用いただくには、一部サービスでご利用料金がかかることがあります。また、通話や通信を行うと、携帯電話の通話、または通信料金がかかります。
- データをダウンロード中に通信が途切れた場合には、再度データをダウンロードしていただくことになります。通信が中断された場合でも、通信料金は加算されます。
- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報は消去してください。詳しくは、カーウイングスお客さまセンターにご相談ください。

ご利用上の注意

⚠ 注意

- **カーウイングスをご利用になるときは、安全な場所に車を停車させてから行ってください。この際、禁止された場所で駐・停車などをしないでください。**

お願い

- オペレータとの会話は、ハンズフリー通話になります。通話中に電話機本体の操作は、行わないでください。
- 車を離れるときは、携帯電話を車内に放置しないでください。故障・変形・盗難のおそれがあります。
- バッテリーあがり防止のため、エンジン始動後に使用してください。

お知らせ

- 以下の場合には、カーウイングスが利用できません。
  - 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
  - ダイヤルロックされているとき
  - 電波環境がデータ通信に適していないとき
  - サービスのお申し込み手続きをしていないとき
  - 携帯電話がパケット通信中のとき
- 各サービスは携帯電話回線を利用していますので、通信エリア外ではご利用になれません。

●接続する携帯電話によって、一部ご利用できない機種があります。詳しくは、カーウイングスお客さまセンター、または以下のカーウイングスホームページでご確認ください。
http://www.nissan-carwings.com

●カーウイングス情報センターとの通信は、データ通信モードを使用します。このため、通常の電話と比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくくなったりすることがあります。

●通話中に“カシャッ”という音が聞こえたり、音声が途切れたりすることがあります。これはある携帯電話ゾーンで電波が弱くなったときに隣の携帯電話ゾーンへ切り替わるためであり、異常ではありません。

●回線によっては音が小さい場合があります。その際には、音量を上げてご使用ください。

●デジタル回線を使用しているため、通話中に音が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりする場合があります。

●スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知器(レーダー探知器)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。

●電波状態などによっては、情報センターに接続できない場合や、途中で通信が途切れる場合があります。電波状態が良好になってから再度通信を行ってください。

●各サービスは携帯電話回線を利用するため、電波受信状態が悪い場合、情報センターに接続できないことがありますが故障ではありません。しばらくしてから接続し直してください。

カーウイングスをご利用になる前に

携帯電話を接続する

— お知らせ —

• カーウイングスをご利用になるときは、必ず本機に携帯電話をBluetoothで接続してください。→ P.88

携帯電話をBluetoothで接続すると、本機と携帯電話の間の通信を無線で行います。
エンジンを始動すると、本機は選択されているBluetooth対応携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

携帯電話会社を選択する

カーウイングス情報センターとやりとりするための、携帯電話会社を設定します。

— お知らせ —

• 携帯電話をBluetooth接続していないときは、データ通信の選択はできません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信

2 携帯電話会社

3 **携帯電話会社を選択**

選択した携帯電話会社のデータ通信用の設定が行われます。

情報画面とオートプレイについて

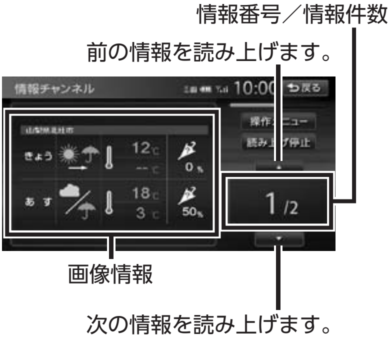
カーウイングス情報画面を表示する

カーウイングスでは、情報を受信すると画面に表示し、音声で読み上げます。(オートプレイ)
オートプレイを停止して、いろいろな操作をすることもできます。

1 メニュー ▶ CARWINGS

2 **見たい情報を選択**

情報画面が表示され、オートプレイがはじまります。



オートプレイ（自動読み上げ）機能とは

オートプレイとは、カーウイングス情報センターから受信した情報を順に表示し、自動的に内容を音声で読み上げる機能です。

— お知らせ

- オートプレイ中にナビゲーションの音声案内や交差点拡大図表示が行われたときは、オートプレイを一時中止します。音声案内が終了、または交差点を通過した後に再びオートプレイを開始します。
- 画像情報があるときは、画像を表示します。画像がないときはタイトルのみの表示となります。データによっては、走行中は画像があってもタイトルのみを表示する場合もあります。

— MEMO

- 本機は、ふりがなの有無に関わらず、情報の文章を音声で読み上げられます。ただし、人名や地名、専門用語、記号、英単語、文節の区切り、などの一部が正しく読み上げられないことがありますが、故障ではありません。
- 一度に送信される情報は最大30件です。オートプレイ終了後に、残りの情報がある場合は、ダウンロードするかを確認するメッセージが表示されます。 はい をタッチすると、残りの情報をダウンロードできます。
- すべての情報を見終わったとき、もう一度? をタッチすると再度情報を見られます。

オートプレイ停止中にできる操作

オートプレイ中に停止すると、さまざまな操作ができます。

1 操作メニュー

2 **目的の項目を選択**

読上げ再開：
オートプレイを再開する。

地図を見る：
情報に位置データがある場合、地図を表示する。

ここに行く：
目的地に設定する。

ルートに追加：
目的地が設定されている場合、情報の場所をルートに追加する。

電話する：
情報に電話番号データがある場合、表示中の情報先に電話をかける。

画像を見る：
情報に画像データがある場合、画像を見る。

詳細を見る：
情報に詳細説明がある場合、詳細情報を見る。

ここを登録：
情報に位置データがある場合、情報の場所を登録する。

現在地表示：
現在地の地図を表示する。

チャンネル保護／保護解除：
履歴情報の保護／保護解除をする。
保護解除は、保護が設定されている場合に表示されます。

チャンネル消去：
履歴情報を消去する。

読み上げ音量を調整する

1 メニュー ▶ 設定

2 音量調整

3 **CARWINGS音量を調整**

— MEMO

- 情報読み上げ中に、+ − (MC314D-A)、またはロータリボリュームキー（MC314D-W）を操作しても、音量を調整できます。

カーウイングスを利用する

情報チャンネルを利用する

情報チャンネルを見る

情報チャンネルでは、交通情報や天気など、ドライブに役立つ情報を提供します。情報チャンネルの中から好きな情報をダウンロードできます。

1 メニュー ▶ CARWINGS
2 情報チャンネル
3 **見たいジャンルのフォルダを選択**
4 **チャンネルリストを選択**
カーウイングス情報センターに接続します。選んだチャンネルの最新情報をダウンロードし、オートプレイがはじまります。

お気に入りに登録する

情報チャンネルの中から、よく使うチャンネルを登録できます。(最大16件)

1 メニュー ▶ CARWINGS
2 お気に入り
3 新規登録
4 **登録したいジャンルのフォルダを選択**
5 **登録したいチャンネルを選択**
6 いいえ

— MEMO
- 「更にお気に入りを設定しますか？」というメッセージが表示されたときに、はいを選ぶと続けてチャンネルを登録できます。

7 はい
登録内容がカーウイングス情報センターに送信され、登録されます。

— お知らせ
- 登録したチャンネルをカーウイングス情報センターに送信しないと、登録が保存されません。画面にしたがってカーウイングス情報センターへ送信してください。
- お気に入りチャンネルからの登録は、新規登録選択時のみです。すでに設定されているチャンネルを選択した場合、情報をダウンロードします。
- チャンネルの消去や並べ替えはできません。また、お気に入りチャンネル先頭のマイチャンネルは変更できません。カーウイングスホームページで詳細な設定ができます。
- 同じチャンネルを登録した場合、カーウイングスホームページでは、1チャンネルのみ表示されます。また 新規登録 は表示されません。

— MEMO
- 送信途中で回線異常などにより回線が切断された場合、再送信メッセージが表示されます。 はい をタッチして、再送信してください。
- 登録したチャンネルは以下のカーウイングスホームページで見たり、編集できます。
http://www.nissan-carwings.com
- カーウイングスホームページでチャンネル編集すると、情報チャンネル利用時に、お気に入りチャンネルが更新されます。

お気に入りのチャンネルリストからダウンロードする

1 メニュー ▶ CARWINGS
2 お気に入り
3 **チャンネルリストを選択**
カーウイングス情報センターに接続されます。選んだチャンネルの最新情報をダウンロードし、オートプレイがはじまります。

— お知らせ
- 走行中は、お気に入り以外のメニューは選択できません。
- チャンネルによっては、オートプレイされず、目的地設定や電話をつなげる場合もあります。

— MEMO —
- カーウイングス情報センターとの通信中に 終了 をタッチすると、回線を切断して終了できます。（回線切断には時間がかかる場合があります。）
- ダウンロード途中で回線異常などにより切断された場合、再ダウンロードメッセージが表示される場合があります。はい をタッチして、再ダウンロードしてください。

カーウイングスの履歴から情報を見る

1 メニュー ▶ CARWINGS

2 CARWINGS履歴

3 オペレータ履歴 、情報チャンネル履歴 、または マイカーお知らせメール履歴

4 **見たい履歴を選択**

履歴リストが表示されます。（各履歴最大15件）

— MEMO —
- オペレータの情報の中には、情報チャンネルの情報として受信されるものもあります。この場合、ダウンロードした情報は、CARWINGS履歴に保存されます。
- 保存されている情報がすでに最大件数に達している場合は、情報を受信するたびに古い情報から順番に消去されます。残しておきたい情報は、情報チャンネル履歴のみ、1件保護できます。

オペレータを利用する

オペレータにご要望を伝えるだけで、以下の内容がご利用いただけます。

ナビゲーションの目的地や経由地／登録地の設定／施設情報検索／電話接続

また、ダウンロードした情報の中には、情報チャンネル履歴として利用できるものもあります。

1 メニュー ▶ CARWINGS ▶ オペレータ接続

オペレータに電話がつながります。

2 **オペレータに口頭で要望を伝える**

自動的にダウンロードがはじまります。

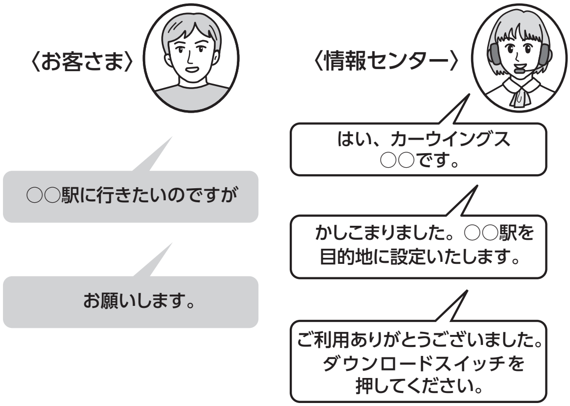
— お知らせ —
- ご利用の携帯電話の機種や通信設定の状態により、ダウンロード が表示されることがあります。この場合は ダウンロード をタッチしてください。

— お知らせ —
- 回線切断には時間がかかる場合があります。
- 電波状態などによってはオペレータとの通話開始に時間がかかることがあります。
  その場合には 終了をタッチして回線を切断し、電波状態が良好になってから再度オペレータを呼び出してください。
- オペレータとの会話中に ダウンロード をタッチしてもデータはダウンロードされません。
  オペレータの指示があってから ダウンロード をタッチしてください。

— MEMO —
- カーウイングス情報センターとの通信中、またはオペレータとの通話中に 終了 をタッチすると、回線を切断し終了できます。
- ダウンロード途中で回線異常などにより切断された場合、再ダウンロードメッセージが表示される場合があります。はい をタッチして、再ダウンロードしてください。
- 携帯電話が接続されていない状態で、オペレータ接続 をタッチすると、オペレータサービスの説明画面が表示されます。
- ダウンロード をタッチするとオペレータとの通話は自動的に終了します。ダウンロード途中で回線異常などにより切断された場合はメッセージが表示されます。

オペレータとの通話例

オペレータとの通話例を紹介します。ご要望の内容をオペレータに伝える際の参考にしてください。
例）目的地設定を依頼する



たとえば以下のようにお使いいただけます。

目的地設定	目的地を伝えるだけでオペレータが目的地や経由地を設定します。
電話接続	電話番号をお調べし、お客さまの携帯電話から直接接続できるように設定することもできます。
情報検索	ご要望に応じたさまざまな情報をお調べします。
緊急時の対応	急病、事故など、緊急の場合にロードサービスの取り次ぎや、最寄りの病院の案内などを行います。

その他の各種サービスを利用する

ここです車メールを利用する

お車の現在地をメールでお知らせできます。また、あらかじめ登録されているメール文を送信できます。

準 備

●電話帳を登録する→ P.93

お知らせ

- インターネットなどの状況により、メールの配信に時間がかかる場合があります。
- 本機にハンズフリー電話帳が登録されている場合に、電話帳リストからメールの送信先が選択できます。メールアドレスの新規入力はできません。

1 メニュー ▶ CARWINGS ▶ ここです車メール

2 **送信先を選択**

3 **送信先のアドレスを選択**

4 **メール文を選択**

5 送信

自車位置周辺の交通情報をダウンロードする

必要なときにカーウイングス情報センターから現在地の最新の交通情報をダウンロードできます。

1 メニュー ▶ CARWINGS

2 渋滞情報取得

カーウイングス情報センターに接続され、最新の交通情報をダウンロードできます。

MEMO

- カーウイングス情報センターからダウンロードできる最新の交通情報は、以下のとおりです。
  VICS情報／プローブ情報／予測交通情報
- カーウイングス情報センターから送信されるVICS情報は、JARTICおよびVICSセンターより提供されます。

MyConnectを利用する

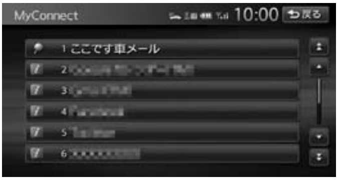
MyConnectでは、日産販売会社（ディーラー）からのお知らせ、キャンペーンなどに特化した情報が提供されます。
本機能は、別売の通信アダプタが接続されている場合にご利用いただけます。

準 備

●別売の通信アダプタを接続する→ P.174
●通信アダプタ設定をONにする→ P.108

1 メニュー ▶ CARWINGS ▶ MyConnect

2 **チャンネルリストを選択**



ここです車メール：
「ここです車メール」を利用する。
→ P.107
スマートフォン連携サービスをご利用いただくには、専用のスマートフォンアプリが必要となります。
App Store、Google Playで「DRIVE COLLECTOR」を検索してください。アプリのご利用は無料です。

その他のチャンネルリストをご利用いただくには、日産オーナーサイト「N-Link OWNERS」にご登録ください。
N-Link OWNERSホームページ
http://n-link.nissan.co.jp/

カーウイングス情報センターに接続され、選んだチャンネルの最新情報をダウンロードし、オートプレイがはじまります。
→ P.103

カーウイングスの各種設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信

2 CARWINGS

3 目的の項目を選択

オペレータ接続設定：
オペレータ接続時に関する設定を行う。
・現在地自動送信
オペレータ接続時に現在地の情報を自動的に送信するかどうかを設定する。（初期値：OFF）
・音声／データ同時機能
カーウイングスでオペレータに接続したときに、ダウンロード操作をしなくてもデータを取得できるようにする。（初期値：自動検出（推奨））→ P.108
また、データの自動通信中に電話を使用できます。

情報チャンネル設定：
情報チャンネルについての設定を行う。→ P.109

渋滞情報取得設定：
カーウイングスを利用して受信する交通情報のダウンロードに関する設定を行う。→ P.110

プローブ情報設定：
プローブ情報（お客様のお車の走行履歴情報）をカーウイングスセンターに送信するかどうかを設定する。（初期値：ON）
プローブ情報を消去することもできます。

通信アダプタ設定：
別売の通信アダプタを使用するかどうかを設定する。→ P.174
また、通信アダプタのファームウェアの更新を行います。更新方法については、日産販売会社（ディーラー）にお問い合わせください。
本設定は通信アダプタが接続されている場合に選択できます。

マイカーお知らせメール自動取得：
本機を起動した際カーウイングスセンターに接続し、提供された情報チャンネルのダウンロード、表示、読み上げを自動で行うかどうかを設定する。（初期値：ON）
本設定は別売の通信アダプタが接続されている場合に選択できます。→ P.174

車載機IDの表示：
車載機IDを画面表示する。

CARWINGS設定を全て初期化：
以下の項目の消去、または初期化を実行する。
・情報チャンネル履歴の消去
・情報チャンネルの設定／オペレータの設定／交通情報のダウンロード設定を初期化
※初期化された設定および、消去された履歴は元に戻せません。

音声／データ同時機能を設定する

準 備

●携帯電話会社を選択します。→ P.102

— お知らせ —
• 携帯電話の機種によっては本機能を使用できない場合があります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信

2 CARWINGS

3 オペレータ接続設定 ▶ 音声/データ同時機能

4 設定したい項目を選択

自動検出（推奨）：
接続された携帯電話が音声／データ同時機能を利用するかどうかを自動的に判断し、利用可能な場合は機能をONにする。

同時機能を利用する：
音声／データ同時機能をONにする。
同時機能を利用しない：
音声／データ同時機能をOFFにする。

— MEMO

- 通常は 自動検出（推奨） を選びます。
- 同時機能を利用する を選んでいても、携帯電話の受信状態やBluetoothの接続状態によっては同時機能が利用できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、同時機能を利用する を選択できない場合があります。

情報チャンネルの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信
2 CARWINGS ▶ 情報チャンネル設定
3 **目的の項目を選択**

自動取得：
自動接続する時間や情報チャンネルの選択を設定する。
・取得タイミングの選択
カーウイングスに接続するタイミングを設定します。（初期値：自動接続しない）
・情報チャンネルの選択→ P.109

表示リストの変更：
情報チャンネルをお気に入りに登録する。また、表示リストを更新、初期化する。
・お気に入りを登録→ P.109
・表示リストの更新
・表示リストの初期化

情報チャンネル履歴を全て消去：
情報チャンネルの履歴をすべて消去する。

— お知らせ

- 消去した履歴は元に戻せません。

自動接続するチャンネルを設定する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信
2 CARWINGS
3 情報チャンネル設定
4 自動取得
5 情報チャンネルの選択
6 **チャンネルを選択**

— お知らせ

- 工場出荷時は設定されていません。利用するには設定が必要です。
- 情報チャンネルリストがない場合、自動接続チャンネルの設定はできません。表示リストの更新を実行し、チャンネルリストをダウンロードしてください。→ P.109
- 自動接続のタイミングで電話回線がハンズフリーフォンなどで使用されていた場合は、自動接続されません。

— MEMO

- 自動接続中は地図画面上に通信中アイコンが表示されます。
- 通信接続中に 終了 をタッチすると、回線を切断して終了できます。
- 回線切断には時間がかかる場合があります。

お気に入りチャンネルを登録する

情報チャンネルの中からよく利用するチャンネルを登録できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信
2 CARWINGS
3 情報チャンネル設定
4 表示リストの変更
5 お気に入りを登録
6 **登録したいジャンルを選択**
7 **チャンネルを選択**

交通情報のダウンロード設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 電話・通信

2 CARWINGS

3 渋滞情報取得設定

4 **設定したい項目を選択**

誘導開始時に取得：
ルートガイド開始時、自動的に最速ルート探索を行うかどうかを設定する。

誘導中の自動取得間隔：
定期的に交通情報をダウンロードするかどうかを設定する。

オーディオ・ビジュアルを楽しむ

本機では、ラジオ、テレビ、DVDなど、視聴したい音源や映像を選んでお楽しみいただけます。詳しい操作方法は、各ソースのページをご覧ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた …… 112
ディスクやSDカードの出し入れ …… 112
ソース選択画面を表示する …… 113
オーディオソースを切り替える（MC314D-Wのみ） …… 113
音量を調整する …… 113
表示画面を切り替える …… 114
オーディオをON/OFFする …… 114
ラジオを聴く …… 115
ラジオを受信する …… 115
ラジオ受信時の操作 …… 115
ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する …… 116
ラジオの設定をする …… 117
テレビを見る …… 118
テレビ放送の受信について …… 118
はじめてテレビを見るときは …… 118
テレビの選局をする …… 119
テレビのプリセットチャンネルリストを利用する …… 120
テレビの便利な機能を利用する …… 122
地上デジタル放送の設定をする …… 123
DVDを見る …… 127
DVDを再生する …… 127
DVD再生時の操作 …… 128
DVDの設定をする …… 130
DVDビデオの初期設定を変更する …… 132
CD、ディスク(MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く …… 134
CDを再生する …… 134
MP3・WMA・AACのディスクを再生する …… 135
ディスク再生時の操作 …… 135
SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る …… 137
SDカードを再生する …… 137
USBメモリーを再生する …… 137
SDカード/ USBメモリー再生時の操作 …… 137
ウォークマンの音楽を聴く(ATRAC ADモード) …… 140
ウォークマンを再生する …… 140
ウォークマン再生時の操作 …… 141
iPodミュージックを聴く／ iPodビデオを見る …… 142
接続できるiPod …… 142
iPodミュージックを再生する …… 145
iPodビデオを再生する …… 145
iPod再生時の操作 …… 146
iPodの設定をする …… 147
Bluetoothオーディオを聴く …… 148
Bluetoothオーディオを再生する …… 149
Bluetoothオーディオ再生時の操作 …… 149

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ディスクやSDカードの出し入れ

オーディオ・ビジュアルのデータをお楽しみいただくには、ディスク、またはSDカードを本機にセットします。

⚠ 警告

- **ディスクやSDカードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するか、または取り出してください。**

― お願い

- ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。
- SDカードの端子面には触れないでください。

ディスクの入れかた

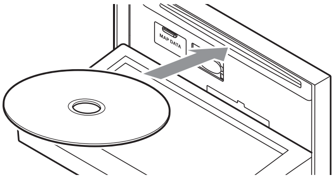
― お願い

- ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、ディスクをパネルではさみ込んでしまうことがあります。

1 [⏏] ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 **ディスクのレーベル面を上にして、挿入口に差し込む**



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

― お知らせ

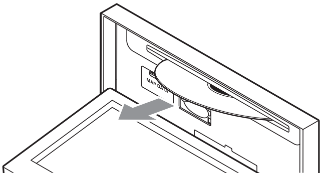
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1 [⏏] ▶ ディスク排出

操作パネルが開き、ディスクが排出されます。

2 **ディスクを取り出す**



3 [⏏] **または** パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

― MEMO

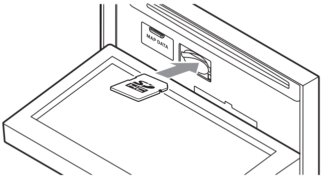
- [⏏] を長押ししても、ディスクを排出できます。
- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

SDカードの入れかた

1 [⏏] ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 **SDカードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む**



― お願い

- カチッと音がするまで、SDカードを奥にしっかりと差し込んでください。

3 [⏏] **または** パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

― お知らせ

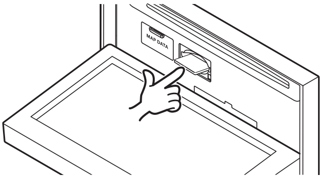
- SDカードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SDカードの取り出しかた

1 [▲] ▶ パネル開／閉

操作パネルが開きます。

2 **SDカードを押す**



SDカードが少し飛び出します。

3 **SDカードを取り出す**

4 [▲] **または** パネル開／閉

操作パネルが閉まります。

— お願い —

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出すおそれがあります。

ソース選択画面を表示する

1 **（オーディオONの場合）**
オーディオ画面で [AV]
（オーディオ画面以外では [AV] **を2回押す）**
（オーディオOFFの場合）
[AV]

2 **お好みのソースを選択**

MC314D-Aの場合

MC314D-Wの場合

以降の操作について詳しくは、各ソースのページをご覧ください。

オーディオソースを切り替える（MC314D-Wのみ）

TRACK/SEEKキーを押すたびに、ソースが切り替わります。

FM/AM※→SDメモリーカード→Bluetoothオーディオ→AUX→CD/DVD→TV→VTR→USB/iPod/ウォークマン→FM/AM

※FM/AMの切り替えはできません。

— お知らせ —

- ソース切り替え中、次のソースを再生できない場合は、スキップしてその次のソースになります。（例：CD/DVDが挿入されていない、USB/iPodが接続されていないなど）ただしAUXおよびVTRは、機器未接続でもスキップされません。

音量を調整する

1 **（MC314D-Aの場合）**
[+] **または** [−]
（MC314D-Wの場合）
ロータリボリュームキーを回す

— MEMO —

- [+] または [−] を長押しすると、連続して音量が変化します。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の2種類の表示があります。オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えられます。

オーディオ画面に切り替える

1 **AV**

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

地図画面に切り替える

1 **現在地**

地図画面が表示されます。

※画面はラジオの場合です。

オーディオをON/OFFする

ONにする

1 **(MC314D-Aの場合)**
AV を長押し、またはAVコントロールバー表示キーをタッチ
(MC314D-Wの場合)
AVコントロールバー表示キー、またはロータリボリュームキーを押す

地図画面

オーディオ画面

地図画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ機能がONになります。
オーディオ画面では、OFFにする前に使っていたオーディオ画面に戻り、オーディオ機能がONになります。

— MEMO —

- ソース選択画面でソースを選択、またはディスクを挿入しても、オーディオをONにできます。

OFFにする

1 **(MC314D-Aの場合)**
AV を長押し、または
ソース選択画面で Audio OFF
(MC314D-Wの場合)
ロータリボリュームキーを押す、
または ソース選択画面で Audio OFF

地図画面

オーディオ画面

地図画面ではAVコントロールバー表示キーの表示が「Audio OFF」になります。オーディオ画面ではAudio OFF画面になります。

— MEMO

- オーディオをOFFにしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオをお楽しみいただけます。

ラジオを受信する

1 **メニュー ▶ FM/AM**

ラジオが受信されます。

ラジオ受信時の操作

AM/FMを切り替える

1 **メニュー ▶ FM/AM**

2 **FM・AM**

タッチするたびに、AMラジオとFMラジオが切り替わります。

— MEMO

- 自宅モードの場合、「AM」→「FM1」→「FM2」→「AM」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「AM（お出かけ）」と「FM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

自動でラジオの放送局を選ぶ

1 **メニュー ▶ FM/AM**

2 **(MC314D-Aの場合)**
⏮ または ⏭ を長押し
(MC314D-Wの場合)
TRACK/SEEKキーを左または右に回したままにする

受信可能な放送局を検出すると、自動的にその放送局を受信します。

— MEMO

- ⏮、⏭ を押し続ける（MC314D-A）、またはTRACK/SEEKキーを回したままにする（MC314D-W）と、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動でラジオの放送局を選ぶ

1 メニュー ▶ FM/AM

2 **(MC314D-Aの場合)**
⏮ または ⏭
(MC314D-Wの場合)
TRACK/SEEKキーを左または右に回す
周波数が切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 メニュー ▶ FM/AM

2 **目的の放送局を選択**
選択した放送局が受信されます。

— MEMO
- AVコントロールバーの ▲P.Ch または ▼P.Ch をタッチして、放送局を切り替えられます。

ラジオのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードにAM/FM1/FM2の3種類、お出かけモードにAM/FMの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで6つまでです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

■ リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。
「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えられます。

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

1 メニュー ▶ FM/AM

2 お出かけ
プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

— MEMO
- 地域によっては、実際とは異なる放送局名がリストに表示される場合があります。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 メニュー ▶ FM/AM

2 AUTO.P ▶ はい
受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
キャンセル：
オートプリセットを中止する。

— お知らせ
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- オートプリセットを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 メニュー ▶ FM/AM

2 **登録したい放送局を受信**

3 **プリセットチャンネルリスト内の上書きをするチャンネルを、「ピッ」という音がするまで長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの設定をする

ラジオの受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

お知らせ

- 走行中は本操作を行えません。

1 メニュー ▶ FM/AM

2 地域選択

3 **地域を選択**

オート：
自車位置に応じた地域の放送局を表示する。

4 プリセット書き換え ▶ はい

受信地域が切り替わります。
以前登録したプリセットチャンネルがあれば、上書きして登録されます。
例：現在使用しているプリセットチャンネルに関東エリアの放送局リストを設定する場合、「関東」をONにして プリセット書き換え ▶ はい をタッチします。

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

準備

●テレビを受信するには、受信用アンテナが必要です。

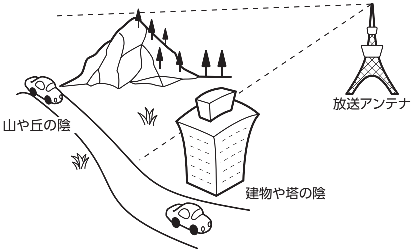
— MEMO

- 本機は地上デジタル12セグ放送と1セグ放送の自動切り替えができます。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的に1セグ放送に切り替えられます。→ P.123
- テレビ受信中の音量は、ラジオ、DVDなどに切り替えて音量を変えても、次回テレビを受信したときに元の音量で見られます。
- テレビ受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



はじめてテレビを見るときは

はじめてテレビを見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートプリセット）させます。

1 メニュー ▶ TV

B-CASカード使用許諾契約約款画面が表示されます。

2 **約款をお読みいただき、承諾する**

承諾しない：
1セグ放送のみ視聴できる。
B-CASカード使用許諾契約は、後で承諾することもできます。

3 設定

設定しない：
テレビ画面に切り替わる。
この場合､放送局のリスト(プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

4 **テレビを受信する地域を選択**

5 **テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定**

6 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。
オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。
何も操作しないまま約8秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：
手動でメニューキーを非表示にする。
契約約款：
B-CASカード使用許諾契約を承諾する。
手順2で「承諾しない」を選択した場合に表示されます。

— MEMO
- 手順4、手順5で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行できます。
- 手順6で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます。→ P.125

テレビの選局をする

テレビ画面から選局する

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ ▶ 放送局を選択**

選択した放送局に切り替わります。

— MEMO
- ⏮、⏭ を押す（MC314D-A）、またはTRACK/SEEKキーを左または右に回す（MC314D-W）と、チャンネルを切り替えられます。

自動で選局する

1 メニュー ▶ TV

2 **（MC314D-Aの場合）**
⏮ または ⏭ を長押し
（MC314D-Wの場合）
TRACK/SEEKキーを左または右に回したままにする
受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

— MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.124

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えられます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 系列局サーチ
走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信できます。→ P.125

— MEMO
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.124
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 番組表

4 **▲、▼、◀、▶ で番組を選択 ▶ 決定**

選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
番組表の表示を1セグ／12セグに切り替える。
※「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合のみ→ P.124

更新：
番組表の内容を更新する。

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示する。

翌日：
翌日の番組表を表示する。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替える。

拡大縮小：
4パターンの拡大縮小画面を表示する。

— MEMO

- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF時などに、15分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます。→ P.122

チャンネル番号を入力して選局する

12セグおよび1セグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局できます。

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 チャンネル番号入力

5 **チャンネル番号を入力 ▶ 決定**

— お知らせ

- 3桁に満たない番号を入力した場合は、決定 はタッチできません。

— MEMO

- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、1セグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。→ P.124
  「1セグ固定」の場合は1セグ3桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は12セグ3桁チャンネル番号のみ選局されます。

テレビのプリセットチャンネルリストを利用する

プリセットチャンネルとは

走行中のエリアで受信可能な放送局を登録（プリセット）できるチャンネルです。ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルリストは、自宅モードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。

プリセットチャンネルリスト（放送局リスト）

— お知らせ

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 1セグと12セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。→ P.123

受信バンドを活用する

地域別のプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録します。すると、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 **メニュー** ▶ **TV**

2 **画面をタッチ**

3 **お出かけ**

プリセットチャンネルリストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、お出かけキーがONになります。自宅モード選択時にはお出かけキーがOFFになります。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 **メニュー** ▶ **TV**

2 **画面をタッチ**

3 **メニュー** ▶ **オートプリセット**

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

— お知らせ

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1分ほど処理時間がかかることがあります。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。

— MEMO

- お出かけモード中で、お出かけ地域を設定している場合は、手順3の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか？」と表示されます。→ P.125
  はい または **いいえ** をタッチして、オートプリセットを行います。
- オートプリセット中は、**キャンセル** をタッチして取り消せます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
  以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わりません。オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。→ P.125
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 「1セグ／地デジ切替」が「自動」の場合は、12セグ放送を優先して受信します。→ P.124
  「1セグ固定」、または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 **メニュー** ▶ **TV**

2 **画面をタッチ**

3 **登録したい放送局を受信**

4 **プリセットチャンネルリスト内の上書きするチャンネルを、「ピッ」という音がするまで長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する（12セグ放送のみ）

受信中のチャンネルにサブチャンネルがある場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えられます。サブチャンネルがある場合は、プリセットチャンネルキーに「SUB」と表示されます。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 受信中のプリセットチャンネルを選択

サブチャンネルに切り替わります。

テレビの便利な機能を利用する

テレビの番組内容を見る（12セグ放送のみ）

— お知らせ
- 走行中は、本操作を行えません。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 番組内容

— MEMO
- 番組表（EPG）画面で現在放送中ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。→ P.119
  この場合は、番組内容の概要が表示されます。番組内容の概要は、1セグ選択中でも表示できます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかにデータ放送があります。データ放送では、自車位置周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせします。

— MEMO
- データ放送がない番組の場合、データ放送画面は表示されません。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ データ放送操作キー呼出
4 d
データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順5に進みます。

：
手順5に進み、画面を操作する。
d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。
終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

5
画面上に操作キーが表示されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。
決定：
選択している項目を決定する。
青 赤 緑 黄：
画面に表示されている説明の動作を行う。
0-9：
数字入力メニューに切り替わる。
d：
データ放送の表示／非表示を切り替える。
移動：
操作キーの位置を画面の左右に移動する。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻る。

消す：
操作キーの表示を消す。

— お知らせ

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- データ放送取得中は、画面下に「データ取得中」と表示されます。表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に、いち早く視聴者に情報を知らせる放送システムです。
テレビを視聴中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」（Emergency Warning System）、または「緊急放送を受信しました」と表示されます。その後、自動で緊急放送に切り替わります。

放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

— MEMO

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動配信されるメッセージがある場合は、その内容が画面上に表示されます。
テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグと1セグ共通の各種設定・編集ができます。

1セグ／12セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送から1セグ放送へ自動的に切り替える設定ができます。
「自動」に設定中は、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルの1セグ放送に自動的に切り替わります。（初期値：自動）
また、1セグ／12セグのみ受信することもできます。

— お知らせ

- B-CASカード使用許諾契約約款に承諾していない場合は、「1セグ固定」のままとなっています。

— MEMO

- 以下の場合は自動的に切り替わりません。
  - 1セグ放送の受信感度が悪い場合
  - 12セグ放送で視聴していたチャンネルに1セグ放送がない場合

  ただし放送局によっては、1セグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12セグ放送と1セグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 ［1セグ/地デジ切替］の ◀ 、▶ で項目を選択

自動：
12セグ放送と1セグ放送を自動で切り替える。
手動で1セグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。

地デジ固定：
12セグ放送を受信する。
電波が弱くなっても1セグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。

1セグ固定：
1セグ放送を受信する。

MEMO
- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときに1セグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

音声言語を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 ［音声］の ◀ 、▶ で音声を選択
受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12セグ放送は最大16音声まで、1セグ放送は2音声まで切り替えられます。

MEMO
- 音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第1音声に戻ります。同じチャンネルのまま12セグと1セグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 ［主/副］の ◀ 、▶ で音声を選択
「主音声」「副音声」「主/副 音声」から選択します。（初期値：主音声）

MEMO
- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕の付いた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 ［字幕］の ◀ 、▶ で項目を選択
「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。（初期値：非表示）

放送局を自動で切り替える

高校野球中継など、時間内に放送が終わらなかったとき局が変更される番組は、放送局の切り替えを自動で行えます。（初期値：ON）

1 メニュー ▶ TV
2 画面をタッチ
3 メニュー ▶ 設定
4 イベントリレー

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定できます。（初期値：中継局＋系列局サーチ）

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 放送局自動サーチ設定

5 **目的の項目を選択**

OFF：
放送局の自動サーチを行わない。

中継局＋系列局サーチ：
走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチする。
電波が弱くなり、15秒間受信できなくなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ：
受信中の番組が12セグから1セグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチする。
受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、15秒間受信不可になると自動で中継局／系列局をサーチします。
「1セグ／地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

MEMO

- 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。（初期値：未設定）
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 自宅エリア・郵便番号設定（TV1）
（自宅モード中）、または
お出かけエリア・郵便番号設定（TV2）
（お出かけモード中）

5 **優先させたい地域を選択**

設定しない：
エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合に選択する。

6 **郵便番号を入力** ▶ 決定

7 はい

いいえ：
オートプリセットを行わず、テレビ画面に戻る。

オートプリセットが開始されます。→ P.121

放送メールを表示する

お知らせ

- 放送メールの受信が1通もない場合、放送メール はタッチできません。

1 メニュー ▶ TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

5 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

消去：
放送メールを選択して消去する。
また、すべての放送メールを一括で消去できます。→ P.126

MEMO

- 受信した放送メールは最大8件まで保存されます。8件以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。

mini B-CASカード情報を確認する

1 メニュー ▶ TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 B-CASカード情報

mini B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

テスト：
mini B-CASカードの通信テストを行う。
通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

テレビの設定情報を初期化する

1 メニュー ▶ TV

2 画面をタッチ

3 メニュー ▶ 設定

4 設定情報初期化

5 初期化したい設定情報を選択

受信メール消去：
放送メールをすべて消去する。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去する。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去する。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化する。
プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化する。
また、放送メールをすべて消去する。
画質調整の設定は初期化されません。

消去の確認画面が表示されます。

6 はい

選択した各設定が初期化されます。

— お願い

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12セグ／1セグ自動切替時の映像／音声のずれを軽減します。（初期値：ON）

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 遅延補正

テレビの画質を調整する

1 メニュー ▶ TV

2 **画面をタッチ**

3 メニュー ▶ 設定

4 画質調整

5 **調整する項目を選択**

6 − **または** ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

7 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDを見る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。

⚠ 警告

- **運転者がDVDの映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

— お知らせ

- 市販のDVD（DVDビデオ）とご家庭で録画されたDVD（DVD-VR）では、画面や操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。

DVDを再生する

1 **DVDをセットする、または**

メニュー ▶ CD/DVD

本機にセットされたDVDが再生されます。

（DVDビデオの場合）

（DVD-VRの場合）

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。

何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

DVD再生時の操作

再生を停止する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II を長押し

DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)
レジューム停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
レジューム停止中に ▶/II を長押しすると、再生が完全に停止します。(完全停止)
次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

— お知らせ —
- DVDビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作 をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II

DVDの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。
一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。
一時停止中に ▶/II を長押しすると、DVDの映像が非表示となり、再生が停止します。(レジューム停止)

— MEMO —
- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。

前／次のチャプターを再生する

1 (MC314D-Aの場合)
⏮ または ⏭
(MC314D-Wの場合)
TRACK/SEEKキーを左または右に回す

— MEMO —
- MC314D-Aの場合、⏮ を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のチャプターに移動します。
  MC314D-Wの場合、TRACK/SEEKキーを左に回すとチャプターの先頭に戻り、さらに左に回すごとに前のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

1 (MC314D-Aの場合)
再生中に ⏮ (早戻し)、または ⏭ (早送り) を長押し
(MC314D-Wの場合)
再生中にTRACK/SEEKキーを左 (早戻し)、または右 (早送り) に回したままにする

— MEMO —
- ⏮ 、⏭ またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II

2 (MC314D-Aの場合)
⏭ を長押し
(MC314D-Wの場合)
TRACK/SEEKキーを右に回したままにする

— MEMO —
- ⏭ 、またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

— お知らせ —
- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生できません。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 画面をタッチ

3 リピート

— MEMO

- 通常再生に戻す場合は、リピート を再度タッチします。

メニューから再生する（DVDビデオ）

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。

— お知らせ

- 表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 メニュー ▶ CD/DVD

— MEMO

- DVDメニュー再生中にメニュートップ画面に戻るとタイトルやチャプターなどを直接タッチできます。
  ✥ をタッチすると、手順5の画面に切り替わります。

2 **画面をタッチ**

3 メニュー操作

4 トップメニュー **または** メニュー

トップメニュー、または再生中のチャプターのメニューが表示されます。

— お知らせ

- 「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

5 ▲、◀、▶、▼ **でメニューを選択** ▶ 決定

選択したメニュー項目が再生されます。

戻る：
1つ前の画面に戻る。

10キー：
メニュー番号を直接入力して、メニュー項目を選択する。

左へ、右へ：
タッチキーを画面の左右に移動する。

クリア：
10キー入力した番号を消去する。

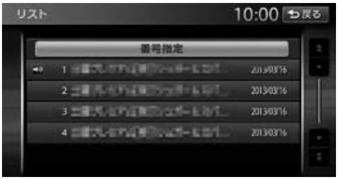
タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 リスト

4 **見たいタイトルを選択**



番号指定：
タイトルリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

5 戻る

プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

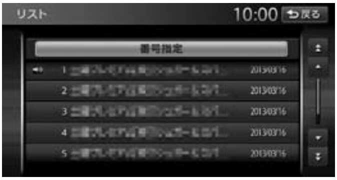
3 プレイリスト **（ONになっていることを確認）**

— MEMO

- 「プレイリスト」がONのときは、プレイリストが表示されます。「プレイリスト」がOFFのときは、タイトルリストが表示されます。

4 リスト

5 **見たい項目を選択**



選択した項目が再生されます。

番号指定：
プレイリスト番号を入力する。
入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

6 戻る

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

— MEMO
- 本機能は、音声の入っていない静止画再生時のみ使用できます。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 静止画切替

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

— お知らせ
- 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは ⏮ 、⏭ を押す（MC314D-A）、またはTRACK/SEEKキーを回して（MC314D-W）再生してください。

— MEMO
- チャプター内に静止画が1枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」と表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVDビデオ）

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 10キーダイレクト入力

4 タイトル または チャプター

5 **番号を入力**

6 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る

入力したタイトル、またはチャプターが再生されます。

DVDの設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVDビデオ）

— お知らせ
- DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 音声・字幕・アングル

4 音声 、字幕 、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

— お知らせ
- 設定できる言語はディスクによって異なります。

— MEMO
- 初期設定で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」で字幕を非表示にできます。

5 戻る

字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）

— お知らせ
- DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 音声・字幕

4 音声 **または** 字幕

タッチするたびに音声、または字幕の設定が切り替わります。

— お知らせ —

- 設定できる音声はディスクによって異なります。

5 戻る

画面サイズを切り替える

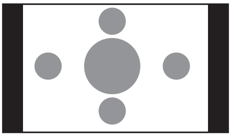
1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 画面切替

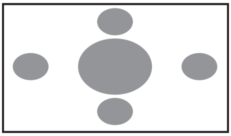
4 **画面サイズを選択**

ノーマル：



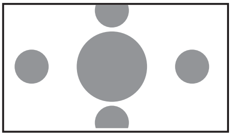
映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

5 戻る

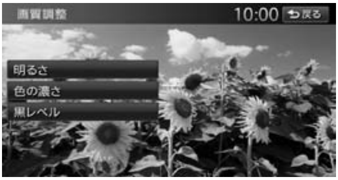
DVDの画質を調整する

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 設定 ▶ 画質調整

4 **調整する項目を選択**



5 − **または** ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

6 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO —

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

DVDの状態表示を設定する

再生画面に、常にチャプター番号と再生時間を表示できます。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **画面をタッチ**

3 （DVDビデオの場合）
設定 ▶ 初期設定
（DVD-VRの場合）
設定

4 常に状態を表示する
再生状態の表示が設定されます。

— MEMO
- 再生状態の表示を解除する場合は、 常に状態を表示する を再度タッチします。

DVDビデオの初期設定を変更する

— MEMO
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。（DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります）
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

DVDのモニターサイズを設定する

1 メニュー ▶ CD/DVD

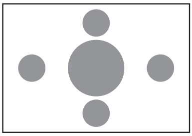
2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 モニターサイズ設定

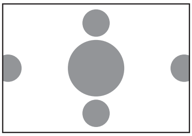
5 モニターサイズを選択

ワイド：



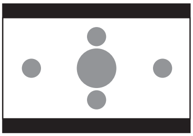
映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さを合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：



画面の横幅と映像の幅を合わせて表示する。
映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

— お知らせ
- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」、または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。

— お知らせ
- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 メニュー言語 、音声言語 、字幕言語

いずれかのキーをタッチすると、言語のリストが表示され、再生時に優先する言語を選択できます。

— MEMO

- 各言語は、英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語から選択できます。字幕言語では「OFF」を選択すると、字幕を非表示にできます。

5 言語を選択

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。→ P.133

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。レベルは1 ～ 8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できない場合があります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル3 ～ 8」の場合のみ、再生できます。
「レベル1 ～ 2」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
また、パレンタルレベルは国によって異なります。カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。→ P.235

— お知らせ

- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルの記載がないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

— MEMO

- 視聴制限をかけない場合は、本設定は必要ありません。
- パレンタルレベルの初期値は「パレンタルレベルOFF」です。すべてのDVDビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。（初期値：未設定）

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 パスワード

5 パスワードを入力 ▶ 決定

入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
新規パスワード設定の場合→手順8

6 パスワードの変更

パスワードの消去：
パスワードを消去する。

7 新しいパスワードを入力 ▶ 決定

8 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定

新しいパスワードが設定されます。

— MEMO

- パレンタルレベルを頻繁に変更する場合は、パスワードを消去して「未設定」にしておくと、パスワード入力の手間を省けます。

■ パレンタルレベルを設定する

準 備

●パレンタルレベルを設定する場合は、パスワードの設定が必要です。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 視聴制限（パレンタルレベル）

5 パスワードを入力 ▶ 決定

6 パレンタルレベルを選択

パレンタルレベルが設定されます。

OFF：

すべてのDVDビデオに対して視聴制限が解除される。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定してください。（初期値：7480（JAPAN））カントリーコードは、国を識別するためのコードです。→ P.235

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 カントリーコード

5 DVDに記録してある国、または地域のカントリーコードを入力 ▶ 決定

CD、ディスク(MP3・WMA・AAC)の音楽を聴く

本機では、音楽CDのほかに、MP3・WMA・AAC形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。

— お知らせ —

• 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO —

• 以下のディスクを再生すると、アーティスト名、曲名などの情報が表示されます。
  - CD-TEXTの入ったディスク
  - ID3タグ、WMAタグ、AACタグの入ったディスク

  上記以外のディスクを再生した場合は、「Track01」などの番号のみ表示されます。
• ノンストップCD（曲と曲がつながっているCD）を再生した場合、曲間に2 ～ 3秒の無音部分が発生します。

CDを再生する

1 CDをセットする、または
メニュー ▶ CD/DVD

本機にセットされたCDが再生されます。

— お知らせ —

• 本機にSDカードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

MP3・WMA・AACのディスクを再生する

1 MP3・WMA・AACディスクをセットする、または
メニュー ▶ CD/DVD

本機にセットされたディスクが再生されます。

ディスク再生時の操作

早戻し／早送りする

1 （MC314D-Aの場合）
再生中に ⏮ （早戻し）、または ⏭ （早送り）を長押し
（MC314D-Wの場合）
再生中にTRACK/SEEKキーを左（早戻し）、または右（早送り）に回したままにする

— MEMO

- ⏮ 、 ⏭ 、またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 （MC314D-Aの場合）
再生中に ⏮ または ⏭
（MC314D-Wの場合）
再生中にTRACK/SEEKキーを左または右に回す

— MEMO

- MC314D-Aの場合、 ⏮ を押すと曲の先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前の曲に移動します。
  MC314D-Wの場合、TRACK/SEEKキーを左に回すと曲の先頭に戻り、さらに左に回すごとに前の曲に移動します。

前／次のフォルダを再生する（MP3・WMA・AAC再生時）

1 再生中に ▲フォルダ または ▼フォルダ

前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

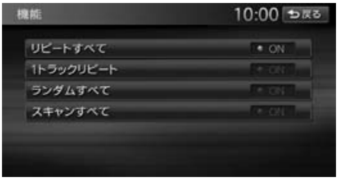
リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 機能

3 目的の項目を選択

（CDの場合）



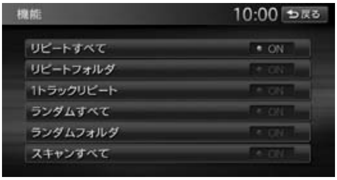
リピートすべて：
ディスク内の全曲をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

ランダムすべて：
現在再生中のCDの全曲をランダムに再生する。

スキャンすべて：
現在再生中のCDの全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

(MP3・WMA・AACの場合)



リピートすべて：
ディスク内の全曲をリピート再生する。

リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

ランダムすべて：
ディスク内の全曲をランダムに再生する。

ランダムフォルダ：
現在再生中のフォルダの全曲をランダムに再生する。

スキャンすべて：
ディスク内の全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

タイトルリストから再生する

— MEMO

- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 メニュー ▶ CD/DVD

2 **(CDの場合)**

トラックリストが表示されます。

(MP3・WMA・AACの場合)

再生中のフォルダを選択

再生中のトラックリストが表示されます。

— MEMO

- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭の曲から再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 **曲を選択**

CD画面

MP3/WMA/AAC画面

選択した曲から再生がはじまります。

SDカード・USBメモリーの音楽を聴く／ビデオを見る

本機では、お手持ちのSDカードやUSBメモリーに保存した音楽やビデオを視聴できます。
SDカードやUSBメモリーを使用して再生できるファイルは、以下のとおりです。
●MP3/WMA/AAC形式のミュージックファイル
●MPEG4/WMV/H.264形式のビデオファイル

⚠ 警告

- **運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

お願い

- USBメモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のUSBメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 本機にiPodやウォークマンを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

MEMO

- SDカードおよびUSBメモリー内のファイルは、ファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

SDカードを再生する

1 SDカードをセット

2 メニュー ▶ Audio ▶ SDメモリーカード

SDカードのファイルが再生されます。

USBメモリーを再生する

1 USBメモリーを接続する

2 メニュー ▶ USB/iPod

USBメモリーのファイルが再生されます。

SDカード/ USBメモリー再生時の操作

ミュージックモードとビデオモードを切り替える

1 (SDカードの場合)
メニュー ▶ Audio ▶ SDメモリーカード
(USBメモリーの場合)
メニュー ▶ USB/iPod

2 モード切替

3 **ミュージック** または **ビデオ**

選択した再生モードに切り替わります。

ビデオ画面

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

再生を停止する（ビデオ）

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II を長押し**

ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

レジューム停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止する（ビデオ）

1 **再生中に画面をタッチ ▶ ▶/II**

ビデオの映像が表示された状態で、再生が一時停止します。

一時停止中に ▶/II をタッチすると、停止した場所から再生がはじまります。

一時停止中に ▶/II を長押しすると、ビデオの映像が非表示となり、再生が停止します。（レジューム停止）

早戻し／早送りする

1 **（MC314D-Aの場合）**

再生中に ⏮ （早戻し）、または ⏭ （早送り）を長押し

（MC314D-Wの場合）

再生中にTRACK/SEEKキーを左（早戻し）、または右（早送り）に回したままにする

— MEMO

- ⏮ 、⏭ 、またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 **（MC314D-Aの場合）**

再生中に ⏮ または ⏭

（MC314D-Wの場合）

再生中にTRACK/SEEKキーを左または右に回す

— MEMO

- MC314D-Aの場合、⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。

  MC314D-Wの場合、TRACK/SEEKキーを左に回すとトラックの先頭に戻り、さらに左に回すごとに前のトラックに移動します。

フォルダリスト／トラックリストから再生する

— MEMO

- 走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 **（SDカードの場合）**

メニュー ▶ Audio ▶ SDメモリーカード

（USBメモリーの場合）

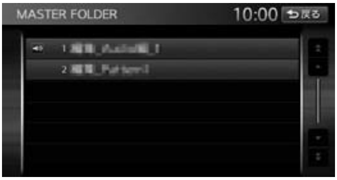
メニュー ▶ USB/iPod

2 **（ミュージックの場合）**
再生中のフォルダを選択

— MEMO

- 再生中以外のフォルダを選択した場合は、トラックリストには切り替わりません。フォルダリストが表示されたまま、先頭の曲から再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

（ビデオの場合）
画面をタッチ ▶ フォルダリスト ▶
再生中のフォルダを選択



トラックリストが表示されます。

— MEMO

- 手順2の画面で トラックリスト をタッチすると、再生中のフォルダのトラックリストが表示されます。

3 **曲またはビデオを選択**
選択した曲またはビデオから再生がはじまります。

前／次のフォルダを再生する（ミュージック）

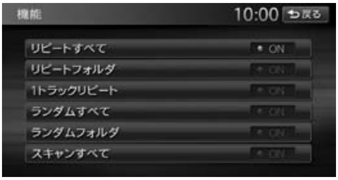
1 **再生中に ▲フォルダ または ▼フォルダ**
前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 **（SDカードの場合）**
メニュー ▶ Audio ▶ SDメモリーカード
（USBメモリーの場合）
メニュー ▶ USB/iPod

2 **機能**

3 **目的の項目を選択**



※画面はミュージックの場合です。

リピートすべて：
すべての曲またはビデオをリピート再生する。

リピートフォルダ：
現在再生中のフォルダ内のすべての曲またはビデオをリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲またはビデオのみをリピート再生する。

ランダムすべて（ミュージックのみ）：
全フォルダからランダムにフォルダを選択する。
さらにそのフォルダ内からランダムに選択した曲を再生する。

ランダムフォルダ（ミュージックのみ）：
現在再生中のフォルダの全曲をランダムに再生する。

スキャンすべて（ミュージックのみ）：
全曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

状態表示を設定する（ビデオ）

ビデオの再生画面に、常に再生状態（フォルダ番号、トラック番号）を表示できます。

1 (SDカードの場合)
メニュー ▶ Audio
▶ SDメモリーカード
(USBメモリーの場合)
メニュー ▶ USB/iPod

2 画面をタッチ

3 設定 ▶ 初期設定

4 常に状態を表示する
再生状態の表示が設定されます。

— MEMO
- 再生状態の表示を解除する場合は、常に状態を表示する を再度タッチします。

ウォークマンの音楽を聴く(ATRAC ADモード)

本機では、ソニー社製ATRAC AD対応のウォークマンに保存した音楽を再生できます。ウォークマンについては、「本機で使えるウォークマン」をご覧ください。→ P.11
ウォークマンには、「ATRAC AD」と「ストレージ」の2つの再生モードがあります。
ATRAC ADモードでは、ATRAC形式の音楽ファイルを再生できます。x-アプリなどのアプリケーションを使用してウォークマンに転送することで、AAC/HE-AAC/MP3/WMA形式のファイルを自動的にATRACファイルに変換できます。詳しくは、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
ストレージモードでは、以下のファイルを再生できます。
●MP3/WMA/AAC形式の音楽ファイル
●MPEG4/WMV/H.264形式のビデオファイル
ストレージモードでの操作方法は、USBメモリーの操作説明をご覧ください。→ P.137

— お願い
- ウォークマンを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のウォークマンの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

— お知らせ
- 本機にiPodやUSBメモリーを接続している場合は、ウォークマンはご利用になれません。

ウォークマンを再生する

1 ウォークマンを接続する

2 メニュー ▶ USB/iPod
ウォークマンモードの画面が表示され、ウォークマン内の曲が再生されます。

— お知らせ
- ウォークマンの種類によっては、ウォークマン本体に付属されているUSBケーブルを本機に接続してご利用ください。

ウォークマン再生時の操作

再生モードを切り替える

ウォークマンの再生画面では、「ATRAC AD」と「ストレージ」の2つのモードに切り替えられます。

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 モード切替

3 **再生モードを選択**

ウォークマンの再生モードが切り替わります。

ミュージック（ATRAC AD）：
x-アプリなどのアプリケーションを使用して転送した曲を再生する。

ミュージック（ストレージ）／ビデオ（ストレージ）：
パソコンから転送した曲やビデオを再生する。
ファイルの保存方法について詳しくは、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

— MEMO
- 以下の場合は再生モード変更を促すメッセージが表示されます。
  - 各再生モードに適用しているファイルがない場合
- ストレージモードでの操作は、USBメモリーの操作説明をご覧ください。→ P.137

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 機能

3 **目的の項目を選択**

リピート：
選択しているカテゴリー内の全曲をリピート再生する。

1トラックリピート：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

ランダム：
選択しているカテゴリー内の全曲をランダムに再生する。

スキャン：
選択しているカテゴリー内の各曲の出だしを10秒間ずつ再生する。

カテゴリーリストから曲を再生する

— お知らせ
- ATRAC ADモードで再生中の場合のみ、本機能を利用できます。

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 メニュー

3 **カテゴリーを選択**

全曲：
ウォークマン内のすべての曲から選択する。

アルバム：
アルバム別に曲を選択する。

アーティスト：
アーティスト別に曲を選択する。

ジャンル：
ジャンル別に曲を選択する。

プレイリスト：
プレイリスト別に曲を選択する。
プレイリストの作成方法は、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

— MEMO
- リスト表示中に何もしないで10秒が過ぎると、ウォークマン再生画面に戻ります。

以降の操作はUSBメモリーのストレージモードと同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

- **早戻し／早送りする**→ P.138
- **前／次のトラックを再生する**→ P.138
- **フォルダリスト／トラックリストから再生する**→ P.138

iPodミュージックを聴く／ iPodビデオを見る

本機では、iPod®を接続してiPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。

⚠ 注意

- **走行中は、iPod本体の操作はしないでください。**
- **iPodは､安全な場所に置いてご使用ください｡**

— お願い —

- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 接続中のiPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。
- 万一iPodが操作不能になったときはiPodをリセットし、再度接続してください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。

  リセット方法の例
  - iPodの場合：

    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。
  - iPod touchの場合：

    「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に長押しします。

  ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

— お知らせ —

- iOS 6.0以降のiPod touch、iPhoneと本機を接続した場合、iPod側から操作できます。

  上記以外はiPod側からの操作はできません。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

— MEMO —

- ミュージックファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを再生する場合、再度ビデオファイルを選択してください。
- Dockコネクタ搭載のiPodを再生するには、別売のAV&iPod接続ケーブルを使用します。

接続できるiPod

Made for iPod iPhone

本機はiPod nano®（第5世代以降）、iPod touch®（第4世代以降）、iPhone® 3GS、iPhone 4、iPhone 4s、iPhone 5、iPhone 5s、iPhone 5cに対応しています。

詳しくは次ページの表をご覧ください。なお、iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。Dockコネクタ搭載のiPodを再生するには、AV&iPod接続ケーブルが必要です。Lightning™コネクタ搭載のiPodを再生するには、iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用します。

iPod / iPhone 機種[※4・※5]			VIDEO再生	AUDIO再生	対応確認Ver.
iPod	第1世代	2001年〜	／	―	―
	第2世代	2002年〜	／	―	―
	第3世代	2003年〜	／	×	―
	第4世代	2004年〜	／	×	―
	第5世代	2005年〜	×	×	―
		2007年〜	×	×	―
iPod photo		2004年〜	／	×	―
iPod classic	第1世代	2007年〜	×	×	―
	第2世代	2008年〜	×	×	―
		2009年〜	×	×	―
iPod touch[※1]	第1世代	2007年〜	×	×	―
	第2世代	2008年〜	×	×	―
	第3世代	2009年〜	×	×	―
	第4世代	2010年〜	○[※6]	○	6.1.2
	第5世代	2012年〜	×	○[※7]	7.0.2
iPod mini	第1世代	2004年〜	／	×	―
	第2世代	2005年〜	／	×	―
iPod nano	第1世代	2005年〜	／	×	―
	第2世代	2006年〜	／	×	―
	第3世代	2007年〜	×	×	―
	第4世代	2008年〜	×	×	―
	第5世代	2009年〜	○	○[※2]	1.0.2
	第6世代	2010年〜	／	○	1.2
	第7世代	2012年〜	×	○[※7]	1.0.2
iPod shuffle	第1世代	2005年〜	／	×	―
	第2世代	2006年〜	／	×	―
	第3世代	2009年3月〜	／	×	―
	第3世代 Late2009	2009年9月〜	／	×	―
	第4世代	2010年〜	／	×	―
iPhone[※1・※3]	第1世代（3G）	2008年〜	×	×	―
	第2世代（3GS）	2009年〜	○[※7]	○	6.1.2
	第3世代（4）	2010年〜	○[※7]	○	7.0.2
	第4世代（4s）	2011年〜	○[※7]	○	7.0.2
	iPhone 5	2012年〜	×	○[※7]	7.0.2
	iPhone 5s	2013年〜	×	○[※7]	7.0.2
	iPhone 5c	2013年〜	×	○[※7]	7.0.2

2014年3月現在

○：本機でタイトル表示が可能です。また選曲や絞り込みなどiPodと同じ感覚で操作が可能です。
×：非対応
ー：接続できない
／：iPodに機能無し

※1　iPodのソフトウェアアップデート後は、iPod touch/iPhoneをリセットしてから使用してください。リセットを行わないと、正常に動作しない場合があります。
※2　iPod nano単体でのシャッフル操作（本体を振る）後に本機に接続すると、リストがシャッフル状態であっても「シャッフル」表示は点灯しません。
※3　車両のスピーカーからノイズが発生する場合があります。また、iPhoneが送受信する携帯電話の電波に障害が出る場合があります。
※4　ご使用のiPodの設定やソフトウェアバージョンなどにより、動作しない場合があります。
iPod利用中にiPodがSTOP状態となることがあります。（映像再生中にiPodを外して再度接続した場合など）
絞り込み操作中は、リストに表示される曲名と再生される曲名は異なることがあります。

※5　接続時のiPod及び本機の状態によっては、正常に動作しない場合があります。その際は、iPod/iPhoneの電源をOFFにしてからもう一度ONにしてください。
※6　ビデオ再生でのチャプターのアップ・ダウン操作で、映像が映らなくなる場合があります。この場合、別のビデオファイルを選択することで復帰します。
※7　iPod/iPhoneに付属のApple純正Lightning-USBケーブルが必要となります。

お願い

- エンジンを切った後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗するおそれがあります。また、iPod抜き忘れ警告の設定ができます。→ P.164

お知らせ

- iPad®シリーズには対応しておりません。
- iPodの動作についてはすべてを保証するものではありません。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、iPodの機種やソフトウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- 接続可能な機種の情報については、日産販売会社（ディーラー）にお問い合わせください。

MEMO

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することで操作可能になるときがあります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しないことがあります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- iPodの機種によっては再生対象の曲やビデオの数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPod touch、またはiPhoneをBluetooth接続している状態で、Bluetoothオーディオ再生、またはハンズフリー通話を行うと、iPodモードで音声が出力されないことがあります。iPod touch、iPhone本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（MC314D）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- Podcastなどを再生するとき、データのダウンロードが正常に完了していないと再生できないことがあります。

iPodミュージックを再生する

Dockコネクタ搭載のiPodは、別売のAV&iPod接続ケーブルを使用し、iPodを本機に接続します。Lightningコネクタ搭載のiPodは、iPod/iPhoneに付属のケーブルを使用し、iPodを本機に接続します。

1 **iPodを接続する**

2 メニュー ▶ USB/iPod

iPod内の曲が再生されます。

トラックリスト画面

ジャンル、アーティスト、アルバムから条件を指定して再生できます。→ P.147

トラック情報画面に切り替わります。

トラック情報画面

曲、アーティスト、アルバムから条件を指定して再生できます。→ P.147

トラックリスト画面に切り替わります。

— お知らせ

• ビデオモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodミュージックに切り替えられます。→ P.147

iPodビデオを再生する

別売のAV&iPod接続ケーブルを使用し、iPodを本機に接続します。

⚠ 警告

- **運転者がiPodビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

準 備

●iPodの音声入力を「アナログ音声」に設定します。→ P.147

— お願い

• iPod接続の際は、AV&iPod接続ケーブル以外は使用しないでください。

— MEMO

• iOSのバージョンによっては、iPodビデオ再生時に映像が表示されない場合があります。その際は、iPod側でミュージックアプリケーションをフォアグランドにすることで症状が改善される場合があります。

1 **AV&iPod接続ケーブルを使用して、iPodを接続する**

2 メニュー ▶ USB/iPod

iPodビデオが再生されます。

画面をタッチすると、メニューキーが表示されます。何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画面に表示されているキーが非表示になります。

戻る：

手動でメニューキーを非表示にする。

— お知らせ

• ミュージックモードで再生された場合は、条件を指定して再生するとiPodビデオの映像に切り替えられます。→ P.147

iPod再生時の操作

早戻し／早送りする

1 **（MC314D-Aの場合）**
再生中に [⏮]（早戻し）、または [⏭]（早送り）を長押し
（MC314D-Wの場合）
再生中にTRACK/SEEKキーを左（早戻し）、または右（早送り）に回したままにする

— MEMO
- [⏮]、[⏭]、またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 **（MC314D-Aの場合）**
再生中に [⏮] または [⏭]
（MC314D-Wの場合）
再生中にTRACK/SEEKキーを左または右に回す
チャプターのあるビデオを再生中は、前、または次のチャプターの先頭から再生されます。

— MEMO
- MC314D-Aの場合、[⏮] を押すとトラックの先頭に戻り、さらに [⏮] を押すごとに前のトラックに移動します。
  MC314D-Wの場合、TRACK/SEEKキーを左に回すとトラックの先頭に戻り、さらに左に回すごとに前のトラックに移動します。

リピート・シャッフル再生をする

1 **[メニュー] ▶ [USB/iPod]**

2 **[機能]**

3 **[シャッフル] または [リピート]**

4 **目的の項目を選択**

（シャッフルの場合（ミュージックのみ））

オフ：
シャッフル再生を解除する。
曲：
現在再生中のアルバム内の全曲をランダムに再生する。
アルバム：
全アルバムをランダムに再生する。
アルバム内の曲は順番に再生されます。

（リピートの場合）

1曲：
現在再生中の曲またはビデオのみをリピート再生する。
すべて：
iPod内のすべての曲またはビデオをリピート再生する。
選択した動作での再生がはじまります。

— お知らせ
- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。

— MEMO
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

タイトルリストから再生する

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 **曲またはビデオを選択**

条件を指定して再生する

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 ミュージック **または** ビデオ

— お知らせ

- ビデオ は、iPod音声入力を「アナログ音声」に設定しているときに表示されます。→ P.147

3 **目的の項目を選択**

— MEMO

- 選択できる項目例：
  （ミュージックの場合）
  - プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

  （ビデオの場合）
  - ビデオプレイリスト／テレビ番組／ムービー／ミュージックビデオ／ビデオPodcast ／レンタルムービーなど

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何も操作しないまま約10秒が過ぎると、iPod再生画面に戻ります。

4 **曲またはビデオを選択**

— MEMO

- 手順4で 再生画面 をタッチすると、iPod再生画面に切り替わります。
- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。

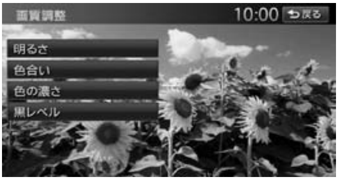
iPodの設定をする

iPodビデオの画質を調整する

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 画質調整

3 **調整する項目を選択**



4 － **または** ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

iPodの音声入力を切り替える

iPodの音声入力を選択します。（初期値：デジタル音声）

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ iPod音声入力

3 **接続方法を選択**

デジタル音声：
iPodミュージックを再生するときに設定します。

アナログ音声：
iPodビデオを再生するときに設定します。

4 **iPodの接続を一度解除し、再度接続する**

— MEMO

- 初期設定メニューからも、同様の操作ができます。→ P.163

アルバムアートワークを表示する（ミュージック）

iPodに取り込まれているアルバムアートワーク（ジャケット写真）を表示できます。

1 メニュー ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示

— MEMO

• アルバムアートワークの取得には、数秒かかることがあります。

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

準 備

●オーディオ機器を本機に登録（ペアリング）します。→ P.88

— お願い

• ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

— お知らせ

• Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオ機器（例：ウォークマンやiPod/iPhoneなど）によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
• Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
• Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
• 走行中はペアリングを実行できません。
• Bluetoothオーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。

— MEMO

- Bluetoothオーディオ機器は、ハンズフリー機器とあわせて5台までペアリングできます。すでに5台ペアリングしている場合は、ペアリングの情報を1台分消去してから、新しく登録してください。
- iPhoneをBluetoothオーディオとして再生中、iPhone側でBluetooth画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetoothオーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断し、再度接続してください。

Bluetoothオーディオを再生する

— お知らせ

- Bluetoothオーディオ機器の種類によっては、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオ機器側から操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

1 メニュー ▶ Audio ▶ Bluetooth Audio

Bluetoothオーディオが再生されます。

— MEMO

- Bluetoothオーディオ機器によっては、自動で再生が開始されないことがあります。その場合は、▶/II をタッチするか、またはBluetoothオーディオ機器側で再生させてください。
- 再生を一時停止、または再開するには ▶/II をタッチします。
- Bluetoothオーディオ機器によっては、メニュー および トラックリスト が表示されない場合があります。

Bluetoothオーディオ再生時の操作

早戻し／早送りする

1 **(MC314D-Aの場合)**

再生中に ⏮（早戻し）、または ⏭（早送り）を長押し

(MC314D-Wの場合)

再生中にTRACK/SEEKキーを左（早戻し）、または右（早送り）に回したままにする

— MEMO

- ⏮、⏭、またはTRACK/SEEKキーから指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次の曲を再生する

1 **(MC314D-Aの場合)**

再生中に ⏮ または ⏭

(MC314D-Wの場合)

再生中にTRACK/SEEKキーを左または右に回す

— MEMO

- MC314D-Aの場合、⏮ を押すと曲の先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前の曲に移動します。

  MC314D-Wの場合、TRACK/SEEKキーを左に回すと曲の先頭に戻り、さらに左に回すごとに前の曲に移動します。

トラックリストから再生する

— お知らせ

- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。

  Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO

- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 メニュー ▶ Audio ▶ Bluetooth Audio

2 トラックリスト

3 **曲を選択**
選択した曲の再生がはじまります。

条件を指定して再生する

フォルダやカテゴリーから、再生したい曲を探して再生できます。

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.4に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

— MEMO
- リスト操作ができないときは、Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーが起動しているかどうかを確認してください。

1 メニュー ▶ Audio ▶ Bluetooth Audio

2 メニュー

3 **目的の項目を選択**

— MEMO
- 選択できる項目は、Bluetoothオーディオ機器によって異なります。

トラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。
リスト表示中に何もタッチしないで10秒が過ぎると、Bluetoothオーディオ再生画面に戻ります。

4 **曲を選択**

— MEMO
- 手順3、4で 再生画面 をタッチすると、Bluetoothオーディオ再生画面に切り替わります。
- 手順3、4で メニュー をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。長押しすると、手順2の画面に戻ります。

リピート・シャッフル再生をする

— お知らせ
- この機能は、AVRCP Ver1.3以上に対応したBluetoothオーディオのみ使用できます。Bluetoothオーディオ機器によっては、本機能は使用できません。

1 メニュー ▶ Audio ▶ Bluetooth Audio

2 機能 ▶ シャッフル または リピート

3 **目的の項目を選択**

※画面はシャッフルの場合です。

(シャッフルの場合)

オフ：
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全曲をランダムに再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全曲をランダムに再生する。

(リピートの場合)

1曲：
現在再生中の曲のみをリピート再生する。

すべて：
Bluetoothオーディオ内の全曲をリピート再生する。

グループ：
現在再生中のグループ内の全曲をリピート再生する。

接続するBluetoothオーディオ機器を切り替える

本機に複数のBluetoothオーディオ機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えられます。

1 **ソース選択画面で** Bluetooth Audio

2 接続機器の選択

3 **接続したい機器を選択**
接続機器の切り替えについて詳しくは、P.90をご覧ください。

各種設定

ナビゲーションに関するさまざまな操作、オーディオの音質、画面表示などをお好みで設定できます。

設定メニュー画面から各種設定を行う…… 152
ナビゲーションの設定をする…… 152
地図上のアイコンの設定をする…… 152
走行軌跡の設定をする…… 153
ルートガイドの設定をする…… 153
交差点ガイドの設定をする…… 154
バラエティボイスの設定をする…… 155
到着予想時刻の計算基準速度を設定する…… 155
オートリルートについて…… 156
交通情報・VICS情報の設定をする …… 156
交通情報のダウンロード設定をする…… 157
ルート探索条件の設定をする…… 158
探索条件の設定をする…… 158
最速ルート探索のダウンロード条件を設定する… 159
ルートの学習の設定をする…… 159
その他の探索条件を設定する…… 160
安全運転ガイドの設定をする…… 160
その他のナビゲーション設定をする…… 161
自車位置を修正する…… 162
言語の選択をする…… 162
その他の設定をする…… 162
初期設定をする…… 163
手動で車両情報を設定する…… 163
イージーセットアップを設定する…… 164
盗難防止設定をする…… 164
盗難防止用に暗証番号を設定する…… 165
暗証番号を変更する…… 165
出荷状態に戻す…… 165
オーディオの音質を設定する…… 165
ボーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する…… 166
スピーカーの音量バランスを調整する…… 167
音質効果メモリーを選んで設定する…… 167
お好みの音質効果を設定する…… 167
Volume Smootherを調整する …… 167
オーディオ設定を初期値に戻す…… 168
画面の設定をする…… 168
画面の明るさを切り替える…… 168
ナビゲーション画面の画質を調整する…… 168
メインメニュー画面をカスタマイズする…… 169
音量を調整する…… 169
ユーザーを切り替える…… 169
SDカードのデータを編集する …… 170
登録地点を書き出す…… 170
登録地点を取り込む…… 170
登録地点のグループ名を変更する…… 170
登録地点を消去する…… 170
ダウンロードボイスデータの取り込み…… 171
TVサーチ情報の取り込み …… 171
OPTIONボタンの操作方法 …… 172
OPTIONボタンに機能を割り付ける …… 172

設定メニュー画面から各種設定を行う

設定メニュー画面では、ナビゲーションやオーディオなどに関するさまざまな設定ができます。
この操作は、設定メニュー画面から行います。

メニュー ▶▶ 設定 ▶▶

設定メニュー画面

※走行中はタッチできる項目が限定されます。

ナビゲーションの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

登録データの編集・消去：
自宅、登録地、登録ルートの編集・消去を行う。
・自宅→ P.18
・登録地→ P.50
・登録ルート→ P.52
・登録の消去→ P.45、P.51、P.52
・SDメモリーカードに登録地を保存 → P.170
・保存データの取り込み→ P.170
・SDメモリーカード内保存データの消去 → P.170

地図表示変更：
地図表示モードの切り替えを行う。 → P.27
イージーセットアップからも設定できます。→ P.164

アイコンの表示：
地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う。→ P.152

軌跡の設定：
地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う。→ P.153

ルートガイドの設定：
ルート案内時の案内表示、音声案内に関する設定を行う。→ P.153

交通情報・VICSの設定：
交通情報・VICS情報に関する設定を行う。 → P.156

ルート探索条件の設定：
ルート探索条件に関する設定を行う。 → P.158

安全運転ガイドの設定：
安全運転ガイドに関する設定を行う。 → P.160

その他の設定：
その他、便利な設定を行う。→ P.161

地図上のアイコンの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示

施設アイコンの表示：
地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択する。（初期値：カー用品店、ガソリンスタンド、カーディーラー、レンタカーがON）
・複数のジャンルを選択できます。
・詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。

検索アイコンの表示：
周辺検索で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）→ **P.41**

検索アイコンの消去：
検索アイコンの表示を地図上から消去する。→ **P.43**

交通事故多発地点の表示：
交通事故多発地点アイコン を地図上に表示するかどうかを選択する。（初期値：OFF）
200m以下のスケールで表示されます。
市街地図、立体地図では表示されません。

冠水路地点の表示：
冠水路地点アイコン を地図上に表示するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

走行軌跡の設定をする

車が走行すると、設定された間隔でポイントが置かれます。これを走行の軌跡情報といいます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 軌跡の設定

軌跡の表示：
地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える。（初期値：OFF）→ **P.66**

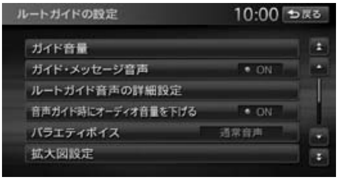
軌跡の間隔：
走行軌跡のポイントを置く間隔を設定する。（初期値：200m）
選択した間隔ごとにポイントが置かれます。走行軌跡のポイントは、3,000を超えると古いものから順に消去されます。
軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。

軌跡の消去：
走行軌跡の記録（本機への保存情報）を消去する。
一度消した走行軌跡は再度表示できません。

ルートガイドの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定



ガイド音量：
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

お知らせ
- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

ガイド・メッセージ音声：
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

ルートガイド音声の詳細設定：
音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う。
- 交差点ガイド設定→ **P.154**
  交差点での音声案内および案内表示を設定する。
- レーンガイド
  ルート案内中の通過交差点に対して、レーン規制に注意が必要な場合に音声で案内をする。（初期値：ON）
- 料金ガイド（初期値：ON）
- 合流ガイド（初期値：ON）
- 踏み切りガイド
  踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する。（初期値：ガイド中に表示する）

各種設定

音声ガイド時にオーディオ音量を下げる：
音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる。（初期値：ON）

バラエティボイス：
音声案内の言語を選択する。（初期値：通常音声）→ P.155

拡大図設定：
高速入口と高速分岐において、拡大図を表示するかどうかを、それぞれ選択する。
・高速入口の画像表示（初期値：ON）→ P.67
・高速分岐の画像表示（初期値：ON）→ P.68

到着予想時刻の表示切替：
到着予想時刻を表示する地点を設定する。（初期値：目的地）

AV画面での割り込み：
オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える。（初期値：ON）
「ON」に設定すると、オーディオOFFの画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

到着予想時刻の速度設定：
到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する。→ P.155

その他の設定：
ルートガイドに関するその他の設定をする。
・一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示
一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をするかどうかを、それぞれ選択する。（初期値：常時表示する）
・オートリルート
ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する。（初期値：ON）
→ P.156

交差点ガイドの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 ルートガイド音声の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面右側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。

ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行う。（初期値：ON）

ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行う。（初期値：ON）
例：「ON」の場合
まもなく、○○○（施設名）の手前を右方向です。
「OFF」の場合
まもなく、右方向です。

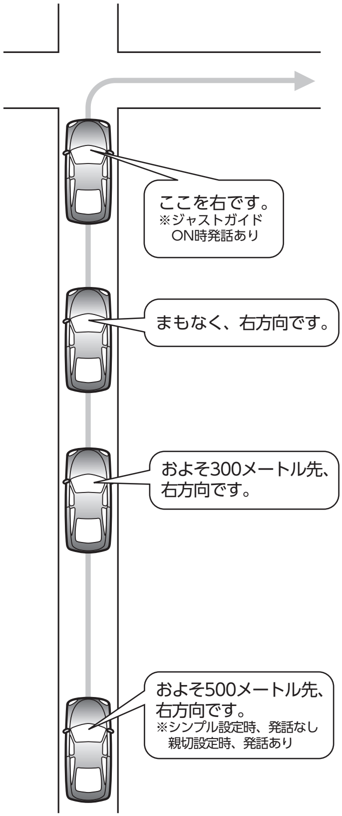
親切設定：
交差点の500m手前と300m手前で、事前に音声案内を行う。

シンプル設定：
交差点の300m手前で音声案内を行う。

■ ガイド設定と音声案内回数

	シンプル設定 ON	親切設定 ON
ジャストガイド ON	音声案内3回	音声案内4回
ジャストガイド OFF	音声案内2回	音声案内3回

■ 一般道でのガイド位置と発話内容



バラエティボイスの設定をする

音声案内の声を選択できます。

— お知らせ —

- バラエティボイス使用時は、現在地 を長押ししても音声ガイドを行いません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 バラエティボイス

4 **ボイスを選択**

選択したボイスが設定されます。

取り込み：

バラエティボイスのほかに、新しくボイスを追加できます。→ P.171

以下のeショップ・サイトからダウンロードボイスデータを購入し、ダウンロードしてください。

http://ec.clarion.com/downloadvoice/ns

消去：

SDカードから取り込んだダウンロードボイスデータを消去する。

到着予想時刻の計算基準速度を設定する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルートガイドの設定

3 到着予想時刻の速度設定

4 **各設定の ＋ または －**

到着予想時刻の計算基準となる速度が設定されます。（初期値：自動計算）

自動計算：

統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定する。

この設定がONのときは、下記、道路の種類ごとの速度設定は考慮されません。

高速道路：

高速道路走行時の速度を5 ～ 120km/hに設定する。

その他有料道路：

有料道路走行時の速度を5 ～ 100km/hに設定する。

国道・都道府県道・主要道：

国道・都道府県道・主要道走行時の速度を5 ～ 60km/hに設定する。

細街路：
細街路走行時の速度を5 ～ 30km/hに設定する。

設定を初期状態に戻す：
それぞれの設定速度を初期値に戻す。

オートリルートについて

オートリルートは、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用しない場合は、「オートリルート」をOFFに設定してください。→ P.154
オートリルートは、以下の場合に行われます。

お車がルートを外れている場合
お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合
渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。
この探索には以下の設定が必要な場合があります。

●「リアルタイム交通情報を考慮」が「ON」 → P.160
●「時間規制道路」が「規制に従う（推奨）」 → P.160

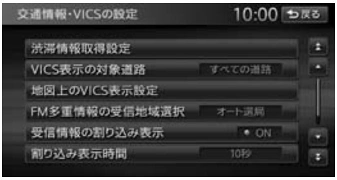
交通情報・VICS情報の設定をする

準 備

●ビーコン情報を利用するには、別売のビーコンキットが必要です。
●DSRC情報を利用するには、別売のDSRCユニットが必要です。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定



渋滞情報取得設定※1：
カーウイングスを利用して受信する交通情報のダウンロードに関する設定を行う。→ P.157
・本設定は「最速ルート探索の自動取得設定」と連動しています。→ P.159

VICS表示の対象道路：
VICS情報表示の対象となる道路を選択する。（初期値：すべての道路）
設定した内容は、ビーコンVICSやDSRCにも適用されます。

地図上のVICS表示設定：
表示するVICS情報の項目を選択する。
設定した内容は、ビーコンVICSやDSRCにも適用されます。
・渋滞・混雑（初期値：ON）
・順調（初期値：OFF）
・事故・規制情報（初期値：ON）
・駐車場情報（初期値：ON）
・SA・PAの駐車場情報（初期値：ON）

FM多重情報の受信地域選択：
FM多重情報の受信地域の設定を行う。（初期値：オート選局）
・オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。
・都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。

受信情報の割り込み表示※2：
VICS光・電波ビーコンまたはDSRCから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させるかどうかを設定する。（初期値：ON）

割り込み表示時間※2：
VICS光・電波ビーコンまたはDSRCから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する。（初期値：10秒）

割り込み受信音※3：
DSRC情報を受信したとき、受信音を鳴らすかどうかを設定する。（初期値：ON）
緊急情報、注意警戒情報受信時は、設定に関係なく受信音で知らせます。

DSRC情報の自動音声読み上げ※3：
DSRC情報のTTS音声データの読み上げを行うかどうかを設定する。（初期値：ON）

プローブ情報設定※1：
オンラインでプローブ情報の送信・消去を行う。（初期値：ON）→ P.158
DSRC送信の設定を行う。※3（初期値：ON）
ONにすると、走行履歴などを送信します。

※1 カーウイングスを利用して交通情報を受信する場合の設定です。→ P.107
※2 別売のビーコンキットまたはDSRCユニット接続時のみ設定できます。
※3 別売のDSRCユニット接続時のみ設定できます。

— MEMO —
• 本項目で設定された内容は、カーウイングスを利用して受信した交通情報についても適用されます。

交通情報のダウンロード設定をする

カーウイングスを利用した情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

— お知らせ —
• Bluetoothオーディオを再生中に交通情報をダウンロードすると、ダウンロードが完了するまで、オーディオ音声は出力されません。

■ 交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。ルート案内中およびルート案内時以外でそれぞれ設定できます。（初期値：取得しない）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定

3 渋滞情報取得設定

4 誘導中の自動取得間隔

5 受信時間を選択

■ ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。（初期値：OFF）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 交通情報・VICSの設定

3 渋滞情報取得設定

4 誘導開始時に取得

— MEMO —
• この設定が「ON」のときも、以下の場合は交通情報が自動で受信されません。
  - 迂回路探索 からルートを再探索した場合
  - お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

■ プローブ情報の利用を設定する

プローブ情報（お客様のお車の走行履歴情報）を送信するかどうかを設定します。（初期値：ON）

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 交通情報・VICSの設定
3 プローブ情報設定
4 オンライン送信 、または DSRC送信 （DSRC送信はDSRCユニット接続時のみ）

■ プローブ情報を消去する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 交通情報・VICSの設定
3 プローブ情報設定
4 プローブ情報を消去 ▶ はい

ルート探索条件の設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定

探索条件：
目的地を設定してから、ルート探索の優先路を選択する。→ P.158
・有料（省エネ） または 一般（省エネ） を選択すると、「統計交通情報を考慮」が自動的にONになります。→ P.160

最速ルート探索の自動取得設定：
カーウイングスを利用した最速ルート探索のダウンロードに関する設定を行う。→ P.159
カーウイングスを利用して交通情報を受信する場合の設定です。→ P.107

— MEMO —
• 本設定は「渋滞情報取得設定」と連動しています。→ P.156

ルートの学習：
ルートの学習に関する設定を行う。→ P.159

その他の条件：
その他の探索条件を設定する。→ P.160

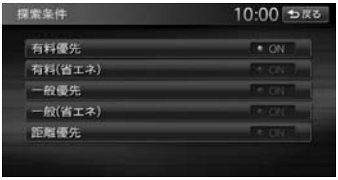
探索条件の設定をする

ルート探索時の優先路を設定します。
表示される探索条件は、「省エネルートを考慮」のON/OFFによって異なります。→ P.160

— MEMO —
• 「省エネルートを考慮」をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 探索条件

「省エネルートを考慮」ONの場合



「省エネルートを考慮」OFFの場合

有料優先：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料（省エネ）※：
有料道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

一般優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般（省エネ）※：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの燃料消費量が少なくなるルートです。

距離優先：
一般道路を優先的に使用する。
目的地までの距離が短くなるルートです。

※「省エネルートを考慮」ONの場合のみ表示されます。

ルートが設定されているときは、選択した道路を優先して、ルートを再探索します。

最速ルート探索のダウンロード条件を設定する

カーウイングスを利用して交通情報を受信するときの設定を行います。→ P.107

■ ルート案内時の交通情報取得を設定する

ルート案内の開始時に交通情報を自動で取得するかどうかを設定します。（初期値：OFF）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. 最速ルート探索の自動取得設定
4. 誘導開始時に取得

お知らせ

- この設定が「ON」のときも、以下の場合は交通情報が自動で受信されません。
  - 迂回路探索 からルートを再探索した場合
  - お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時

■ 交通情報の受信間隔を設定する

交通情報を自動で取得する場合に、何分ごとに受信するかを設定します。ルート案内中およびルート案内時以外でそれぞれ設定できます。（初期値：取得しない）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. 最速ルート探索の自動取得設定
4. 誘導中の自動取得間隔
5. **受信時間を選択**

ルートの学習の設定をする

自宅から一定範囲（半径約3km）の走行履歴を考慮するかどうかを設定します。何度も走行した道路ほどルートに採用されやすくなります。

準 備

●自宅を登録する→ P.18

1. メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2. ルート探索条件の設定
3. ルートの学習 ▶ 学習したルートを考慮

学習したルートをリセット：
ルートの学習をリセットする。
地図データを更新した場合も、学習内容はいったんリセットされ、再び学習が行われます。

— お知らせ
- 以下の探索条件を設定した場合、ルート探索時に学習内容は考慮されません。
  - 有料(省エネ)
  - 一般(省エネ)

— お知らせ
- ルートの学習は、走行履歴を使用していますが、お客様が想定される結果と合わない場合があります。

その他の探索条件を設定する

ルート案内に関するいろいろな探索条件が選択できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 ルート探索条件の設定
3 その他の条件

時間規制道路：
時間規制道路の時間規制を考慮するかどうかを選択する。（初期値:規制に従う（推奨））

冬季通行止め：
冬季通行規制を考慮するかどうかを選択する。（初期値：規制に従う（推奨））

フェリー航路を使う：
フェリー航路を使用するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

統計交通情報を考慮：
統計交通情報を考慮するかどうかを選択する。（初期値：ON）
統計交通情報とは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

— お知らせ
- 「探索条件」で「有料（省エネ）」、または「一般（省エネ）」設定時は自動的にONになります。→ P.158
  選択することはできません。

リアルタイム交通情報を考慮：
カーウイングスを利用して受信した交通情報や、FM VICS情報、ビーコンVICS情報などの交通情報を考慮するかどうかを選択する。（初期値：ON）

スマートICを考慮：
スマートICを出入口として考慮するかどうかを選択する。（初期値：OFF）
- 設定をONにすると、ETCユニットまたはDSRCユニットの接続、ETCカードの挿入の有無にかかわらず、スマートICを利用する経路を設定します。

省エネルートを考慮：
省エネルートを考慮するかどうかを選択する。（初期値：OFF）

— お知らせ
- 設定をONにすると、ルート探索にかかる時間が長くなる場合があります。

安全運転ガイドの設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション
2 安全運転ガイドの設定

安全運転メッセージ：
昼夜それぞれナビゲーションの初回起動時に、安全運転メッセージの表示と音声案内を行うかどうかを選択する。（初期値：ON）

— お知らせ
- 夜の音声案内は、金、土、日曜日のみ行われます。

高速道路での逆走報知：
高速道路走行時に誤って反対車線を走行した場合に、メッセージの表示と音声案内を行うかどうかを選択する。（初期値：ON）
逆走報知画面が表示された場合は、現在地、またはリモコンの「現在地」「戻る」で表示を解除できます。

⚠ 注意

- **下記のような条件の場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知の内容が実際の状況と異なることがあります。**
  - 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
  - 周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
  - ダッシュボードの上にものを置いたなどGPS信号が受信できない場合
  - トンネルなどにさえぎられ、GPS信号が受信できない場合
  - 高架橋下や高層ビル群地帯などGPS信号が正しく受信できない場合
  - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
  - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行の場合
- **高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや、報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。**
- **高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。**

その他のナビゲーション設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

現在地名称プレート表示：
地図画面で、マルチインフォメーションキーを表示するかどうかを選択する。（初期値：ON）→ P.23

スクロール地点情報表示：
スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンに合わせた場合の情報の表示／非表示を切り替える。（初期値：すべてON）
・登録地アイコン情報
・VICSアイコン情報（2D地図のみ）
・行き先アイコン情報
・緯度・経度情報
・マップコード
・CARWINGSアイコン情報

現在地修正：
自車位置を修正する。→ P.162

センサーの学習リセット：
距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する。

— MEMO
- タイヤ交換時や、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。→ P.198

接続チェック：
各機器と本機との接続状況を確認する。
接続が確認されると、リスト画面に OK が表示されます。また、GPS受信状態も確認できます。

コントロールバー自動消し：
地図上のコントロールバーの表示を自動的に非表示にするかどうかを選択する。（初期値：OFF）

自車位置を修正する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

3 現在地修正

4 正しい自車位置に移動→ P.35

5 場所を確認 ▶ 決定

6 [←] または [→] ▶ 決定

自車位置が修正され、現在地地図画面に戻ります。

言語の選択をする

画面を選択した言語で表示したり、選択した言語で音声案内を行います。

1 メニュー ▶ 設定

2 言語選択

Text：
画面を選択した言語で表示する。（初期値：Japanese）

— お知らせ —
• 地図画面表示、目的地検索の施設リスト、オーディオ画面の情報表示など一部の表示は言語切り替えの対象となりません。

Voice：
音声案内の言語を選択する。（初期値：Japanese）

— MEMO —
• この設定は、「バラエティボイス」と連動しています。→ P.155

その他の設定をする

初期設定や盗難防止の設定など、各種の設定を行います。

1 メニュー ▶ 設定

2 その他設定

初期設定：
iPodの音声入力や、本機の基本的な設定を行う。→ P.163

カーソル表示：
画面上で選択している項目をハイライト表示する。（初期値：OFF）

セキュリティ：
盗難防止に関する設定を行う。→ P.164

出荷状態に戻す：
本機のデータや設定を初期値に戻す。→ P.165

販売会社専用メニュー：
一部の機能が正常に動かなくなるため使用しないでください。

時計：
時計の表示方法を設定する。→ P.13

初期設定をする

ナビゲーションを使用するために必要な設定をします。

— お知らせ

• 走行中は本操作を行えません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定

車両設定：
本機を使用する車両を設定する。
本機取り付け時に日産販売会社で設定を行います。

カメラ接続設定：
本機取り付け時に日産販売会社で設定を行います。

iPod音声入力：
iPodの音声入力を設定する。（初期値：デジタル音声）→ P.147

イージーセットアップ：
本機の基本的な項目を設定する。
→ P.164

— MEMO

• 各車種の設定値は、代表グレードの値になっています。グレードによっては、購入した車種のカタログ値とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

手動で車両情報を設定する

有料道路の料金表示時に、設定した車種が反映されます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定 ▶ 車両設定

3 マニュアル設定 ▶ 省エネルート設定

4 各項目を入力

入力した車種情報が設定されます。

— MEMO

• 「車両重量」、「排気量」、「モード燃費」は、設定値入力後、決定 をタッチしてください。

ボディタイプ：
設定値を以下の項目から選択する。（初期値：セダン）
セダン／コンパクト／ワンボックス／ステーションワゴン／ RV ／スポーティ

ナンバープレート：
設定値を以下の項目から選択する。（初期値：小型車両（5/7ナンバー））
軽車両（軽自動車）／小型車両（5/7ナンバー）／普通車両（3ナンバー）／大型車両（1ナンバー）／特定車両（8ナンバー）／大型特定車両（8ナンバー）

乗車人数：
設定値を1 ～ 10人から選択する。（初期値：2人）

車両重量：
設定値を700 ～ 2700kgの範囲で入力する。（初期値：1130kg）

排気量：
設定値を0.65 ～ 4.50Lの範囲で入力する。（初期値：1.50L）

モード燃費：
設定値を5.0 ～ 40.0km/Lの範囲で入力する。（初期値：20.0km/L）

— MEMO

- お客様のお車により適した省エネルートをご案内するために、以下の項目をご確認ください。
  - 車両重量と排気量は、車検証記載の値に沿って設定してください。
  - モード燃費は、お車のカタログなどに記載されているJC08モードの燃費値を設定してください。10・15モードの記載しかない場合は、1割程度少ない値を設定していただくことをおすすめします。
  - ボディタイプは、外見の形状で最も近いと思われるタイプを選択してください。必ずしも車検証記載の「車体の形状」のとおりである必要はありません。

イージーセットアップを設定する

音量調整や自宅の登録など、基本的な項目の設定をまとめて行えます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 初期設定 ▶ イージーセットアップ

3 **設定したい項目を選択**

音量調整：
音量を調整する。→ P.169

自宅の登録：
自宅を登録する。→ P.18
すでに自宅が登録されている場合は、タッチできません。

OPTIONボタン割付：
[✿] に機能を割り付ける。→ P.172

Bluetooth：
Bluetoothの設定をする。→ P.87

地図表示変更：
地図の表示方法を設定する。→ P.27

盗難防止設定をする

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 セキュリティ

盗難防止イルミ：
エンジンがかかっていないときに操作パネルのイルミを点滅させて、盗難を抑制する。（初期値：OFF）
「盗難防止」がONのときのみ設定できます。

盗難防止：
盗難時に、セキュリティ機能を作動させる。いったん本機が取り外された後は、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。（初期値：OFF）→ P.165

盗難防止の暗証番号変更：
盗難防止用の暗証番号を変更する。
→ P.165

盗難多発地点の音声警告：
以下の場合に、音声や画面表示で警告する。（初期値：ON）
- 盗難多発地点付近に目的地を設定した場合
- 盗難多発地点付近でエンジンを切った場合

盗難多発地点の地図上表示：
地図上に盗難多発地点のアイコンを表示する。（初期値：ON）
盗難多発地点（危険度・小）（黄）
盗難多発地点（危険度・中）（オレンジ）
盗難多発地点（危険度・大）（赤）
盗難多発地点のアイコンは通常地図の200m以下のスケールで表示されます。（市街地図では表示されません。）アイコンにカーソルを合わせると、盗難多発地点の住所と被害件数情報を確認できます。

iPod抜き忘れ警告：
エンジンを切ったときにiPodが接続されていると、音声案内を行う。（初期値：ON）

— MEMO

- 盗難多発地点は、各都道府県警からのデータをもとに算出しています。盗難多発地点の整備対象エリアについては、「収録データベースについて」をご覧ください。→ P.219
- 地図の表示スケール、表示モードによっては、設定値がONでも盗難多発地点のアイコンが表示されない場合があります。

盗難防止用に暗証番号を設定する

— お願い

- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してください。

— お知らせ

- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。
- 暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 セキュリティ ▶ 盗難防止

3 **注意事項を読む** ▶ 確認

4 **暗証番号を入力（4桁）** ▶ 決定

メッセージが表示され、暗証番号が保存されます。

— MEMO

- 盗難防止設定を解除する場合は、盗難防止 をタッチして暗証番号を入力してください。

暗証番号を変更する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 セキュリティ
▶ 盗難防止の暗証番号変更

3 **暗証番号を入力**

4 **新しい暗証番号を入力** ▶ 決定

出荷状態に戻す

各種データの消去や設定の初期化を行います。

— お願い

- 本機を譲渡・転売するときは、必ずすべてのデータを消去してください。→ P.239

— お知らせ

- 本操作では、SDカード内のデータも初期化されます。操作中は、SDカードを抜いたり、本機の電源を切らないでください。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ その他設定

2 出荷状態に戻す

3 **項目を選択** ▶ はい

— MEMO

- 「登録地情報の消去」を行うと、自宅情報も消去されます。

オーディオの音質を設定する

準 備

●オーディオをONにします。→ P.114

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

Virtual Stage Enhancer：
ボーカル成分とサラウンド成分を抽出し調整することで、臨場感のあるサラウンドサウンドを実現する。（初期値：LOW）→ P.166

・Vocal Image Control
ボーカルの音量バランスを調整することで、ボーカルの音像を前後左右に移動する。（初期値：0）→ P.166

各種設定

Balance/Fader：
前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する。（初期値：0）→ P.167

イコライザー：
あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する。（初期値：FLAT）→ P.167
音質効果メモリーを調整することもできます。

〈ユーザーカスタマイズ〉：
音質効果メモリーを作成して保存する。→ P.167

Loudness：
音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する。（初期値：3）

Sound Restorer：
圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける。（初期値：LOW）

車速連動ボリューム：
加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する。（初期値：OFF）
レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。

Virtual Bass：
低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする。（初期値：LOW）

Volume Smoother：
再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組とCMの音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する。（初期値：OFF）→ P.167

Intelligent Tune：
Virtual Stage Enhancer、Vocal Image Control、Sound Restorer、Virtual Bass、Volume Smootherを設定する。（初期値：OFF）
ONにするとそれぞれ設定を変更できます。

その他設定：
オーディオ設定のすべてを工場出荷時の初期値に戻す。→ P.168

ボーカルの音量バランスとサラウンドサウンドを調整する

Virtual Stage Enhancerは、ステレオ音源からボーカル成分とサラウンド成分を抽出し、フロント・リアスピーカーにバランス良く振り分けることで、臨場感のあるサラウンドサウンドになるよう調整します。
Vocal Image Controlは、ステレオ音源の中央に定位するボーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ボーカルの左右のバランスや奥行き感を調整してください。

お知らせ

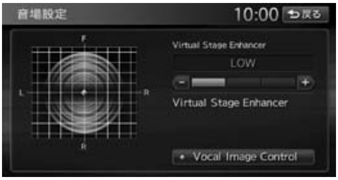
- Virtual Stage EnhancerがOFF以外の場合は、Vocal Image Controlは「0」になり変更できません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Intelligent Tune **（ONになっていることを確認）**

3 Virtual Stage Enhancer

4 ＋ 、－ **をタッチして設定**



Vocal Image Control：
ボーカルの音量バランスを調整する。
初期値に戻す をタッチすると、Vocal Image Controlが初期値に戻ります。

スピーカーの音量バランスを調整する

Balance/Faderは、全体の音量バランスを調整します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Balance/Fader

3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定

初期値に戻す：
音量バランスを初期値に戻す。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 イコライザー

3 音質を選択

S.BASS：重低音の増強
S.HIGH：中高域の増強
ACOUSTIC：中域（人の声）の増強
IMPACT：低域と高域の増強
SMOOTH：しっとりと落ち着いた感じ
FLAT：原音、EQをOFF

お好みの音質効果を設定する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 イコライザー

3 USER 1、USER 2、または USER 3

4 調整する

5 音質効果を設定

▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整する。

FLAT：
各帯域の設定を「0」に戻す。

MEMO
• 次回からは手順3で同じ設定を呼び出せます。

Volume Smootherを調整する

■ Volume Smootherとは

Volume Smootherは、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Volume SmootherをONにすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整します。その結果、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴できます。音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

●CDを聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
●TVを見ているときの番組とCMの音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
●DVDなどで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Volume SmootherをONにすると、これらのケースでも音量操作をする必要がありません。各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴できます。

各種設定

■ Volume Smootherのレベルを調整する

Volume Smootherのレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変えられます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Intelligent Tune（ONになっていることを確認）

3 Volume Smoother

4 ＋ 、－ をタッチして設定

Volume Smootherのレベルが調整されます。

— MEMO

- テレビやDVDなど、音量レベル差のあるソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」の設定をおすすめします。
- Volume Smootherは、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定できます。ソースを切り替えると、Volume Smootherも各設定値に切り替わります。

オーディオ設定を初期値に戻す

すべてのオーディオ設定値のほか、ガイド音量、電話の音量、各オーディオソースの音量を初期値に戻します。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 その他設定

3 オーディオ設定の初期化

4 はい

画面の設定をする

画面の明るさを切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で画面の明るさを切り替えると画面が見やすくなります。
明るさアップキーは、スモールランプを点灯させると地図画面上に自動的に表示されます。

— MEMO

- スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。

1 画面上の明るさアップキー を タッチ

タッチするたびに、画面の明るさが切り替わります。

ナビゲーション画面の画質を調整する

1 メニュー ▶ 設定 ▶ 画質調整

2 地図・メニュー画面

3 明るさ

4 ＋ または －

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
- オーディオ映像画面（映像ソース間で共通）、カメラ画面の画質調整については、各ページの説明をご覧ください。

メインメニュー画面をカスタマイズする

メインメニュー上の目的地検索キーやオーディオソースキーをお好みで変更できます。

1 メニュー

2 **画面左上の （よく使うAVソースの選択キー）、または画面右上の （よく使う目的地検索の選択キー）**

3 選択解除

4 **項目を4箇所選択**

初期に戻す：
初期設定値に戻す。

4項目を選択しないと、決定 は表示されません。

5 決定

選択した項目が、よく使う機能キーとしてメインメニューに表示されます。

音量を調整する

1 メニュー ▶ 設定

2 音量調整

ガイド音量※1**：**
音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する。（初期値：レベル6）

— お知らせ —
- 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。

ガイド・メッセージ音声※1**：**
音声案内などのナビゲーション音声を出力するかどうかを選択する。（初期値：ON）

着信音量※2**：**
電話の着信音量を調整する。（初期値：レベル4）

受話音量※2**：**
電話の受話音量を調整する。（初期値：レベル4）

送話音量※2**：**
電話の送話音量を調整する。（初期値：レベル3）

CARWINGS音量：
カーウイングスのオートプレイの音量を調整する。（初期値：レベル6）

操作音：
ボタンやタッチキーを操作したときに、ビープ音を鳴らすかどうかを選択する。（初期値：ON）

※1「ルートガイドの設定」と連動しています。→ P.153

※2 電話設定画面の「音量調整」と連動しています。→ P.96

— MEMO —
- イージーセットアップからも設定できます。→ P.164

ユーザーを切り替える

各種設定を4ユーザー分保存できます。ユーザーを切り替えることで、それぞれが保存した設定で本機を使用できます。（初期値：オーナー）

1 メニュー ▶ 設定

2 ユーザーカスタマイズ

3 **ユーザーを選択**

4 ユーザー切替

アイコン変更：
地図画面に表示されるアイコンを設定する。ほかのユーザーが使用しているアイコンは選択できません。

各種設定

お知らせ

- ユーザー切替 は、以下の場合はタッチできません。
  - 設定中のユーザーの場合
  - ラジオの状態がオートプリセット中、または ⏮ 、⏭ 長押し（MC314D-A）、TRACK/SEEKキーを回したままにする（MC314D-W）ことによる選局中の場合

ユーザーごとに保存される項目は、以下のとおりです。

- ●地図画面の表示設定→ P.24、P.27、P.32
- ●現在地名称プレートの表示設定→ P.161
- ●コントロールバーの表示設定→ P.161
- ●交通事故多発地点の情報表示設定→ P.153
- ●スクロール地点の情報表示設定→ P.161
- ●言語選択設定→ P.162
- ●文字入力方式→ P.13
- ●音量設定→ P.169
- ●オプションボタンの割り付け設定→ P.172
- ●時計表示設定→ P.13
- ●目的地履歴→ P.45
- ●ラジオのプリセットチャンネルリスト→ P.116

SDカードのデータを編集する

操作はSDカードを本機に挿入した状態で行います。

お願い

- 操作中は電源を切らないでください。
- SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、1グループにつき450件、最大10グループ4500件です。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. 登録地点の保存
4. 登録地点を選択 ▶ 決定
5. グループを選択 ▶ はい

MEMO

- 登録地点の書き出しは保存データとして保存されます。

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を、本機の登録リストに取り込めます。（最大400件）

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. 保存データの取り込み
4. グループを選択
5. 登録地点を選択 ▶ 決定

登録地点のグループ名を変更する

SDカード内の登録地点グループの名称を変更できます。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. SDメモリカード内グループフォルダ名の編集
4. グループを選択
5. 名称を入力 ▶ 決定

登録地点を消去する

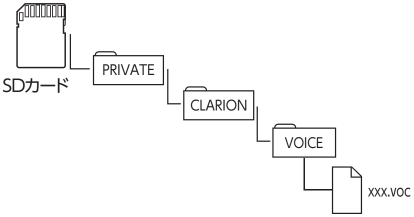
SDカード内の登録地点を消去できます。

1. メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2. 登録地点
3. SDメモリーカード内保存データの消去
4. 登録地点が所属するグループを選択
5. 登録地点を選択 ▶ 決定
6. はい

ダウンロードボイスデータの取り込み

SDカード内のダウンロードボイスデータを取り込めます。（最大2つ）取り込んだダウンロードボイスデータは本機で使用できます。→ P.155
新しいダウンロードボイスデータは、以下のeショップ・サイトから購入し、ダウンロードできます。
http://ec.clarion.com/downloadvoice/ns

ダウンロードボイスデータを取り込むには、以下のフォルダ構成でファイルが保存されている必要があります。



1 メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード

2 バラエティボイスの取り込み

3 ボイスを選択 ▶ 決定

お知らせ

- すでに取り込んだダウンロードボイスデータは上書きされません。

TVサーチ情報の取り込み

SDカードとパソコンを使用してTVサーチ情報を更新できます。

準備

以下が必要です。
●インターネットに接続できるパソコン
●PC用アプリケーション「Smart Access Updater」→ P.194

お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TVの情報から探す」機能が正しく動作しなくなるおそれがあります。→ P.44

1 **「Smart Access Updater」のTV情報機能を使用し、SDカードへTVサーチ情報を保存**
（TV情報画面上のヘルプボタンをクリックすると、TV情報機能の取扱説明書を参照できます。）

2 メニュー ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード

3 TVサーチ情報の更新 ▶ はい
本機のTVサーチ情報が更新されます。

お知らせ

- TVサーチ情報は最長で過去3年分を収録しています。データを更新すると、古いデータは消去され、過去3年以内の情報のみになります。消去したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

OPTIONボタンの操作方法

別売のサイドブラインドモニター、フロントサイドビューモニター、アラウンドビューモニターを接続していないとき、 によく使う機能を割り付けられます。 を押すと、設定の変更や切り替えをすばやく行えます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

— お知らせ

• 別売のカメラを接続しているときは、 に機能を割り付けることができません。

1 **を長押し**

はじめて操作するときは、 を短く押してもOPTIONボタン割り付け画面を表示できます。

2 **割り付けたい機能を選択**

選択した機能が に割り付けられます。

目的地自宅設定：
自宅を目的地として設定する。
あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。→ P.18

オーディオ音量ミュート：
オーディオ音量ミュートのON/OFFを切り替える。

AVソース選択（MC314D-Aのみ）：
押すたびに、オーディオのソースを切り替える。→ P.113

リダイヤル：
最後に発信した電話番号に電話をかける。

エコ運転診断表示：
「エコ表示設定」がONのとき、エコ運転診断モード画面を表示する。→ P.79

次回から を押すと、割り付けた機能が実行されます。

— MEMO

• イージーセットアップからも設定できます。→ P.164

便利な機能（アクセサリー）を使う

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明しています。

通信アダプタを利用する（別売）………… 174
リモコンを使う（別売）…………………… 175
リモコン操作時のご注意………………………… 175
電池に関するご注意……………………………… 175
電池を交換する…………………………………… 175
リモコンの使いかた……………………………… 176
リモコンボタンの名称とはたらき……………… 177
ステアリングリモコン搭載車……………… 178
ボタンの名称とはたらき………………………… 178
接続したビデオを見る（別売）…………… 179
VTR機器を接続する ……………………………… 179
VTR画面のサイズを切り替える ……………… 179
VTRの画質を調整する …………………………… 180
後席テレビを使う（別売）………………… 181
後席テレビに表示できる映像…………………… 181
カメラを使う（別売）……………………… 181
バックビューモニターを使う（別売）………… 181
バックビューモニターの映像について………… 181
バックビューモニターの映像を表示する……… 182
モニターの画質を調整する
（バックビューモニター）……………………… 182
ガイドラインの表示を切り替える……………… 183
サイドブラインドモニターを使う（別売）……… 183
サイドブラインドモニターの映像を表示する…… 183
モニターの画質を調整する
（サイドブラインドモニター）…………………… 184
ガイドラインの表示を切り替える………………… 184
フロントサイドビューモニターを使う（別売）… 184
フロントサイドビューモニターの映像を表示する
……………………………………………………… 185
フロントサイドビューモニターの
表示モードを切り替える………………………… 185
モニターの画質を調整する
（フロントサイドビューモニター）……………… 185
カメラ地点を登録する…………………………… 186
アラウンドビューモニター搭載車……………… 187
モニターの画質を調整する
（アラウンドビューモニター）…………………… 187
外部機器の音声を聴く(別売)(MC314D-Wのみ)
…………………………………………………… 188
AUX端子に外部機器を接続する ………………… 188
NaviConアプリケーションを利用する … 189
NaviConで目的地を設定する …………………… 189

通信アダプタを利用する（別売）

別売の通信アダプタを利用すれば、Bluetooth対応携帯電話を接続しないで以下の機能がご利用になれます。

●交通情報のダウンロード
●最速ルート探索
●カーウイングス

通信アダプタを本機に接続しエンジンを始動すると、自動的にカーウイングス情報センターに接続され情報が提供されます。（マイカーお知らせメール自動取得→ P.108）また、自動接続時、情報がない場合もあります。オペレータとの電話接続時のみ、Bluetooth対応携帯電話の接続が必要となります。→ P.88

通信アダプタのご利用については、日産販売会社（ディーラー）にお問い合わせください。

— お知らせ

- 通信アダプタを使用するには、通信アダプタ設定をONにしてください。→ P.108
- 通信アダプタ設定をONにすると、機器登録のデータ通信（パケット通信）は設定できません。→ P.88

通信アダプタを使用してオンライン接続した場合、以下の機能が変更になります。

●通信接続中は、本機の各種画面上部に通信アダプタ接続アイコン (icon) が表示されます。

通信アダプタ設定をONにすると、以下の設定値が変更になります。

● 誘導開始時に取得 が自動的にONになります。→ P.110、P.157
● 誘導中の自動取得間隔 が、自動的に「10分毎」に設定されます。→ P.110、P.157

●通信アダプタ使用時のマルチポイント接続については、通信アダプタによるデータ通信とBluetooth対応携帯電話による音声通信の使い分けが可能です。

リモコンを使う（別売）

リモコン操作時のご注意

●本機のリモコン受信部に直射日光を当てない。
操作ができない場合があります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。
●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しない。
本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。
●以下の場合はリモコンの電池を交換する。
- リモコンの発信距離が短くなった。
- リモコンの操作可能範囲が狭くなった。

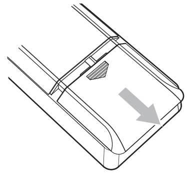
●リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出す。
液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

電池に関するご注意

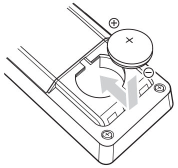
●指定された電池以外は使用しない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。
●リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる。
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
●加熱・分解したり、火・水の中に入れない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
●金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯、または保管しない。
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
●使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する。
●リモコンに付属の電池は、乳幼児の手の届くところに置かない。
誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電池を交換する

1　電池カバーを開け、電池を取り出す



2　新しいリチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める

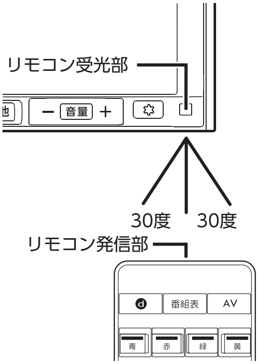


お願い
- はじめてリモコンを使用するときは、付属の電池を入れてください。

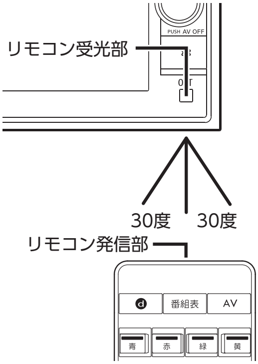
リモコンの使いかた

1 **本機のリモコン受光部に向けて操作する**

MC314D-A



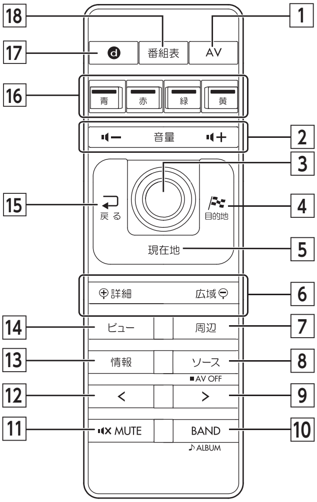
MC314D-W



リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

— MEMO —
- 本機をリモコンで操作すると、選択された項目がハイライト表示になります。このとき自動的に「カーソル表示」設定がONに切り替わります。→ P.162

リモコンボタンの名称とはたらき



1 AV ボタン
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

2 音量 ＋ ボタン／音量 － ボタン
音量を調整します。

3 ジョイスティック 実行 ボタン
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。
DVDビデオモードのときは、上下左右いずれかの方向に操作すると、ディスクメニューを表示します。

4 目的地 ボタン
行き先を設定するための目的地メニューを表示します。

5 現在地 ボタン
現在地地図画面を表示します。

6 詳細 ボタン／ 広域 ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。長押しすると拡大／縮小を細かく切り替えられます。（フリースケール）
（ページ送りには対応していません。）

7 周辺 ボタン
周辺検索メニューを表示します。

8 ソース ボタン
オーディオモードのソースを切り替えます。
長押しするとオーディオをOFFにします。

9 > ボタン
テレビ／ラジオの場合：
　プリセットチャンネルアップ
　長押し時：
　チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックアップ
　長押し時：
　トラックの早送り

10 BAND ボタン
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。以下のソースではフォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。
CD、SDカード、USBメモリー、ウォークマン（ストレージモード）

11 MUTE ボタン
消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

12 < ボタン
テレビ／ラジオの場合：
　プリセットチャンネルダウン
　長押し時：
　チャンネルのシークダウン
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックダウン
　長押し時：
　トラックの早戻し

13 情報 ボタン
VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

14 ビュー ボタン
地図表示変更メニューを表示します。

15 戻る ボタン
前の画面に戻ります。

16 カラーボタン
地上デジタルTV放送のカラーキーを操作します。

17 d ボタン
地上デジタルTV放送のデータ放送を受信します。長押しすると、データ放送操作キー呼び出し画面を表示します。

18 番組表 ボタン
EPG（電子番組ガイド）を表示します。

※1 DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。また、VTR/AUX（MC314D-Wのみ）選択時には操作無効となります。

ステアリングリモコン搭載車

ステアリングリモコンはハンドルの左側にあります。本機でオーディオを使用しているときに、手元でオーディオを操作できます。

— お願い

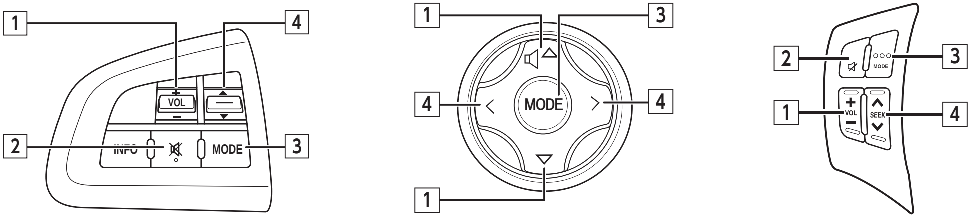
• 走行中はお車の純正ステアリングリモコン以外操作しないでください。

— お知らせ

• 本機の電源が入っていない場合は、各スイッチを操作することができません。

ボタンの名称とはたらき

※イラストは一例です。
車種によって操作できない機能があります。



1 **音量調節ボタン**

音量を調節します。大きくするときは上側（+）、小さくするときは下側（−）を押します。また、ボタンを長押しすると連続調整ができます。

2 **MUTEボタン**

消音します。もう一度ボタンを押すと元に戻ります。

3 **MODEボタン**

オーディオソースを以下の順に切り替えます。
FM/AM※1 → SDメモリーカード → Bluetoothオーディオ → AUX※2 → CD/DVD → TV → VTR → USB/iPod/ウォークマン → FM/AM

※1 FM/AMの切り替えはできません。
※2 MC314D-Wのみ

— お知らせ

• モードの切り替え中、次のソースをONできない場合は、スキップしてその次のソースになります。（例：CD/DVDが挿入されていない、USB/iPodが接続されていないなど）ただしBluetoothオーディオ、AUXおよびVTRは、機器未接続でもスキップされません。

— MEMO

• 本機が「オーディオOFF」のときにMODEボタンを押すと、「オーディオON」にできます。
• MODEボタンを長押しすると、オーディオOFFになります。

4 **UP/DOWNボタン**

ラジオやテレビを視聴しているときは、プリセットチャンネルから選局できます。ボタンを押すごとに順次記憶された放送局に切り替わります。
また、長押しすると、自動選局をはじめます。放送を受信すると止まります。
その他のオーディオを使用しているときは、トラック／チャプターの頭出しができます。
次のトラック／チャプターの頭に進めたいときはUPボタンを押します。今聴いているトラック／チャプターの頭に戻したいときはDOWNボタンを押します。
長押しすると、早戻し／早送りができます。

接続したビデオを見る（別売）

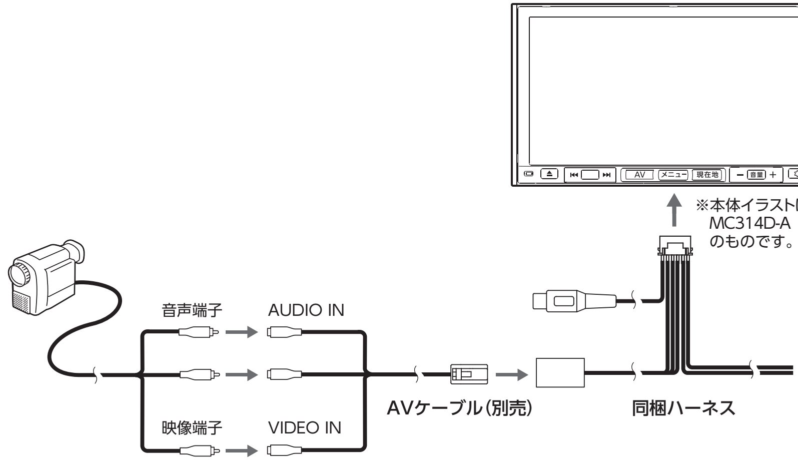
別売のAVケーブル接続時のみVTR機器の視聴ができます。

⚠ 警告

- **運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見られます。走行中は、音声だけ聴けます。**

⚠ 注意

- **接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**



VTR機器を接続する

1 別売のAVケーブルで、本機とお手持ちのVTR機器を接続する

— お願い —
- オーディオ・ビジュアル映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。

— MEMO —
- 接続したVTR機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 ソース選択画面で VTR

3 VTR機器を操作する

VTR映像が再生されます。

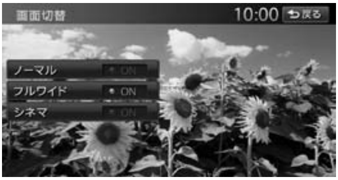
VTR画面のサイズを切り替える

— MEMO —
- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

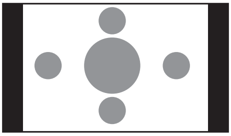
1 ソース選択画面で VTR

2 画面をタッチ ▶ 画面切替

3 画面の表示サイズを選択

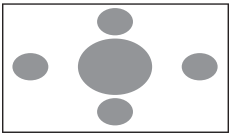


ノーマル：



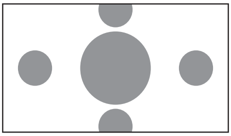
映像を縦横の比率を変えずに中央に表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



映像を画面いっぱいに表示する。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

シネマ：



通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使う。
映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4 戻る

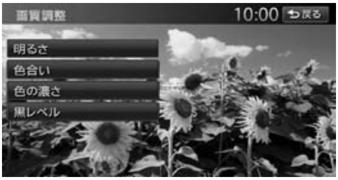
選択したサイズで画面が表示されます。

VTRの画質を調整する

1 ソース選択画面で VTR

2 画面をタッチ ▶ 画質調整

3 調整する項目を選択



4 ＋ **または** －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO —

• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

後席テレビを使う（別売）

車の後席に別売の後席テレビを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

準 備

●後席テレビを本機に接続するには、後席テレビと後席テレビ取付アタッチメントが必要です。

お願い

- 後席テレビは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

後席テレビに表示できる映像

後席テレビに表示できる映像は、以下のとおりです。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

●DVDビデオ、DVD-VR
●テレビ
●VTR
●iPodビデオ

お知らせ

- 後席テレビにコントロールバーなどは表示されません。
- DVD、テレビ、VTR、iPodビデオ以外のソースを選択しても、後席テレビには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、後席テレビには、再生中の映像が表示されます。
- ハンズフリー電話を使用中は、映像が表示されません。

カメラを使う（別売）

バックビューモニターを使う（別売）

別売のバックビューモニターを接続すると、車の後方をモニターで見られます。別売のバックビューモニターは、日産販売会社（ディーラー）にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠注意

- **バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。また、バックビューモニターの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります（ガイドは直線となります）。**
- **ガイドを表示する場合は、必ずお乗りのお車に合わせたガイドの調整を行ってください。**
- **バックビューモニターの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

バックビューモニターの映像について

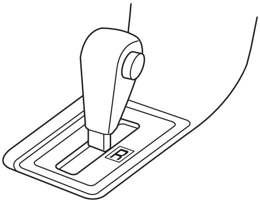
●カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
●バックビューモニターの映像は鏡像です。鏡像とは、車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
●夜間、または暗所ではバックビューモニターの映像が見えない、または見にくいことがあります。
●カメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
●カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。

●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

バックビューモニターの映像を表示する

1 エンジンを始動する

2 セレクトレバーを [R]（リバース）にする



バックビューモニターの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、バックビューモニターの映像が優先して表示されます。

— MEMO

- カメラ表示中に操作できるボタンは以下のとおりです。
  - 操作パネルの [⏮]、[⏭]、[+]、[−]、[⏏]、ロータリボリュームキー、TRACK/SEEKキー
  - リモコンの上記同機能ボタン
- セレクトレバーを [R]（リバース）にしているときのみ、ガイドの表示および調整ができます。
- 別売のサイドブラインドモニター、またはフロントサイドビューモニターを同時に接続できます。

モニターの画質を調整する（バックビューモニター）

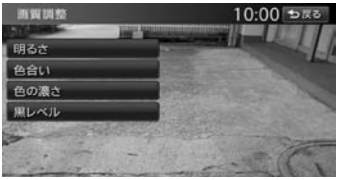
1 バックビューモニター映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整

— MEMO

- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 調整する項目を選択



4 + または −

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

ガイドラインの表示を切り替える

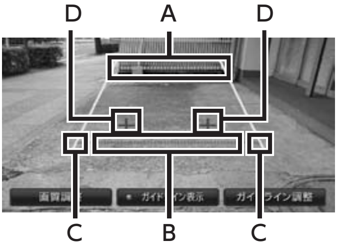
1 **バックビューモニター映像表示中に画面をタッチ**

2 ガイドライン表示

ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。

— MEMO

- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、ガイドライン表示 は非表示になります。



A：車両後端から約2mの位置を示します。
B：車両後端から約50cmの位置を示します。
C：車幅＋約25cmの目安を示します。
D：バックドア開閉位置の目安を示します。

サイドブラインドモニターを使う（別売）

サイドビューカメラを接続すると、車の前方やコーナーをモニターで見られます。

⚠ 警告

- **モニター画面だけを見ながら車を運転することは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠ 注意

- **サイドブラインドモニターの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**
- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整をするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し､ゆっくりとした速度（徐行）で運転してください。**

サイドブラインドモニターの映像を表示する

1

サイドブラインドモニターの映像が表示されます。

— MEMO

- 映像が表示されてから3分が過ぎると、前の画面に戻ります。

モニターの画質を調整する（サイドブラインドモニター）

1 **サイドブラインドモニター映像表示中に画面をタッチ**

2 画質調整

— MEMO

• 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 **調整する項目を選択**

4 ＋ **または** −

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

ガイドラインの表示を切り替える

1 **サイドブラインドモニターの映像表示中に画面をタッチ**

2 ガイドライン表示

ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。

— MEMO

• 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、ガイドライン表示 は非表示になります。

フロントサイドビューモニターを使う（別売）

フロントサイドビューモニターは、以下の操作で表示できます。

●エンジンのかかっている状態で停車または低速走行時にフロントカメラ切替スイッチを押す

※フロントカメラ切替スイッチ非搭載車の場合は ✲ を押す

車の前方の両側をモニターで確認できます。
詳しくは、フロントサイドビューモニターに付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

• **フロントサイドビューモニターは、障害物などの確認を補助するシステムです。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度（徐行）で運転してください。**

⚠ 注意

• **フロントサイドビューモニターの映像は、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なる場合があります。**
• **カメラ部は精密機械のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。**

— お願い —

• カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、フロントサイドビューモニターの映りが悪くなります。ぬれたやわらかい布で汚れを拭き取った後、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
• カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

フロントサイドビューモニターの映像を表示する

1 停車時、または低速走行時に

（フロントカメラ切替スイッチ搭載車の場合）
フロントカメラ切替スイッチ（フロントカメラコントローラに付属）を押す

（フロントカメラ切替スイッチ非搭載車の場合）
[✿]

フロントサイドビューモニターの映像が表示されます。

— お知らせ —

• セレクトレバーが [R] のときは、フロントカメラ切替スイッチ、または [✿] を押してもフロントサイドビューモニターには切り替わりません。
• 画面をフロントサイドビューモニターの映像に切り替えても、テレビなどの音声は聞こえます。
• フロントサイドビューモニター使用時は、一部を除き、ほかの画面には切り替わりません。

— MEMO —

• 車両の状態によりフロントサイドビューモニターの映像が映らなかったり、ほかの画面が表示されることがあります。
• [現在地] を押すと、フロントサイドビューモニターの映像表示を終了します。

フロントサイドビューモニターの表示モードを切り替える

1 フロントサイドビューモニターの映像表示中に画面をタッチ

2 表示モードを選択

ワイド：
車両の前方を広く表示する。

左右：
画面を2分割し、車両の右前方と左前方をそれぞれ表示する。

トップ：
車両のすぐ前方を、上から見たような映像で表示する。

モニターの画質を調整する（フロントサイドビューモニター）

1 フロントサイドビューモニターの映像表示中に画面をタッチ

2 [画質調整]

— MEMO —

• 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、[画質調整] は非表示になります。

3 調整する項目を選択

4 [＋] または [－]

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 [戻る]

調整した画質に設定されます。

— MEMO —

• 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

カメラ地点を登録する

自車位置などをカメラ地点として登録し、登録したカメラ地点に近づいたときに映像表示できます。
フロントサイドビューモニター接続時、車が登録地から半径30m以内に入り、車速が13km/h以下になると、自動的にフロントサイドビューモニターに切り替わります。
以下の条件のいずれかを満たした場合は、フロントサイドビューモニターから現在地画面に切り替わります。

- ●登録地から半径100m以上離れた場合
- ●車速が15km/h以上になった場合

■ フロントサイドビューモニターの映像から登録する

1 フロントサイドビューモニターの映像表示中に 地点登録

自車位置がカメラ地点として登録されます。

■ 地図画面から登録する

現在地メニューをタッチしたときやスクロール後の地点を、カメラ地点として登録できます。

1 現在地メニュー 、または 地図画面をスクロールして 決定

2 カメラ地点登録

現在地地図の場合

スクロール先地図の場合

目的地がカメラ地点として登録されます。
カメラ地点として登録される場所は、以下のとおりです。

- 現在地メニューから登録した場合：
  自車位置
- スクロール先メニューから登録した場合：
  スクロール先地点

■ 登録地メニューから登録する

— お知らせ —

- 自宅はカメラ地点として登録できません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 登録地点を選択

4 編集

5 アイコン

6

登録地がカメラ地点として登録されます。
カメラ地点へ近づくと、フロントサイドビューモニターに切り替わります。

■ カメラ地点への進入方向を設定する

カメラ切換方向を設定し、カメラ地点への進入方向を設定できます。

— お知らせ

- カメラ地点として未登録の場所は、進入方向を設定できません。

1 メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地

3 **登録地点を選択**

4 編集

5 カメラ切換方向

6 ⤹ **または** ⤸ ▶ 決定

進入方向が決定され、カメラ切換方向 が「指定済」に変わります。

アラウンドビューモニター搭載車

アラウンドビューモニター搭載車では、[⚙] を押すとアラウンドビューモニター画面を表示できます。ソナー付きアラウンドビューモニター装着車の場合、長押しすることでソナーのON/OFFを切り替えられます。

— MEMO

- アラウンドビューモニターの注意事項については、車両の取扱説明書をお読みください。

モニターの画質を調整する（アラウンドビューモニター）

1 **アラウンドビューモニターの映像表示中に画面をタッチ**

2 画質調整

— MEMO

- 何も操作しないまま約5秒が過ぎると、画質調整 は非表示になります。

3 **調整する項目を選択**

4 ＋ **または** －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

— MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

外部機器の音声を聴く(別売)(MC314D-Wのみ)

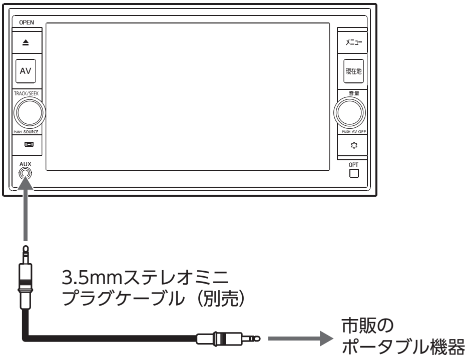
オーディオのモードをAUXに切り替えると、AUX端子に接続された外部機器からの音声を本機で再生できます。

準 備

●本機に外部機器を接続するには、別売の3.5mmステレオミニプラグケーブル（抵抗なし）が必要です。

— お願い —

- 接続する外部機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。



AUX端子に外部機器を接続する

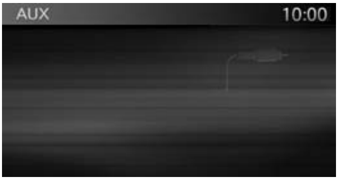
1 **別売のステレオミニプラグケーブル（抵抗なし）で、本機とお手持ちの外部機器を接続する**

— MEMO —

- 接続した外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 **ソース選択画面で AUX**

接続した機器の音声が再生されます。



— MEMO —

- AUX（外部入力接続）端子について
  - ステレオミニプラグ（3.5φ）が接続できます。オーディオケーブル（抵抗なし）、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
  - 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、雑音が出ることがあります。

NaviConアプリケーションを利用する

スマートフォンのNaviConアプリケーションを使用して、地図の操作や、目的地の設定ができます。
NaviConの詳細については、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。**

準備

●NaviConをお手持ちのスマートフォンにインストールします。

お知らせ

- 本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

NaviConで目的地を設定する

NaviConで登録した地点を本機に送信して目的地に設定できます。

1 **(Dockコネクタ搭載のiPhoneの場合)**
別売のAV＆iPod接続ケーブルを使用し、iPhoneを本機に接続する
(Lightningコネクタ搭載のiPhoneの場合)
iPhoneに付属のケーブルを使用し、iPhoneを本機に接続する
(Android搭載機の場合)
スマートフォンを本機にBluetooth接続する

2 **スマートフォンからNaviConを起動する**

3 **NaviConから本機に地点情報を転送する**

転送された地点が本機に表示されます。
転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

4 **行き先に設定してルート探索する**
→ P.38

MEMO

- NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。
また、NaviCon側で地図を拡大／縮小すると、本機の地図も拡大／縮小されます。その場合、NaviCon側のスケールと本機のスケールは一致しない場合があります。また、本機の市街地図のスケールは表示されません。

Memo

ナビゲーションを更新する

最新のプログラム／地図データを取り込んで、本機のソフトウェア／地図データを最新版に更新できます。

プログラムを更新する………………………… 192
地図データを更新する………………………… 192
地図の更新方法について……………………………… 192
地図更新期間を確認する……………………………… 193
ホリデイ・スポット更新を行うには……………… 194
ホリデイ・スポット更新に必要なもの…………… 194
Smart Access Updaterについて ……………… 194
パソコンの推奨環境…………………………………… 195
更新方法の手順………………………………… 196
プログラム更新／ホリデイ・スポット更新の場合
……………………………………………………… 196

ナビゲーションを更新する

プログラムを更新する

最新のプログラムをダウンロードして、本機のソフトウェアを更新できます。
お手持ちのパソコンにてプログラムをダウンロードしてください。
ダウンロードは、本機の地図SDカードに対して実行します。→ P.196

— お知らせ

• プログラム更新中は、本機の機能をご使用になれません。また、本機の電源を切らないでください。

地図データを更新する

地図の更新方法について

地図更新には無料更新と有料更新があります。本機のご購入から3年間は、無料で地図更新ができますのでご利用ください。

— MEMO

• 地図更新の方法や具体的な日程については、以下の日産自動車ホームページ、および商品カタログもあわせてご確認ください。
http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVI_AUDIO/NAVI/MAPSOFT/

■ 無料更新

全更新	本機の地図データが無料で全更新可能です。ナビゲーションご購入から3年以内の日産販売会社（ディーラー）での有料点検入庫時に限り1回だけご利用になれます。 有料点検入庫：12ヶ月、24ヶ月法定点検、3年目車検 ※日産販売会社（ディーラー）にて地図SDカードの地図データを書き換える方式となります。 ※取扱説明書巻頭の全国地図更新無料クーポン券を使用します。無料クーポン券は紛失後の再発行は行いません。大切に保管してください。 ※毎年7月頃から新年度地図がご利用になれます。
ホリデイ・スポット更新	ナビゲーションご購入から3年以内であれば、何回でも地図の部分更新が可能です。 ※更新処理はお客様所有のパソコンでインターネットに接続して行います。 ※全国の主要道路の更新ができます。 ※市街地図は更新されません。 ※2ヶ月ごとに最新のデータが配信されます。 ※施設情報の一部は4ヶ月ごとに更新されます。

■ 有料更新

有料で地図更新を行えます。詳しくは最寄りの日産販売会社（ディーラー）へお問い合わせください。

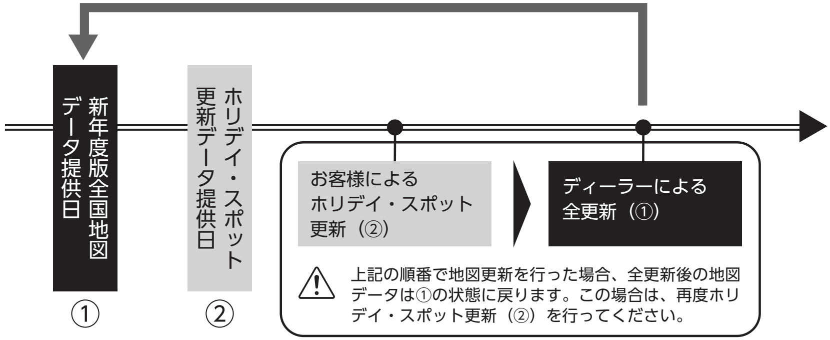
お得クーポン	日産販売会社（ディーラー）にて、新車と同時にナビゲーションを購入したとき、または有料入庫時に購入可能なお得クーポンを購入すると、2回目車検までに地図データの全更新1回とホリデイ・スポット更新を何度でもご利用になれます。 全更新の処理は、日産販売会社（ディーラー）で行います。
地図SDカード購入	日産販売会社（ディーラー）にていつでも購入可能な地図SDカードにより全更新が可能です。更新処理はお客様自身で行います。

ホリデイ･スポット更新の配信時期、および各データの取得日は以下のとおりです。出荷時の収録データにつきましては、「収録データベースについて」をご覧ください。→ P.218

		配信されるデータ		
配信時期		高速・有料道路	一般道路	地点・検索データ
8月	ホリデイ更新	同年7月時点	同年4月時点	同年4月時点
10月	スポット更新	同年9月時点	同年6月時点	同年6月時点
12月	ホリデイ更新	同年11月時点	同年8月時点	同年8月時点
2月	スポット更新	同年1月時点	前年10月時点	前年10月時点
4月	ホリデイ更新	同年3月時点	前年12月時点	前年12月時点
6月	スポット更新	同年5月時点	同年2月時点	同年2月時点

— MEMO

- ホリデイ・スポット更新の状況によっては、全更新の際、一部情報が古くなる可能性があります。（再度ホリデイ・スポット更新をしていただければ問題ありません）



- 全更新を行わず、ホリデイ・スポット更新のみを行った場合には、通常地図と市街地図の間で、地名や施設、道路等の表示に差が生じる場合があります。

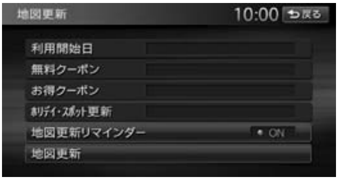
地図更新期間を確認する

地図更新を実行する前に、以下の操作を行って本機の地図データが更新可能かどうかを確認してください。

1 メニュー ▶ 情報 ▶ 本体情報 地図更新

2 地図更新

3 地図データの更新状況を確認



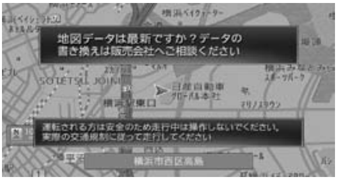
利用開始日：
本機をお買い上げ後、ご利用開始日として登録した日付を表示する。

無料クーポン：
無料全更新を実行した年月日が表示される。「初回車検日まで有効」と表示される場合は、本取扱説明書巻頭の「地図データ無料クーポン券」を使用して無料地図更新が行えます。

お得クーポン：
お得クーポンを購入した場合の、有料地図更新の実行可能な期限が表示される。クーポン未購入の場合は、「未購入」と表示されます。また、クーポン購入（インストールキー入力）済みで全更新していない場合は、「2回目車検日まで有効」と表示されます。全更新を行った場合は、更新を実行した年月日が表示されます。

ホリデイ・スポット更新：
ホリデイ・スポット更新の実行可能な期限を表示する。

地図更新リマインダー：
ONにすると、以下の条件を満たしている場合、本機起動時に地図更新の通知を行う。
・日産販売会社（ディーラー）での無料全更新を行っていない
・2015年以降2018年までの期間で、各年8月1日以降の初回起動時



地図更新：
地図SDカードを購入し、全更新するときに使用する。

ホリデイ・スポット更新を行うには

ホリデイ・スポット更新を行う場合は、本機の地図SDカード挿入口内の地図SDカードを更新します。お手持ちのパソコンを使って、お客様自身で地図更新を行います。→ P.196

ホリデイ・スポット更新に必要なもの

- ●パソコン本体
- ●本機の地図SDカード挿入口に挿入されている地図SDカード→ P.9
- ●PC用アプリケーション「Smart Access Updater」

準 備

- ●SDカードを読み書きできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。

お願い

• 必ず本機に挿入されている地図SDカードを使用してください。市販のSDカードでは動作しません。

Smart Access Updaterについて

本機のデータを更新する際には、PC用アプリケーション「Smart Access Updater」が必要です。
「Smart Access Updater」は、以下のWebサイトからダウンロードできます。

http://www.clarion.com/jp/ja/support/product_manuals/2012/nissan/navi/index.html

※Web サイトのアドレスは、都合により変更させていただく場合があります。その場合は、日産自動車ホームページをご確認ください。

「Smart Access Updater」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

パソコンの推奨環境

最新の推奨環境は、「Smart Access Updater」のWebサイトをご確認ください。

●OS
- **Microsoft® Windows® XP**
  - Home Edition
  - Professional
    (SP3 以上、32bit 日本語版)
- **Microsoft Windows Vista®**
  - Home Basic
  - Home Premium
  - Business
  - Ultimate
    (SP2 以上、32bit 日本語版)
- **Microsoft Windows 7**
  - Home Premium
  - Professional
  - Ultimate
    (SP1 以上、32bit /64bit 日本語版)
    ※64bit版は32bit互換モード(WOW64)で動作します。
- **Microsoft Windows 8/8.1**
  - 8 (32bit / 64bit 日本語版)
  - 8 Pro (32bit / 64bit 日本語版)
  - 8 Enterprise (32bit / 64bit 日本語版)
  - 8.1 (32bit / 64bit 日本語版)
  - 8.1 Pro (32bit / 64bit 日本語版)
  - 8.1 Enterprise (32bit / 64bit 日本語版)
    ※64bit版は32bit互換モード(WOW64)で動作します。

●CPU
- Microsoft Windows XP/Vista
  Intel Pentium/Celeron 1.0GHz 以上を推奨
- Microsoft Windows 7/8/8.1
  Intel Pentium/Celeron 2.0GHz 以上を推奨

●メモリー
- Microsoft Windows XP
  512MB 以上を推奨
- Microsoft Windows Vista
  1GB 以上を推奨
- Microsoft Windows 7/8/8.1
  2GB 以上を推奨

以降、全OS共通となります。

●ハードディスク
- 最低 100MB 以上の空き容量(地図データ更新/プログラム更新を行わない場合)
- 最低 8GB 以上の空き容量(プログラム更新を行う場合)
- 最低 25GB 以上の空き容量(地図データ更新およびプログラム更新を行う場合)

●インターネット接続環境
ADSL・光ファイバー等の高速接続環境を推奨

●ディスプレイ
解像度 1024×768 ピクセル／表示色24ビットカラー以上を推奨

●SDカード
- 最低 16MB 以上のメディアおよび十分な空き容量（TV情報以外）
- 最低 32MB 以上のメディアおよび十分な空き容量（TV情報）
- 地図データ更新およびプログラム更新は地図SDカードのみ使用可能です。

●その他
- PC用アプリケーションのダウンロードおよび使用にはインターネット接続が必要です。
- PC用アプリケーションのインストールおよび使用にはシステム管理者(Administrator)権限が必要です。
- SDカードを読み書きできるパソコン環境が必要です。お使いのパソコンがSDカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。地図データ更新およびプログラム更新の場合はSDHC対応カードリーダーが必要です。

更新方法の手順

プログラム更新／ホリデイ・スポット更新の場合

準備

●PC用アプリケーション「Smart Access Updater」をお使いのパソコンにインストールします。→ P.194

お願い

- インターネット使用料金はお客さまのご負担となります。

お知らせ

- 地図SDカードを本機から抜いた状態では、本機の機能をご使用になれません。
- データ更新中は、本機の機能をご使用になれません。また、本機の電源を切らないでください。

MEMO

- データのダウンロード時間や更新処理時間は、お客様のインターネット回線やパソコンによって異なります。

1 ⏏

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 パネル開／閉

操作パネルが開きます。

3 **エンジンを切る**

4 **地図SDカード挿入口のフタ（「MAP DATA」のフタ）を開ける**

5 **地図SDカードを取り出し、パソコンにセット**

⚠ 注意

- **地図SDカードをパソコンの内蔵SDスロットに接続する場合、パソコンによっては「ディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」と表示されることがあります。その場合は必ず「いいえ」を選択し、フォーマットしないでください。**

6 **Smart Access Updaterを起動**

画面の指示にしたがって処理を進めます。

7 **地図SDカードを本機の地図SDカード挿入口に差し込み、「MAP DATA」のフタを閉じる**

MEMO

- 「MAP DATA」のフタが正しく閉じられているか再度確認してください。

8 **エンジンを始動する**

9 パネル開／閉

操作パネルが閉じます。

プログラム更新の場合は、本機が起動して、しばらくすると更新がはじまります。ホリデイ・スポット更新の場合、本機が起動したら処理は終了です。手順10を行う必要はありません。

10 **更新終了後、エンジンを切り、再度始動する**

困ったときに…

ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら…… 198
自車位置のずれを修正するには…… 198
3Dセンサーによる上下道路判定について …… 198
自車位置の精度について…… 198
故障かなと思ったら…… 199
ナビゲーション関連…… 199
オーディオ関連…… 201
電話…… 205
カーウイングス…… 206
バックビューモニター…… 206
サイドブラインドモニター…… 207
フロントサイドビューモニター…… 207
アラウンドビューモニター…… 208
その他…… 208
よくある質問について…… 210
ナビゲーション編…… 210
オーディオ編…… 212
その他編…… 213

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。（距離係数／学習機能）そのため、ある程度の走行データが必要です。
走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセットの操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じます。→ P.198
GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間での学習が可能です。

GPSが受信できる、下記のような道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

●上空に障害物がない道
●周辺に高いビルがない道

3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。

●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

自車位置の精度について

●はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったとき、または通常使用中等に、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。
●GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。
その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

以下のような走行環境やGPS衛星の状態により、自車位置を正しく表示しない場合があります。
●Y字路のように徐々に開いていく道路を走行している。
●ループ橋など、連続して大きく旋回する道路を走行している。
●直線および緩やかなカーブを長距離走行している。
●峠道など、つづら折れの道路を走行している。
●碁盤目状道路を走行している。
●高速道と側道のように、近接した似た方位の道路を走行している。
●駐車場や新設道路など地図上にない道路や、実際の道路形状と異なる道路を走行している。
●エンジンのかかっていない状態でターンテーブルで旋回したり、フェリー・車両運搬車などでの移動後。
●雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路を走行している。
●坂道での車庫入れやバンクした道路を走行している。
●タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をした後。
●長時間連続で走行している。
●ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
●自車位置の移動時に車両の方位が合っていない。

10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、以下の操作をしてください。

1. **「現在地修正」** → P.161
2. **「センサーの学習リセット」** → P.161
3. **「自車位置のずれを修正するには」** → P.198

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症状		原因	処置
表示関連	GPS受信の表示が出ない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。
		障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なGPS衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	画面が表示されない。	画面消しの状態になっている。	メニュー や 現在地 を押すと解除されます。→ P.13
		ヒューズが切れている。	お買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
	地図画面に表示されるアイコンをOFFまたは削除したい。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	↓が付いているアイコンは検索アイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.153
		が表示される。	表示は交通事故多発地点のアイコンです。表示をOFFにしてください。→ P.153
	電源投入後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶の特性上、輝度が低い場合がある。	液晶の特性によるもので、故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
	地図スクロールが遅い。目的地までのルート表示が遅い。	動画再生を行っている場合、表示が遅くなる場合がある。	動画再生を終了してください。
	マルチメーターの情報が実際の走行状態と異なる。	GPS情報を使用して算出しているため、実際の走行状態と異なる値になる場合がある。	故障ではありません。表示された情報をリセットしてください。→ P.23
ルート案内音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	音量を調整してください。→ P.169
	音声案内が出ない。	音声案内が、正しく設定されていない。	ガイド・メッセージ音声を「ON」にしてください。→ P.169
	ルート案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。（発声タイミングが遅い）	「ジャストガイド」設定がONの場合、交差点直前で案内音声を発声する。ただし、交差点形状や走行状態によっては、交差点に入ってから案内音声が聞こえてくる場合がある。	「ジャストガイド」設定をOFFにしてください。→ P.154
		動画再生している場合、発声タイミングが遅くなるときがある。	動画再生を終了してください。

	症　状	原　因	処　置
●ナビゲーション関連			
操作関連	メニューが操作できない。	サイドブレーキをかけていない。	安全な場所に停車させ、サイドブレーキをかけてください。
自車位置精度関連	自車位置が正しく表示されない。 GPSマークが表示されない。	エンジンのかかっていない状態で車を移動した。（駐車場ターンテーブルやフェリーでの移動など）	自車位置を正しく表示するのに時間がかかる場合があります。 GPS受信可能な状態で見通しの良い道路をしばらく走行すると自車位置が修正されます。
		自車位置が正しく測位しにくい道路を走行している。	
		衛星の配置が悪く、正しい自車位置を表示しない。	
		はじめて使用する。	
		タイヤを交換したり、タイヤチェーン着脱を行った。	「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.161
		GPSアンテナ、車速信号機、バック信号線などが正しく接続されていない。	接続チェックを行って、接続を確認してください。→ P.161
		電気ノイズを発生する電装品が本機およびGPSアンテナの近くにある。	電装品を本機およびGPSアンテナから十分離してご使用ください。
VICS関連	FM VICSが受信されない。	手動で他県の放送局を選択している。	オート選局の設定を「ON」にしてください。→ P.156
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合はオート選局しない場合がある。	手動で放送局を選んでください。→ P.156
	ビーコンの簡易図形が割り込み表示されない。	ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割り込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
	情報メニューに ビーコン情報 が表示されない。	ビーコンキットが接続されていない。	別売のビーコンキットを接続してください。
ETC関連	情報メニューに ETC情報 が表示されない。	ETCユニット、またはDSRCユニットが接続されていない。	別売のETCユニット、またはDSRCユニットを接続してください。
	画面に「ETCエラーコード：XX」と表示される。（XXは01から07）	詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。	詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。

オーディオ関連

	症　状	原　因	処　置
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください。→ P.115
ラジオ	自動で選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で放送局を選んでください。→ P.116
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。	CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ファイナライズされていないディスクをセットしている。	ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDをセットしている。	MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cmディスクをセットしている。	8cmディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物などの混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRをセットしている。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音が飛ぶ。ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布で拭いてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が悪い。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。→ P.112
	MP3/WMA/AACの音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	ほかのエンコードソフトをお試しください。
	MP3/WMA/AACの音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.229

	症　　状	原　　因	処　　置
●オーディオ関連			
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	再生できないファイルやフォルダがある。	以下の場合は音楽データの再生はできない。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大255（ルート含む）、ファイルが最大512（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。
	正しく表示されない。	TAG情報が正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1、またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3/WMA/AACファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	65,500件以上のトラックを保存したiPodでトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPodの操作ができない。	iPodとの接続が正常に行われていない場合がある。	USB接続を解除し、iPod本体を再生状態にし、再度接続を行ってください。
		iPodとの通信が正常に行えない場合がある。	USB接続を解除し、iPod本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	iPodの音声が出力されない。	iPodの音声がBluetooth通信へ切り替わっている。	iPod本体から操作を行い、設定（オーディオ出力）をBluetooth（MC314D）からDockコネクタへ切り替えてください。または、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。

	症　状	原　因	処　置
SDカード／USBメモリー	SDカードから再生できない。	未対応のSDカードを使っている。	本機で使えるSDカードを確認してください。→ P.11
	SDカードが挿入できない。	SDカードを表裏逆に挿入している。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	USBメモリーを正常に読み取れない場合がある。	一度USBメモリーを取り外して再度挿入してください。→ P.11
	音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。→ P.229
	再生できないファイルやフォルダがある。	以下の場合は音楽データの再生はできない。 • 8階層以上の深いフォルダに曲が収録されている場合 • フォルダが最大512（ルート含む）、ファイルが最大8000（1フォルダは最大255ファイルまで）を超えた場合	パソコンを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SDカード内のデータ保護のために操作パネルを開くとSDカードのオーディオ機能がOFFになる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	MP3/WMA/AACファイルの数が違う。	MP3/WMA/AAC以外のファイルがある。	MP3/WMA/AAC以外のファイルを消去してください。
	ビデオファイルが再生できない。または、映像が乱れたり音が切れる。	本機で再生できるビデオファイルになっていない。	本機で再生可能な動画ファイルを確認してください。→ P.234
	ビデオ再生で映像がカクカクする。音が飛ぶ。	圧縮率が大きい。	
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが1GBを超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがある。	故障ではありません。
ウォークマン	ウォークマンを認識しない。	USB接続ケーブルが正しく接続されていない。	USB接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
		非対応のウォークマンを使用している。	本機で対応しているウォークマンを使用してください。

	症　状	原　因	処　置
●オーディオ関連			
ウォークマン	ウォークマンから再生できない。	シンプルモードのウォークマンを使用している。	「x-アプリ」など転送ソフトの設定で「インテリジェント機能を使用する」にチェックを付けて楽曲を転送してください。
		ダイレクト録音した楽曲が再生できない。	本機ではダイレクト録音した楽曲は再生できません。
	ウォークマンで再生できない楽曲がある。	「ちょい聴きmora」の楽曲が再生できない。	本機では「ちょい聴きmora」の楽曲は再生できません。
		著作権保護された楽曲の再生ができない。	本機では著作権保護された楽曲は再生できません。
TV	放送局名が表示されない。	放送局の設定をしていない、または、県境などへ車が移動し同じ周波数で異なる放送局の電波を受信した。	以下のいずれかの作業を行ってください。 • 受信できる放送局の設定をする(オートプリセット)→ P.121 • 優先エリアの切り替え→ P.125
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている。	フィルムは貼り直しができません。日産販売会社（ディーラー）で新しいアンテナと交換してください。
	12セグ放送が受信できない。	mini B-CASカードを読み取れない場合がある。	最寄りの日産販売会社（ディーラー）へご相談ください。
Bluetoothオーディオ	接続できない。	Bluetooth対応機器を正しく接続していない。	Bluetooth対応機器を正しく接続してください。→ P.88
		オーディオ機器の電源が切れている。	オーディオ機器の電源を入れてください。
		オーディオ機器が近くにない。	Bluetoothオーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合や音飛びが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置いてください。
	再生されない。	AVRCPに対応していないオーディオ機器を使用している。	AVRCP対応のオーディオ機器をご利用ください。
		接続オーディオ機器の状態を正常に読み取れない場合がある。	接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動していない。	接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。

症　　状		原　　因	処　　置
Bluetoothオーディオ	曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	Bluetoothオーディオ機器から取得できない。	AVRCP1.3に対応しているオーディオ機器をご使用ください。 Bluetoothオーディオ機器側の再生プレーヤーを起動し直してください。
	接続オーディオ機器から音が出なくなった。	他のBluetoothオーディオ機器に接続が切り替わっている。	Bluetooth設定画面から、再度Bluetoothオーディオ機器を指定してください。

電話

症　　状	原　　因	処　　置
電話がつながらない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続していない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。→ P.88
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機とBluetooth対応携帯電話とは、無線で通信を行います。 無線の届く範囲内でないと通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。
	携帯電話側が操作待ち状態になっている。	スマートフォンなどで複数の電話アプリケーションがインストールされている場合、お客様に操作を促す画面が表示され、発信できない場合があります。電話側の操作をしてください。
電話画面まで遷移できない。	携帯電話との接続が正常に行われない場合がある。	本機と携帯電話側のBluetooth機能を、それぞれOFF→ONにしてください。→ P.96
自動的に接続されない。	携帯電話によって、「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態にない場合、自動的に接続されないことがある。	携帯電話側の取扱説明書をご覧ください。
	携帯電話を再起動した場合、機種によっては、自動的に接続されないことがある。	リストから接続したい携帯電話を選択してください。 → P.88、P.90
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に［+］（MC314D-A）を押す、またはロータリボリュームキー（MC314D-W）を右に回して、通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	送話音量が適切でない。	送話音量を適切に設定してください。→ P.96

カーウイングス

症　状	原　因	処　置
カーウイングス情報センターに接続されない。	携帯電話または別売の通信アダプタが正しく接続されていない。	携帯電話の接続状態をご確認ください。 通信アダプタの接続については、最寄りの日産販売会社（ディーラー）へご相談ください。
	携帯電話回線の電波状態が悪い。	故障ではありません。電波が届きやすい場所へ移動し、接続をお試しください。
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてからおかけ直しください。
	携帯電話にダイヤルロックがかかっている、または、発信規制がかかっている。	携帯電話のダイヤルロック、発信規制を解除してください。
	対応電話機を使用していない。	以下ホームページにて対応機種かどうか確認してください。 http://www.nissan-carwings.com
	カーウイングスへの申し込みをしていない。	カーウイングスへの申し込みを行ってください。詳しくは日産販売会社（ディーラー）、またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。
メニュー項目が一部選べない、または一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。
情報が音声で読み上げられない。	音量調整が最小になっている。	カーウイングスのオートプレイの音量を調整してください。 → P.103
オペレータをご利用時、音声がとぎれる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直しください。

バックビューモニター

症　状	原　因	処　置
カメラ映像が表示されない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがRの位置になっているか確認してください。
	暗いところを映している。	画面が見えにくいことがありますが、故障ではありません。
	明るいところを映している。（太陽光に反射したヘッドライトの光、蛍光灯などに照らされた場所など）	

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光が直接入射したり、強い光（バンパーなどの反射やヘッドライトなど）が入射している。	CCDカメラ特有の現象で故障ではありません。直接状況を確認しながら運転してください。
バックビューモニターのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

サイドブラインドモニター

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	接続に異常がある。	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている。	確認の際はお買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
サイドブラインドモニターのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。

フロントサイドビューモニター

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	車の速度がカメラ表示の条件を満たしていない。	減速してください。
	接続に異常がある。	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている。	確認の際はお買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
	操作パネルの動作が異常位置で停止している。	操作パネルを正常位置に戻してください。
カメラ映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。

アラウンドビューモニター

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	車の速度がカメラ表示の条件を満たしていない。	減速してください。
	接続に異常がある。	接続を確認してください。
	本機または接続した機器のヒューズが切れている。	確認の際はお買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
カメラ映像の映りが悪い。	レンズが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで前面のレンズカバーを軽く拭いてください。
画面上に×や！マークが表示される。	エラーが発生しています。	日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。

その他

症　　状	原　　因	処　　置
画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの消灯、またはナビゲーション本体の誤動作。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンを切り、再度始動してください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられます。日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	起動直後は、設定情報などの確認に時間がかかる場合がある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「パネルをオープンしてください」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	操作パネルの動作が正常に終了せず、異常位置で停止している。	⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開いてください。その後も同じ症状が発生する場合は、日産販売会社（ディーラー）へご相談ください。
「Check Map SD Memory Card.」の画面が表示される。	地図SDカードのデータを取得できない。	以下の操作を行ってください。 ① ⏏ ▶ パネル開／閉 をタッチして、操作パネルを開く ② エンジンを切る ③「MAP DATA」のフタを開ける ④ 地図SDカードを入れ直す ⑤「MAP DATA」のフタを閉める

症　状	原　因	処　置
「地図データが読めません（＊）」の画面が表示される。	地図SDカード挿入口に地図SDカードが挿入されていない。もしくは、地図データが読み取れない。	同梱の地図SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
iPod抜き忘れ警告をONに設定しているのに、iPod抜き忘れ警告の音声案内がされない。	ご使用のiPodが対応機種に入っていない。	ご使用のiPodが対応機種に入っているか確認してください。 → P.142
	エンジンを始動した直後にエンジンを切った。	iPodの接続を認識できるタイミングになかったためで、故障ではありません。
	iPod側で何らかのエラーになった。	一度iPodを取り外し再度挿入してください。解消されない場合は、iPod本体のリセットをお試しください。→ P.142

よくある質問について

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されました。

A: ナビゲーションは道路種別などを考慮して経路探索します。そのため、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 探索条件が有料優先に設定されていて、他の設定に変更できません。

A: 探索条件は、前回設定した探索条件が引き継がれる仕様となっています。下記のいずれかの方法から、探索条件を変更してください。

1.目的地を検索し、ルートを表示 ▶ 他のルートを選ぶ ▶ 複数ルートから、ご希望の探索条件を選択する
2.目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ ルート ▶ 画面下に表示される探索条件から、ご希望の探索条件を選択する
3.目的地を検索し、ガイド開始 ▶ メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ ルート探索条件の設定 ▶ 探索条件 ▶ ご希望の探索条件を選択する

Q: 複数ルート表示で5ルート表示されません。

A: 必ずしも5ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。
対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。また、本機に収録されている高速道路・有料道路料金データは、2013年12月現在のデータを採用しております。そのため、2013年12月以降に開通した高速道路・有料道路を通るルートを探索した場合、本機に表示される料金および、本機の音声による料金ガイドは、実際の料金と異なる場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。

Q: ナビゲーション画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2) FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3) 新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 画面上にタッチキーが表示されたり、されなかったりすることがあります。

A: 画面上に表示されるタッチキーはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないタッチキーは非表示となったり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準は何ですか？

A: カーウイングスを利用して受信した交通情報、VICS情報、または統計交通情報をもとに計算しています。統計交通情報とは、過去1年分のVICS情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータのことです。
なお、「到着予想時刻の速度設定」で「自動計算」OFFに設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが設定されることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカーよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: ルート情報モード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、ルート情報モード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: ルート情報モードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q:「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されます。

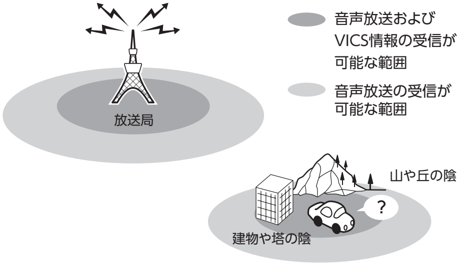
A: マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が表示されない。

A: 無料区間のみの場合、または高速道路上からルートを探索した場合などには料金が表示されないことがあります。

Q: FM VICS情報が取得できません。

A: FM VICS情報は音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でFM VICS情報を放送しているわけではありません。放送状況を確認してください。



Q: ルート情報モード時にパーキングエリア（PA）にある施設情報は表示できますか？

A: ルート情報モードで表示される施設リストのPAをタッチすると、そのPAにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが設定された。

A:「リアルタイム交通情報を考慮」設定がOFFになっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定がONであっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルート案内中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

Q: 地図上に表示される、丸いビックリマーク（！）のアイコンは何ですか？

A: ビックリマークのアイコンは、交通事故多発地点を表します。このアイコンは200m以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。このアイコンは、メニュー ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ アイコンの表示 ▶ 交通事故多発地点の表示 をタッチして、表示／非表示を切り替えられます。

オーディオ編

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］キーとは何ですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるキーです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: 1セグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

Q: 放送メールとは何ですか？

A: 放送メールとは、地上デジタルTV放送を利用して、ナビゲーションにメールを送るシステムです。放送局側でメール配信していれば、TVの設定メニューからメール内容をご覧いただけます。受信した放送メールは8個まで保存され、8個を超えた場合は、古いメールから自動的に消去されます。

Q: 画面が横長に見えるが直せますか？

A: 本機のTV画面は、縦横比率が家庭用のTVと違い、やや横長になっています。ナビゲーションの設定で変更はできません。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。ハイビジョン画質で録画されている場合は再生できません。通常画質のVRモードで録画し、ファイナライズしてご利用ください。

■ CD

Q: CD-Rが再生できません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できない場合があります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めます。そのため、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

■ SDカード／ USBメモリー

Q: SDカードに音楽を保存するときの注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなります。また、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、AACのみとなります。
※ iTunes Storeで購入した著作権保護された音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーのMP3ファイルを再生中、曲が途中で停止したり、次の曲が再生されないことがあります。

A: VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルの場合、USBメモリーの転送速度性能との関係で、このような症状が出ることがあります。ビットレートが一定の値で決まっているCBR（コンスタントビットレート）で記録すると安定します。CBRで記録したファイルの再生をお試しください。

■ iPod/iPhone

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

Q: iPodをUSB接続し再生すると、カウンターは進むが音と映像が出ない。

A: iPodのビデオを再生する場合は、AV＆iPod接続ケーブル（別売）を使用して接続してください。

Q: iPhoneのビデオを再生すると画面が流れて映る。

A: iPhoneのビデオ出力が日本方式の「NTSC方式」ではなく、「PAL方式」に設定されていることが考えられます。iPhoneのメニューから「設定」→「iPod」→テレビ出力の「テレビ信号」→「NTSC」を選択し、設定を変更してください。

Q: iPhoneをUSBケーブルで接続しているがナビゲーション側で操作ができない。

A: iPhone側の設定で音声出力先をBluetooth（MC314D）にしていると、iPhone側の操作で音楽再生は可能です。本機ではiPhoneの操作はできず、リストも表示されません。音声出力先を「Dockコネクタ」に変更してください。本機での操作およびリスト表示が可能となります。

■ Bluetoothオーディオ

Q: Bluetoothオーディオ再生時、画面に曲名が表示されない。

A: 本機は曲名表示するためのプロファイルAVRCP1.3に対応しています。Bluetooth対応機器側のプロファイルAVRCPが1.3以上でないと曲名表示はできません。Bluetooth対応機器のAVRCPバージョンをご確認ください。

その他編

■ Bluetooth接続

Q: ペアリングができない。

A: お使いのBluetooth対応機器によっては、あらかじめ機器側のBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q:「5台のBluetooth機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすれば良いですか？

A: 本機に登録できるBluetooth対応機器は5台までです。さらに登録したい場合は、すでに登録された機器の設定を消し、再度登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A:「自動応答保留」の設定をONにすると、応答保留状態で電話に出られます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: Bluetooth対応機器により、機器側の問題で通信異常が発生する場合があります。本機とBluetooth対応機器側のBluetooth機能を、それぞれOFFからONにしてください。

Q: 電話はつながったが相手の声が聞こえない。

A: 電話画面でプライベート設定を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A:「送話音量」の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ないと、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: Bluetooth対応機器が自動で接続されません。

A: Bluetooth対応機器がBluetooth接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetoothオーディオ再生中は、機器の自動接続を行いません。手動で接続してください。

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。

A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。→ P.97

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？

A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」をONに設定しておくと、着信から2秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth対応携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペアリング可能な携帯電話の登録は5台ですが、使用できる電話は2台までとなります。また、2台同時の通話はできません。通話はどちらか一方となります。ほかの携帯電話を使用する場合には、電話機選択画面から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: Bluetoothオーディオ再生中に、ハンズフリー通話を行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。

A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機、または携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetoothオーディオ機器を接続したが、スピーカーから音声が出ない。

A: 接続機器の音声出力をBluetooth側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続しているBluetooth対応機器を操作し、設定変更を行ってください。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、さまざまな条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

Q: 携帯電話をBluetooth接続しているが、着信音が小さい。

A: 電話設定メニューの 音量調整 をタッチして、着信音量を上げてください。→ P.96

Q: 携帯電話から電話帳を転送する場合、登録可能な電話帳データは300件とあるが、1人に複数の電話番号を登録している場合はどうなるのか？

A: 本機では1人を1件として登録します。複数の電話番号を登録している場合でも、300人分のデータが登録可能です。なお、1人に6件以上の電話番号が登録されている場合は5件までダウンロードされます。6件目以降はダウンロードされません。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。

Q: 常に画面に時計を表示できますか？

A: 可能です。地図・メニュー画面とオーディオ映像画面で別々に時計表示を設定できます。→ P.13

■ バックビューモニター

Q: バックビューモニターの明るさを調整できますか？

A: 調整は可能です。

Q: バックビューモニターの映像は、後席テレビに映りますか？

A: バックビューモニターの映像はナビゲーション本体のみ映り、後席テレビには映りません。

■ カーウイングス

Q: カーウイングスサービス利用時、通常の音声電話に比べてサービスエリアが狭い、また、つながりにくい。

A: カーウイングス情報センターとの通信にデータ通信モードを使用しているためと、考えられます。しばらくしてからおかけ直しください。

Q: カーウイングスでダウンロード中、画面が表示される時間よりも実際の通信時間のほうが長い。

A: 携帯電話の機種によっては、携帯電話の通信開始・終了のタイミングよりも、本機の画面表示・切り替わりのほうが、やや速いことがあります。

■ その他

Q: 盗難防止装置は付いていますか？

A: 本機のセキュリティ機能として、暗証番号を設定する盗難防止機能があります。盗難時にはセキュリティ機能がはたらきます。いったん取り外されたナビゲーションは、暗証番号を入力しないと起動できないようになります。また、エンジンのかかっていない状態でLEDイルミが点滅して車室内への侵入者を威嚇・警戒します。盗難防止機能とLED点滅のON/OFFは選択可能です。

※本機の盗難防止機能は、100%盗難を防ぐものではありません。盗難防止機能作動時における盗難については、当社は一切その責任を負いかねます。暗証番号はメモを取るなどして大切に保管してください。

Memo

付録

収録データや仕様など、本機に関する情報を記載しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.239をご覧ください。

収録データベースについて…………………… 218
株式会社ゼンリンからお客様へのお願い………… 221
市街地図収録エリア一覧……………………… 222
VICS情報について ………………………… 227
VICS情報の更新に伴う表示変更 ………………… 227
VICSシステムの問い合わせ先 …………………… 227
ITSスポットによる情報提供への切り替えについて
………………………………………………………… 227
VICS情報有料放送サービス契約約款 …… 228
本機で再生可能な音声ファイルについて… 229
再生できるMP3・WMA・AACディスク ……… 229
MP3ファイルについて ……………………… 229
WMAファイルについて……………………… 230
AACファイルについて ……………………… 231
MP3・WMA・AACの記録メディアについて … 232
本機でMP3・WMA・AACを再生するためのご注意
………………………………………………………… 232
ディスクのフォルダ構成…………………………… 232
SDカード／ USBメモリー／ウォークマンの
フォルダ構成………………………………………… 232
ATRAC、AAC、HE-AACファイルについて
（ウォークマン）…………………………………… 233
本機でウォークマンを再生するためのご注意…… 233
ATRACファイルについて ……………………… 233
本機で再生可能な動画ファイルについて
………………………………………… 234
MPEG4/WMV/H.264ファイルについて ……… 234
本機で動画ファイルを再生するためのご注意…… 234
カントリーコード一覧……………………… 235
お手入れ……………………………………… 236
ディスクのお手入れ………………………………… 236
本体のお手入れ……………………………………… 236
TVアンテナのお手入れ ………………………… 236
保証書とアフターサービス………………… 236
仕様…………………………………………… 237
商標について………………………………… 238
製品を廃棄・譲渡・転売するときは……… 239
ナビゲーション内のデータ消去について………… 239
お客様のプライバシー保護のために……………… 239
データを消去（初期化）する……………………… 239

収録データベースについて

■ データ取得日について

本機SD内の情報は、以下を使用しています。

●道路情報　　　：2013年10月（一般道路）／2013年12月（高速・有料道路）
●ハイウェイ情報　：2013年12月現在
●交通規制情報　：2013年11月現在
●イラスト情報　：2013年10月（一般道路）／2013年12月（高速・有料道路）
●スマートIC情報　：2013年10月現在
●施設検索情報（タウンページ）：2013年11月現在
●施設検索情報（ブランド）　：2013年11月現在
●施設検索情報（MAPPLEガイド／ピクチャービュー）：2014年2月版データ
●住所検索情報　：2013年11月現在
●市区町村合併情報：2013年11月現在
●郵便番号検索情報：2013年11月現在
●TVサーチ　　：2014年1月現在（定期的に最新データを提供しています。→ P.171）

※本機SD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

●本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認11-080）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（©2011一般財団法人日本デジタル道路地図協会）

●この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（承認番号平23情使、第192－B48号）

●市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。

●本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。

●この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）

●3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。（承認番号 平23情使、第768-001号）

●交通事故多発地点データは、（公財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（公財）日本交通管理技術協会と（公財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。

●地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平9総使、第47号）

●道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2013年12月、国道、県道、主要地方道はおおむね2013年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

●現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、一部地域の地区の地図データの更新を停止しております。

●ルート探索用データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しております。（承認番号平22業使、600号）

© 2011一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2013 ZENRIN CO., LTD.

■ 交通規制データについて

●交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 盗難多発地点整備対象エリアについて

●整備対象エリアは、青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県の一部地域にのみ適応しています。

■ 検索データについて

●TVサーチは、クラリオン株式会社オリジナルデータを使用しました。TVサーチの著作権は、クラリオン株式会社に帰属します。承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。
●施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
・ NTTタウンページデータ
・ 株式会社ゼンリン提供のデータ
・ 株式会社昭文社提供のデータ
●NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
●施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
●自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたやほかの人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。

⚠ 警 告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。

🚫 禁 止	「してはいけない内容」を示しています。
❗ 指 示	「しなければならない内容」を示しています。

⚠ 警 告

🚫 **運転者は、走行中に操作をしないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **操作は、安全な場所に車を停止させてから行ってください。**
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

🚫 **運転中は、画面を注視しないでください。**
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**
本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

❗ **一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**
本商品の一方通行表示は、すべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

🚫 **本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**
本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本商品に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「本商品」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本商品で使用する権利を許諾します。
- 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
  - 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

市街地図収録エリア一覧

— お知らせ —

• 一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

2014年3月現在

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道	<ほぼ全域を収録> 室蘭市 <一部地域を収録> 江別市、札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、新篠津村、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町、幌延町、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町、大空町、豊浦町、壮瞥町、白老町、厚真町、洞爺湖町、安平町、むかわ町、日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町、別海町、中標津町、標津町、羅臼町
青森県	<ほぼ全域を収録> 三沢市 <一部地域を収録> 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鰺ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村
岩手県	<一部地域を収録> 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町
宮城県	<ほぼ全域を収録> 多賀城市 <一部地域を収録> 仙台市、七ヶ浜町、色麻町、加美町、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亘理町、山元町、松島町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町
秋田県	<一部地域を収録> 秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村、美郷町、羽後町、東成瀬村
山形県	<一部地域を収録> 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町
福島県	<一部地域を収録> 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯舘村

収録都道府県	市街地図収録都市
東京都	<ほぼ全域を収録> 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町 <一部地域を収録> 檜原村、奥多摩町、大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村
千葉県	<ほぼ全域を収録> 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、君津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、いすみ市、大網白里市、酒々井町、栄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、御宿町 <一部地域を収録> 旭市、香取市、銚子市、館山市、成田市、鴨川市、富津市、南房総市、山武市、神崎町、多古町、東庄町、大多喜町、鋸南町
埼玉県	<ほぼ全域を収録> さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、伊奈町、三芳町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、長瀞町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町 <一部地域を収録> 毛呂山町、小川町、秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町、寄居町
茨城県	<ほぼ全域を収録> 取手市、つくば市、ひたちなか市、守谷市、つくばみらい市、東海村、利根町 <一部地域を収録> 水戸市、日立市、龍ケ崎市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、鹿嶋市、潮来市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、大子町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町
栃木県	<ほぼ全域を収録> 小山市 <一部地域を収録> 宇都宮市、足利市、野木町、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、岩舟町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町
群馬県	<ほぼ全域を収録> 玉村町 <一部地域を収録> 伊勢崎市、太田市、前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
神奈川県	<ほぼ全域を収録> 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村 <一部地域を収録> 山北町
静岡県	<ほぼ全域を収録> 清水町 <一部地域を収録> 静岡市、沼津市、富士市、長泉町、浜松市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町、小山町、吉田町、川根本町、森町

付録

収録都道府県	市街地図収録都市
長野県	<一部地域を収録> 長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町、青木村、長和町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村、上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村、木曽町、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、白馬村、小谷村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、小川村、飯綱町、栄村
新潟県	<一部地域を収録> 新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町、阿賀町、出雲崎町、湯沢町、津南町、刈羽村、関川村、粟島浦村
山梨県	<ほぼ全域を収録> 昭和町 <一部地域を収録> 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村
富山県	<ほぼ全域を収録> 射水市、舟橋村 <一部地域を収録> 高岡市、富山市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	<ほぼ全域を収録> 野々市市、内灘町 <一部地域を収録> 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町
岐阜県	<ほぼ全域を収録> 岐阜市、多治見市、各務原市、岐南町、笠松町、坂祝町 <一部地域を収録> 羽島市、可児市、安八町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、白川村
愛知県	<ほぼ全域を収録> 名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町 <一部地域を収録> 豊橋市、西尾市、愛西市、岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村
福井県	<一部地域を収録> 福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町
大阪府	<ほぼ全域を収録> 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村 <一部地域を収録> 泉佐野市、泉南市、能勢町
京都府	<ほぼ全域を収録> 宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町 <一部地域を収録> 笠置町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、宇治田原町、和束町、南山城村、京丹波町、伊根町、与謝野町

収録都道府県	市街地図収録都市
兵庫県	<ほぼ全域を収録> 神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、三田市、稲美町、播磨町、太子町 <一部地域を収録> 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、小野市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	<ほぼ全域を収録> 大和高田市、大和郡山市、橿原市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町 <一部地域を収録> 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、山添村、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村
滋賀県	<ほぼ全域を収録> 草津市 <一部地域を収録> 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
三重県	<ほぼ全域を収録> 木曽岬町、朝日町、川越町 <一部地域を収録> 津市、四日市市、鈴鹿市、東員町、伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
和歌山県	<ほぼ全域を収録> 和歌山市 <一部地域を収録> 岩出市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町
岡山県	<ほぼ全域を収録> 早島町、里庄町 <一部地域を収録> 岡山市、倉敷市、玉野市、浅口市、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
鳥取県	<一部地域を収録> 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町
島根県	<一部地域を収録> 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町
広島県	<ほぼ全域を収録> 府中町、海田町、熊野町、坂町 <一部地域を収録> 広島市、福山市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町
山口県	<ほぼ全域を収録> 和木町 <一部地域を収録> 周南市、下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、山陽小野田市、周防大島町、上関町、田布施町、平生町、阿武町
高知県	<一部地域を収録> 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村、本山町、大豊町、土佐町、大川村、いの町、仁淀川町、中土佐町、佐川町、越知町、梼原町、日高村、津野町、四万十町、大月町、三原村
香川県	<一部地域を収録> 宇多津町、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町

付録

収録都道府県	市街地図収録都市
徳島県	<ほぼ全域を収録> 徳島市 <一部地域を収録> 鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町
愛媛県	<一部地域を収録> 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町
福岡県	<ほぼ全域を収録> 北九州市、福岡市、大牟田市、中間市、春日市、志免町、須恵町、粕屋町、芦屋町、水巻町、苅田町 <一部地域を収録> 直方市、小郡市、太宰府市、新宮町、遠賀町、久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、宗像市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、岡垣町、小竹町、鞍手町、桂川町、筑前町、東峰村、大刀洗町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
佐賀県	<一部地域を収録> 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町
大分県	<一部地域を収録> 別府市、大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、姫島村、日出町、九重町、玖珠町
熊本県	<一部地域を収録> 菊陽町、熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、美里町、玉東町、南関町、長洲町、和水町、大津町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、氷川町、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町、苓北町
長崎県	<ほぼ全域を収録> 時津町 <一部地域を収録> 長与町、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町
宮崎県	<一部地域を収録> 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町
鹿児島県	<一部地域を収録> 鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、三島村、十島村、さつま町、長島町、湧水町、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、中種子町、南種子町、屋久島町、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町
沖縄県	<ほぼ全域を収録> 那覇市、宜野湾市、浦添市、南風原町 <一部地域を収録> 北谷町、北中城村、西原町、与那原町、石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、読谷村、嘉手納町、中城村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、久米島町、八重瀬町、多良間村、竹富町、与那国町

VICS情報について

VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーション、地図ソフトの対応などにつきましては、お買い上げの日産販売会社（ディーラー）にお問い合わせください。
また詳しくは、以下のVICSセンターへお問い合わせください。

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。
表示内容のお問い合わせについては以下のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、日産販売会社（ディーラー）にご連絡ください。
VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは一般財団法人VICSセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先の判断に迷うような場合は、まずお買い上げの日産販売会社（ディーラー）へお問い合わせください。

■ 一般財団法人VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号：(03）3562-1719
●Webサイト
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について
VICS情報のデータの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会が有しております。

ITSスポットによる情報提供への切り替えについて

新サービスの開始や路側機の老朽化等に伴い、高速道路のVICSビーコン（2.4GHz）による情報提供は、今後、ITSスポットによる情報提供に移行します。VICS ビーコン（2.4GHz）によって行われていた情報提供は、より広域な情報や安全運転を支援する情報が加わり、ITSスポットによって情報提供されます。高速道路においてはすでにITSスポットが全線に設置されており、平成24年4月以降に開通する高速道路においては、ITSスポットが設置されます。(VICSビーコン(2.4GHz)は原則として設置されません)
既存のVICS ビーコン（2.4GHz）は当面存置されサービスが提供されますが、故障して容易に機能を回復できないなどの場合には、原則として情報は更新されません。

お問い合わせ先：
国土交通省道路局 道路交通管理課
高度道路交通システム（ITS）推進室
03-5253-8111

付録

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　　　則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　　　約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　　　金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　　　守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　　　則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表視聴料金]
視聴料金　324円（うち消費税24円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、以下の音声ファイルを再生できます。

●CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、SDカード、USBメモリーに保存されたMP3、WMA、またはAACファイル

●ウォークマンに保存されたMP3、WMA、AAC、ATRACファイル

詳しくは以下をご覧ください。

- 本機で使えるSDカード／USBメモリー → P.11
- 本機で使えるウォークマン→ P.11

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2、またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生します。

ATRACとは、Adaptive TRansform Acoustic Cordingの略称で、ソニーが開発した音声圧縮技術です。

再生できる MP3・WMA・AACディスク

●記録メディア※1：
CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

●記録フォーマット：
CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
DVD：UDF（Ver1.02/1.5/2.0）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo

●パケットライトには非対応

●拡張子が.MP3、.WMA、または.M4Aのファイル（MP3・WMA・AACファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.M4A」の拡張子を付けないでください。故障の原因となります）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW、DVD+R/RWはマルチセッション非対応）

MP3・WMA・AACのVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3ファイルについて

●ID3-Tag：Ver1.x、2.xの以下の表示に対応
- album（Disc Titleとして表示）
- track（Track Titleとして表示）
- artist（Track Artistとして表示）

●エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応

●再生可能なサンプリング周波数
MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
MPEG2.5：11.025kHz/12kHz/8kHz
※音質面においては44.1kHz以上を推奨

●再生可能なビットレート
MPEG1：32kbps ～ 320kbps/VBR
MPEG2：8kbps ～ 160kbps/VBR
MPEG2.5：8kbps ～ 160kbps/VBR
※音質面においては128kbps以上を推奨

●SDカード／USBメモリー／ウォークマンから再生する場合、以下のサンプリング周波数、ビットレートで記録されたファイルは音切れが発生することがあります。
サンプリング周波数：16kHz以下
ビットレート：8kbps以下

●MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応

●MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。

●記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。

●ディスク／SDカード／USBメモリー／ウォークマン内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。

●低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

●Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

●作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
●WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応
●ディスク／ SDカード／ USBメモリー／ウォークマン内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

	ディスク	SDカード	USBメモリー	ウォークマン
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)		
384	—	32		
320	44.1	44.1		
256	44.1	44.1		
192	48/44.1	44.1		
160	48/44.1	44.1		
128	48/44.1	44.1		
96	48/44.1	44.1		
80	44.1	44.1		
64	48/44.1	44.1/32		
48	44.1/32	44.1/32		
44	—	32		
40	32	32		
36	—	32		
32	44.1/32/22.05	48/44.1/32/22.05		
22	22.05	32/22.05		
20	44.1/32/22.05/16	44.1/32/22.05/16		
16	22.05/16	22.05/16		
12	16/8	16/8		
10	16/11.025	16/11.025		
8	11.025/8	11.025※/8※		
6	8	8※		
5	8	8※		
VBR	44.1	48/44.1		

※　音切れが発生する場合があります。

AACファイルについて

●ディスク／ SDカード／ USBメモリー／ウォークマン内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
●AACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●再生可能なサンプリング周波数・ビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご覧ください。

<table>
<tr><th></th><th>ディスク</th><th>SDカード</th><th>USBメモリー</th><th>ウォークマン</th></tr>
<tr><td>ビットレート
(kbps)</td><td>サンプリング周波数
(kHz)</td><td colspan="3">サンプリング周波数
(kHz)</td></tr>
<tr><td>320</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td>256</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1</td></tr>
<tr><td>224</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td>192</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32</td></tr>
<tr><td>160</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32</td></tr>
<tr><td>144</td><td>—</td><td colspan="3">48/44.1/32/24</td></tr>
<tr><td>128</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05</td></tr>
<tr><td>112</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td>96</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16</td></tr>
<tr><td>80</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16</td></tr>
<tr><td>64</td><td>48/44.1</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025</td></tr>
<tr><td>56</td><td>48/44.1/32</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025</td></tr>
<tr><td>48</td><td>44.1/32</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>40</td><td>44.1/24</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>32</td><td>32/22.05</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>28</td><td>32/16</td><td colspan="3">—</td></tr>
<tr><td>24</td><td>32/16</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>20</td><td>24/11.025</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>16</td><td>22.05/11.025</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
<tr><td>8</td><td>11.025</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16※/12※/
11.025※/8※</td></tr>
<tr><td>VBR</td><td>48/44.1
(48/64/80/96/128/160/
192/256kbpsのとき)</td><td colspan="3">48/44.1/32/24/22.05/16/12/11.025/8</td></tr>
</table>

※　音切れが発生する場合があります。

MP3・WMA・AACの記録メディアについて

本機でMP3・WMA・AACを再生するためのご注意

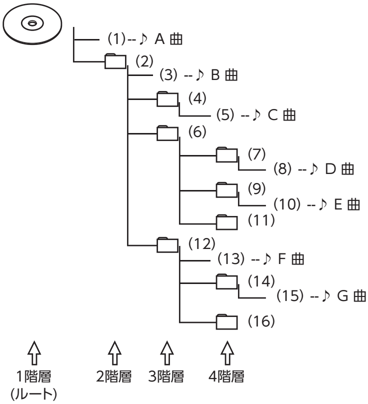
- ●最大数を超えてフォルダ・ファイル・曲が記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・曲は本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- ●フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- ●MP3・WMA・AACのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残ることがあります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- ●SDカード、USBメモリー、ウォークマン（ストレージモード）すべて、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

ディスクのフォルダ構成

ディスク内の最大フォルダ・ファイル・曲数は、以下のとおりです。

フォルダ：255（ルートを含む）
ファイル：512
曲：1フォルダあたり255

MP3・WMA・AACファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。下図の場合の再生順序は、（1）→（3）→（5）→（8）→（10）→（13）→（15）となります。



— MEMO

- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリー／ウォークマンのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SDカード、USBメモリー、ウォークマン（ストレージモード）すべてルートを除く8階層までです。この階層内にあるMP3・WMA・AAC音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。
フォルダ名、ファイル名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

— お知らせ

- MP3・WMA・AACファイルを含まないフォルダは認識されません。

— MEMO

- ウォークマン単体で再生した場合と、本機に接続した場合では、音楽データを認識する階層が異なります。ウォークマン単体ではMUSICフォルダの1 ～ 8階層まで、本機ではルートを除く8階層まで認識可能です。
- SDカード、USBメモリー、ウォークマン（ストレージモード）は、8階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応しています。多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上の曲が入っている場合は、パソコンでデータが書き込まれた順序により、認識される曲は変わります。
- 1つのフォルダにMP3・WMA・AACファイル以外のファイルを入れた場合、認識される曲数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大フォルダ・ファイル・曲数は以下のとおりです。
  フォルダ：512
  ファイル：8000
  曲：1フォルダあたり255
- 第1階層にファイルがある場合は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

ATRAC、AAC、HE-AACファイルについて（ウォークマン）

本機でウォークマンを再生するためのご注意

●ウォークマンの種類によりウォークマンの対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマンに転送できる音楽フォーマットは、ウォークマンに依存します。詳しくは、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

●ウォークマンに転送されたATRAC Advanced Lossless ／ WAV（PCM）／ FLAC ／ Apple Lossless ／ AIFF形式の曲には対応していません。

●著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

●以下の内容には対応しておりません。
「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／カラオケ・語学学習モード

●「リリース年」「最近転送したアルバム」「フォルダー」「ブックマーク」で曲を検索することはできません。

●ウォークマンで録音した曲は再生対象外です。「録音した曲」「受信した曲」で検索することはできません。

●シンプルモード機器には対応していません。

ATRACファイルについて

●再生可能なサンプリング周波数
44.1kHz

●再生可能なビットレート
ATRAC3：33 ～ 176kbps
ATRAC3Plus：32 ～ 352kbps

本機で再生可能な動画ファイルについて

本機では、以下の動画ファイルを再生できます。

●SDカード、USBメモリー、ウォークマンに保存されたMPEG4、WMV、またはH.264ファイル（最大4GB）
詳しくは以下をご覧ください。
- 本機で使えるSDカード／USBメモリー→ P.11
- 本機で使えるウォークマン→ P.11

MPEG4とは、Moving Picture Experts Group phase 4の略称で、映像圧縮技術に関する標準フォーマットです。
WMVとは、Windows Media Videoの略称で、Windows Media Playerが標準でサポートしている動画ファイル形式の1つです。
H.264とは、動画データの圧縮符号化方式の標準の1つです。1セグ放送などの標準動画形式として採用されています。

MPEG4/WMV/H.264ファイルについて

●Windows Media Video 9（FOURCC code：WMV3）対応
●チャプター非対応
●DRM非対応（CPRM含む）

	MPEG4	H.264	WMV
ビデオコーデック	ISO MPEG4	H.264	VC-1
音声コーデック	AAC		WMA9
コンテナ	MP4		ASF
ビットレート(bps)	平均4M/最大8M（VBR/CBR対応）		
フレームレート(fps)	30		
最大解像度	800 x 480		

本機で動画ファイルを再生するためのご注意

●本機で再生動作を確認したエンコーダソフトは以下のとおりです。
※ エンコーダソフトにより作成可能な動画ファイルに違いがあります。
- EDIUS 6（grass valley社）
- EDIUS Neo 3（grass valley社）
- VideoStudioPro X4（COREL社）
- Roxio Creator 2011（RUNEXY社）

●動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
●以下のファイルは、正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
- 極端にサイズの大きい、または小さいファイル
- 極端に再生時間の長い、または短いファイル

●同一ファイル内に音声／映像以外の情報（画像など）が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
●3チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データを含む映像ファイルは再生できません。
●ファイルはファイル名順で再生されます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。
●対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子（.MP4/.M4Vなど）を付けないでください。雑音や故障の原因となります。
●動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
●動画ファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
●テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。
●USBメモリーのメディアにより正常に再生できない場合があります。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775

国名	国コード	入力番号
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。

●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。

●DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

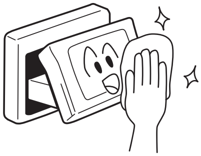
本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量付けて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。

●液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。



TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日、またはお取り付け日から3 年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでといたします。
お買い上げの日産販売会社（ディーラー）から発行される「日産純正オプション部品保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客さまの「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

調子が悪いときは、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げの日産販売会社（ディーラー）にご相談ください。

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz
　　　　　　　C/A コード
感度　　　　：－130dBm以下
チャンネル数：パラレル13チャンネル

LCD モニター部

画面寸法　　：7型
（画面開口部）（156.4mm×81.5mm）
表示方式　　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　　：TFT（薄膜トランジスタ）
　　　　　　　アクティブマトリクス駆動方式
画素数　　　：1,152,000画素
　　　　　　　［水平800×垂直480×3（RGB）］

12セグ／1セグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13 ～ 62ch
最大感度　　：－80dBm以下

CD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　　　　：80dB

DVD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　　　　：80dB

FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　　：8dBμV

AMチューナー部

受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　　：30dBμV

オーディオ部

定格出力　　：16W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力：47W×4
適合インピーダンス：4Ω

Bluetooth部

受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　　　　　　　（1MHzステップ）
受信感度　　：－70dBm以下
規格　　　　：バージョン2.1+EDR

共通部

電源電圧　　：14.4V
接地方式　　：マイナス接地
消費電流　　：約4A（1W出力時）

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。
それらの一部にはMPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。
ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
- Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

● はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●SD,SDHC,miniSD and microSD Logos are trademarks of SD-3C,LLC.

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●VICSは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

● “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
Lightning is a trademark of Apple Inc.

●iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

●iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

●Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

●MAPPLEガイドデータは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。

●”ウォークマン”、”WALKMAN”、”WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

●「ATRAC」、「ATRAC3」、「ATRAC3plus」，「ATRAC Advanced Lossless」、「x-アプリ」とそれらのロゴは、ソニー株式会社の商標また登録商標です。

●Microsoft、WindowsおよびWindows XP ／ Windows Vista ／ Windows 7 ／ Windows 8 ／ Windows 8.1は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

●「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

●Androidは、Google Inc.の商標です。

●DSRCは一般社団法人ITS推進機構（ISPA）の登録商標です。

●ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1 メニュー ▶ 設定

2 その他設定

3 出荷状態に戻す

4 全データの消去

確認画面が表示されます。

5 はい

本機に保存された全データが消去されます。

お知らせ

- 更新を行った場合の地図データやプログラムバージョンは初期化されず、更新後のデータが保持されます。

MEMO

- TVサーチ情報は、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 盗難防止機能が「ON」に設定されている場合は、暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

索引

あ

アイコン表示（ETC）…… 78
アルバムジャケット写真の表示…… 148
アングルの切り替え（DVDビデオ）…… 130
安全運転メッセージ…… 161

い

イージーセットアップ…… 164
行き先位置を修正…… 61
行き先追加…… 57
行き先の消去…… 62
行き先の並べ替え…… 62
イコライザー…… 167
一般道の方面看板表示…… 154
一方通行表示…… 31
緯度・経度検索…… 46

う

ウォークマン…… 140
迂回路探索…… 59

え

エコ運転診断…… 78
エコ運転診断モード…… 31
エコ運転度…… 79
エコスコア…… 79

お

オーディオON/OFF …… 114
オーディオ表示画面の切り替え…… 114
オートプリセット
　テレビ…… 121
　ラジオ…… 116
オートプレイ（自動読み上げ機能）…… 103
オートリルート…… 156
お好みアイコンリスト検索…… 42
お知らせ設定…… 82
オペレータ接続…… 105
音声ガイド（ETC）…… 78
音声ガイド時にオーディオ音量を下げる… 154
音声言語の切り替え
　DVDビデオ …… 130
　テレビ…… 124
音声／データ同時機能…… 108
音声の切り替え（DVD-VR）…… 130
音量の調整
　CARWINGS音量 …… 103, 169
　オーディオ・ビジュアル…… 113
　ガイド音量…… 65, 153, 169
　ガイド・メッセージ音声…… 65, 153, 169
　受話音量…… 169
　操作音ON/OFF …… 169
　送話音量…… 169
　着信音量…… 169

か

カーウイングス…… 99
カーウイングス情報画面…… 102
カーウイングス設定…… 108
カーソル表示…… 162
カード入れ忘れ警告（ETC）…… 78
カード抜き忘れ警告（ETC）…… 78
カード有効期限切れ警告（ETC）…… 78
ガイド開始…… 54
ガイド中断…… 65
拡大図設定…… 154
確認コード…… 81
画質の調整
　DVD-VR …… 131
　DVDビデオ …… 131
　iPodビデオ …… 147
　VTR…… 180
　サイドブラインドモニター…… 184
　テレビ…… 127
　ナビゲーション画面…… 168
　バックビューモニター…… 182
　フロントサイドビューモニター…… 185
カメラ接続設定…… 163
カメラ地点の登録…… 186
画面ON/OFF …… 13
画面サイズの切り替え
　DVD-VR …… 131
　DVDビデオ …… 131
　VTR…… 179
画面の明るさ調整…… 168
冠水路地点の表示…… 153
カントリーコード…… 134

き

キーワード入力検索…… 40
軌跡の間隔…… 153
軌跡の消去…… 153
軌跡の表示…… 153
緊急放送…… 123

く

区間設定…… 62

け

携帯電話会社の選択…… 102
携帯電話の接続切り替え…… 90
携帯電話の登録消去…… 90
経由地の追加…… 61
系列局サーチ…… 119
言語の選択…… 162
現在地ボタン…… 22
現在地名称プレート表示…… 161
現在地メニュー…… 24
現在のルートを登録…… 64
検索アイコン…… 43
検索アイコンの消去…… 153
検索アイコンの表示…… 153
検索結果画面…… 47
検索地点の位置修正…… 55
検索地点の施設情報…… 55
検索地点の登録…… 55
検索地点をルートに追加…… 55

こ

交差点ガイド設定…… 154
交差点手前の案内表示…… 67
後席テレビ…… 181
高速道路での逆走報知…… 161
高速道路の案内表示…… 67
交通事故多発地点の表示…… 153
交通情報…… 81
交通情報・VICSの設定…… 156
交通情報のダウンロード設定…… 157
ここです車メール…… 107
コントロールバー自動消し…… 161

さ

細街路案内…… 69
最速ルート探索…… 58, 60
最速ルート探索の自動取得設定…… 60, 159
再探索…… 59
サイドブラインドモニター…… 183
サブチャンネル…… 122

し

時間規制道路…… 160
自車位置の修正…… 162
自車位置の精度…… 198
自車位置マーク…… 22, 32
自車周辺検索
　TVサーチ…… 44
　周辺検索…… 41
施設アイコンの表示…… 152
施設情報…… 48
施設名称入力検索…… 39
自宅に戻る…… 41
自宅の登録…… 18
自宅の編集…… 19
自動応答保留…… 96
自動で選局
　テレビ……119
　ラジオ……115
自動表示メッセージ（テレビ）…… 123
字幕言語の切り替え（DVDビデオ）…… 130
字幕表示の切り替え
　DVD-VR……130
　テレビ……124
車速連動ボリューム…… 166
シャッフル再生
　Bluetoothオーディオ……150
　iPodミュージック……146
車両設定…… 163
ジャンル検索…… 40
ジャンル検索（TVサーチ）…… 44
住所検索…… 39
渋滞情報取得…… 107
周辺駐車場検索
　検索地点周辺…… 55
　自車位置周辺…… 42
　スクロール先周辺…… 46
　目的地周辺…… 43
受信情報の割り込み表示…… 156

付録

受信バンド
テレビ……121
ラジオ……116
出荷状態に戻す……165
手動で選局……116
手動で放送局登録
テレビ……121
ラジオ……117
省エネルートを考慮……160
条件指定再生
Bluetoothオーディオ……150
iPodビデオ……147
iPodミュージック……147
ウォークマン……141
状態表示
DVD-VR……131
DVDビデオ……131
SDカード……140
USBメモリー……140
ウォークマン……140
情報チャンネル……104
初期設定……163

す

スキャン再生
AAC……135
CD……135
MP3……135
SDカード……139
USBメモリー……139
WMA……135
ウォークマン……141
スクロール位置の微調整……26
スクロール検索……38
スクロール先周辺検索……45
スクロール地点情報表示……161
ステアリングリモコン……178
スマートICを考慮……160
スロー再生……128

せ

静止画の切り替え（DVD-VR）……130
接続確認案内……96
接続チェック……161
設定情報の初期化（テレビ）……126
センサーの学習リセット……161

そ

操作パネル……6
操作パネルの開閉……12
操作パネルの角度調整……12
ソース選択画面表示……113

た

探索条件……56, 59, 158
短縮ダイヤルの消去……95
短縮ダイヤルの登録……94
短縮ダイヤルの編集……95

ち

遅延補正……127
地図上のVICS表示設定……156
地図色……32
地図色切替条件……32
地図の拡大／縮小……24
地図のスクロール……25
地図の表示変更……27
地図の向き……25
地図文字サイズ……32
地点の登録……50
地名入力検索……39
着信音……96
チャンネル番号……120

つ

通過交差点の情報表示……154
通話音量……96

て

データの書き出し
登録地点……170
データの取り込み
TVサーチ情報……171
登録地点……170
バラエティボイス……171
データ放送……122
デバイス名変更……97
デフォルメ図……68
テレビ……118
テレビの設定……123
電話受信……95
電話帳登録……93

電話帳の消去……94
電話の設定……96
電話発信
施設情報……94
短縮ダイヤル……95
電話帳……93
電話番号……92
発着信履歴……92
販売会社情報……94
電話番号入力検索……39

と

冬季通行止め……160
統計交通情報を考慮……160
到着予想時刻の速度設定……155
到着予想時刻の表示切替……154
盗難多発地点の音声警告……164
盗難多発地点の地図上表示……164
盗難防止……165
盗難防止イルミ……164
盗難防止の暗証番号変更……165
登録地点の位置修正……51
登録地点の消去……51
登録地点の並べ替え……50
登録地点の編集……50
登録リスト検索……39
登録ルート検索……47
登録ルートの消去……52
登録ルートの編集……52
時計画面表示……13
時計表示設定……13

に

二重音声の切り替え（テレビ）……124

は

ハイウェイモードの自動表示……28
パスキー変更……97
バックビューモニター……181
発着信履歴の消去……92
バラエティボイスの設定……155
パレンタルレベル
視聴制限……133
パスワードの設定……133
番組内容……122
番組表……119
販売会社情報……83

ひ

ビーコンVICS情報……74
ピクチャービュー検索……47
ピクチャービューモード……30

ふ

フェリー航路を使う……160
プリセットチャンネル
テレビ……120
ラジオ……116
プローブ情報の消去……158
プローブ情報の送信……158
フロントサイドビューモニター……184

へ

ペアリング……88

ほ

放送局自動サーチ設定……125
放送局の自動切り替え（テレビ）……124
放送メール……126
本体情報……81

ま

マイカーお知らせメール自動取得……108
マップコード検索……46
マルチインフォメーションキー……23

め

メインチャンネル……122
メディアの出し入れ……112
メニューから再生……129
メンテナンス情報……82

も

目的地検索……35
目的地周辺検索
周辺検索……42
TVサーチ……44
目的地消去……41
目的地方向表示……32
目的地履歴の消去……45
モニターサイズの設定（DVDビデオ）……132

ゆ

ユーザーカスタマイズ……… 169
優先エリアの切り替え（テレビ）……… 125
優先言語の設定（DVDビデオ）……… 132
郵便番号検索……… 46
有料区間の修正……… 63
有料道路の出入口選択……… 58

ら

ラジオ……… 115
ラジオの設定……… 117
ランダム再生
AAC ……… 135
CD ……… 135
MP3 ……… 135
SDカード ……… 139
USBメモリー……… 139
WMA ……… 135
ウォークマン……… 141

り

リアルタイム交通情報を考慮……… 160
リストから再生
AAC ……… 136
Bluetoothオーディオ ……… 149
CD ……… 136
DVD-VR ……… 129
iPod ……… 147
MP3 ……… 136
SDカード ……… 138
USBメモリー……… 138
WMA ……… 136
ウォークマン……… 138
リストから選局
テレビ……… 119
ラジオ……… 116
立体地図の角度調整……… 28
立体地図表示……… 28
リピート再生
AAC ……… 135
Bluetoothオーディオ ……… 150
CD ……… 135
DVD-VR ……… 128
DVDビデオ ……… 128
iPodビデオ ……… 146
iPodミュージック ……… 146
MP3 ……… 135
SDカード ……… 139
USBメモリー……… 139
WMA ……… 135
ウォークマン……… 141
リモコン……… 175
履歴検索……… 45

る

ルート案内中の案内表示……… 67
ルート案内中の音声案内……… 70
ルート案内中の地図画面……… 66
ルートガイド音声の詳細設定……… 153
ルートサイド検索……… 43
ルートシミュレーション……… 64
ルート上の地図スクロール……… 65
ルート情報……… 64
ルート情報モード
一般道路……… 29
高速道路……… 29
ルートの学習……… 159
ルートの登録……… 52
ルートを表示……… 54

わ

割り込み受信音……… 156
割り込み表示時間……… 156

A

AAC ……… 134
AM/FMの切り替え ……… 115
AUX ……… 188
AV画面での割り込み ……… 154
AVコントロールバー ……… 23

B

Balance……… 167
Bluetooth……… 87
Bluetoothオーディオ……… 148
Bluetooth機能ON/OFF ……… 96

C

CD ……… 134

D

DSRC情報の自動音声読み上げ ··· 157
DVD-VR ··· 127
DVDビデオ ··· 127

E

ETC警告表示 ··· 76
ETC最新利用履歴の読み上げ ··· 77
ETC情報 ··· 76
ETC設定 ··· 78
ETC料金案内 ··· 76
ETC履歴表示 ··· 77
ETCレーンガイドでの案内表示 ··· 68
ETC割り勘 ··· 77

F

Fader ··· 167
FM VICS情報 ··· 74
FM多重情報の受信地域選択 ··· 156

G

GPS現在地情報 ··· 81

H

H.264 ··· 137

I

iPod音声入力の切り替え ··· 147
iPod抜き忘れ警告 ··· 164
iPodビデオ ··· 142
iPodミュージック ··· 142

L

Loudness ··· 166

M

mini B-CASカード情報 ··· 126
MP3 ··· 134
MPEG4 ··· 137
MyConnect ··· 107

N

NaviCon ··· 189

O

OPTIONボタン ··· 172

Q

QRコード ··· 48

S

SA/PA図 ··· 30
SDカード
　オーディオ ··· 137
　データ編集 ··· 170
　ビデオ ··· 137
SDカード地点検索 ··· 46

T

TV番組名検索 ··· 44

U

USBメモリー
　オーディオ ··· 137
　ビデオ ··· 137

V

VICS情報 ··· 72
VICS表示の対象道路 ··· 156
Vocal Image Control ··· 166
Volume Smoother ··· 167
VTR機器 ··· 179

W

WMA ··· 134
WMV ··· 137

数字

1画面表示 ··· 28
1セグ／12セグの切り替え ··· 123
2画面表示 ··· 28
10キーダイレクト再生 ··· 130

Memo

Memo

Memo

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間 ：**9：00～17：00**

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

本ナビゲーションシステムは、日産自動車株式会社向けに、クラリオン株式会社が開発・製造しています。
お問い合わせは、「日産自動車株式会社　お客さま相談室」へお願いいたします。

カーウイングスに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

カーウイングスお客さまセンター

0120-981-523

受付時間：**9:00 ～ 17:00**（年末年始を除く）

NISSAN

発行　2014年4月

280-9297-00

QY-7541N
QY-7545N
QY-7546N
Printed in Japan